

圖七百第



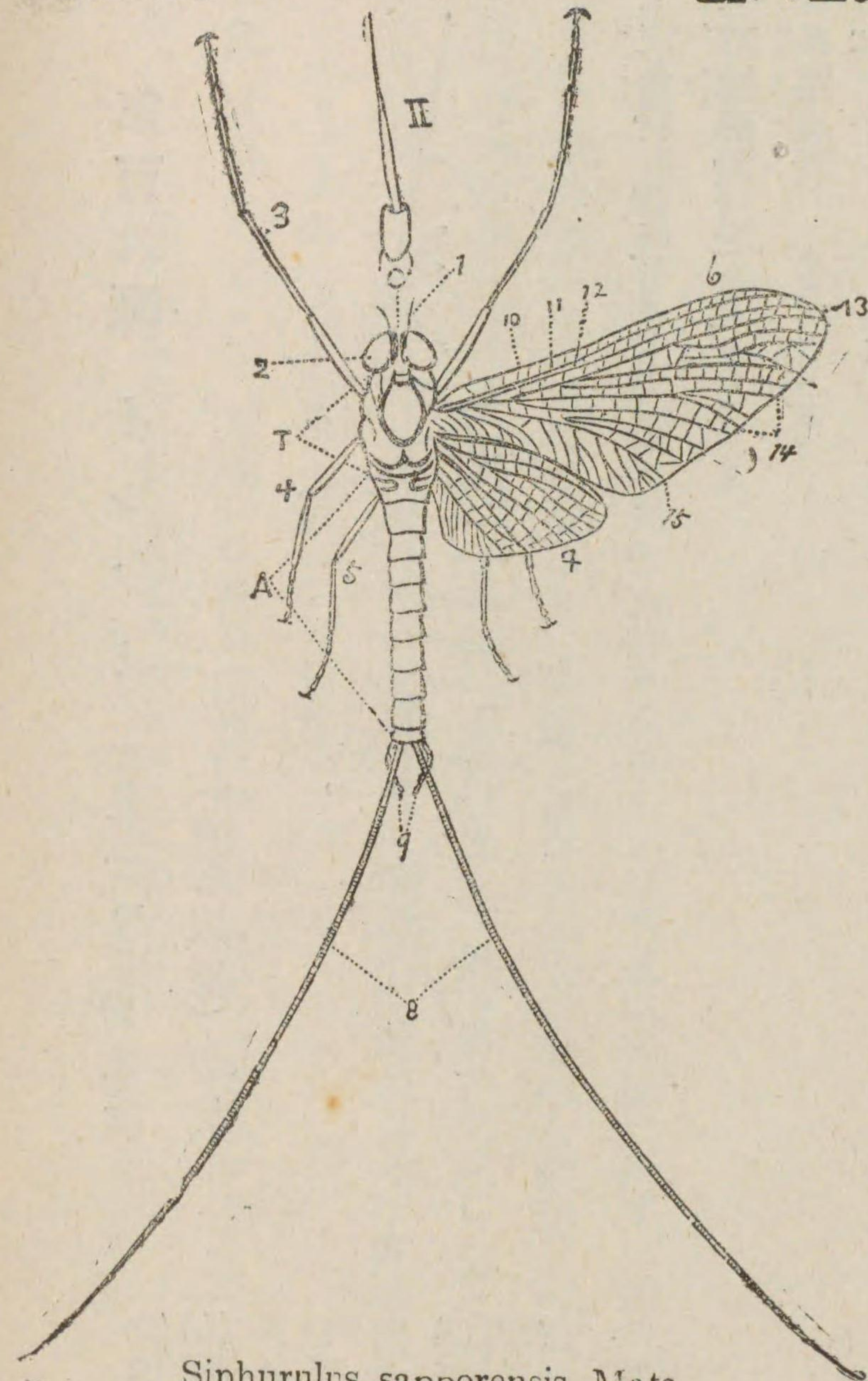
シムビト

Achorutes communis
Fols.

(フョルソーム氏原圖)

圖八百第

(圖原著) ウラゲカヲタフ



Siphurulus sapporensis Mats.
(15) (14) (13) (12) (11) (10) (9) (8) (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)
内 中 中 徑 副 前 尾 尾 後 前 後 中 前 複
縁 脈 脈 脈 脈 脈 脈 毛 肢 翅 肢 肢 肢 眼
脈 脈 脈 脈 脈 脈 脈 物 物 物 物 物 角

3. 角跳蟲科 Entomobryidae

4. 圓跳蟲科 Smythuridae

(B)有翅亞綱 此の亞綱に屬する昆蟲は中後の兩胸に各一双の翅を有す。尤も或る者は之れを缺けども、嘗つて其の祖先の有せし痕跡を存せり。此の内には左の十八目あり。

第一蜉蝣目 Ephemera

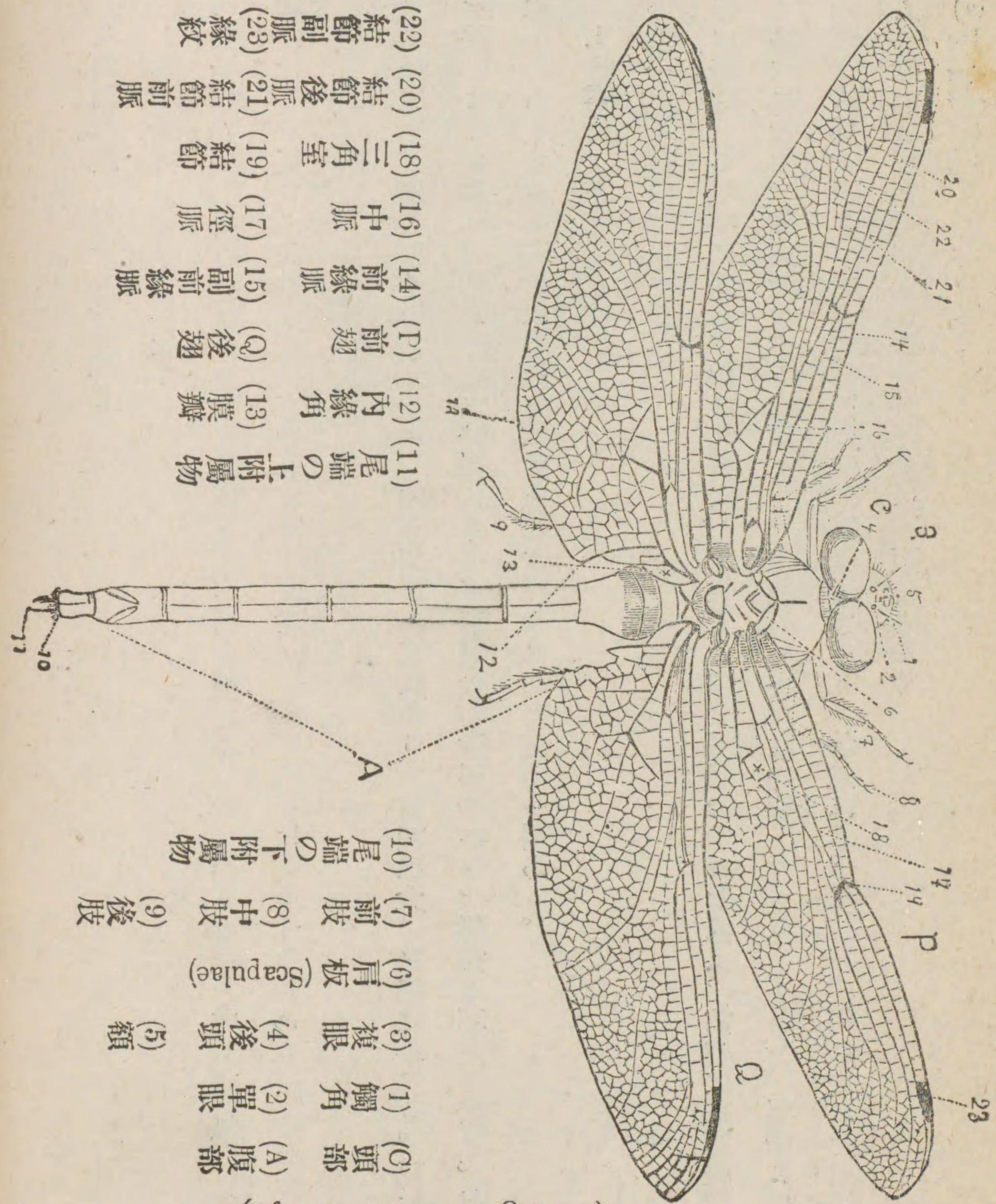
口は退化し、翅は膜質にして軟弱、細き網狀の翅脈あり。前翅は大、後翅は小なり。稀に後翅を缺くものもあり。尾節には二個若しくは三個鞭狀の附屬物あり。變態は不完全なり。幼蟲は水中にありて少なくとも二十回の脱皮をなす。本日には左の一科あり。

1. 蜉蝣科 Ephemerae

第二蜻蛉目 Odonata

口は發達して咀嚼に適し。翅は膜質にして強く、細き網狀の翅脈を備ふ。前翅は普通後翅よりも小なれども、亦同大なるものもあり。前縁の中央には結節 (Nodus) を有し。尾節には二個の短き附屬物あり。雄の生殖器は第二腹節にあり。幼蟲は水中に住し、俗に之れを水蠶と云ふ。變態は不完全なり。今之れを左の二亞目となす。

(a)均翅亞目 (Zygoptera)



第百九圖 オニヤンマ (著者原圖) (鄭大圖)
(Anotogaster sieboldii Selys)

兩翅は同大にして翅底細く、複眼は瘤状をなして隆起し、眼と眼との中間は複眼の幅よりも廣し。額瘤を缺き、中央に三箇の單眼あり。之れに屬するものは左の二科なり。

1. 河蜻蛉科 Calopterygidae

2. 豆娘科 Agrionidae

(b) 不均翅亞目 (Anisoptera)

兩翅は不等にして後翅は廣く。眼は大にして一點若しくは一線に依りて相接し、時に相隔離するものもあれども、其の間室は眼の直徑よりも遙に狭し。額瘤を具へ、其の内に單眼あり。本邦に産するもの左の二科なり。

1. 蜻蛉科 Aeschnidae

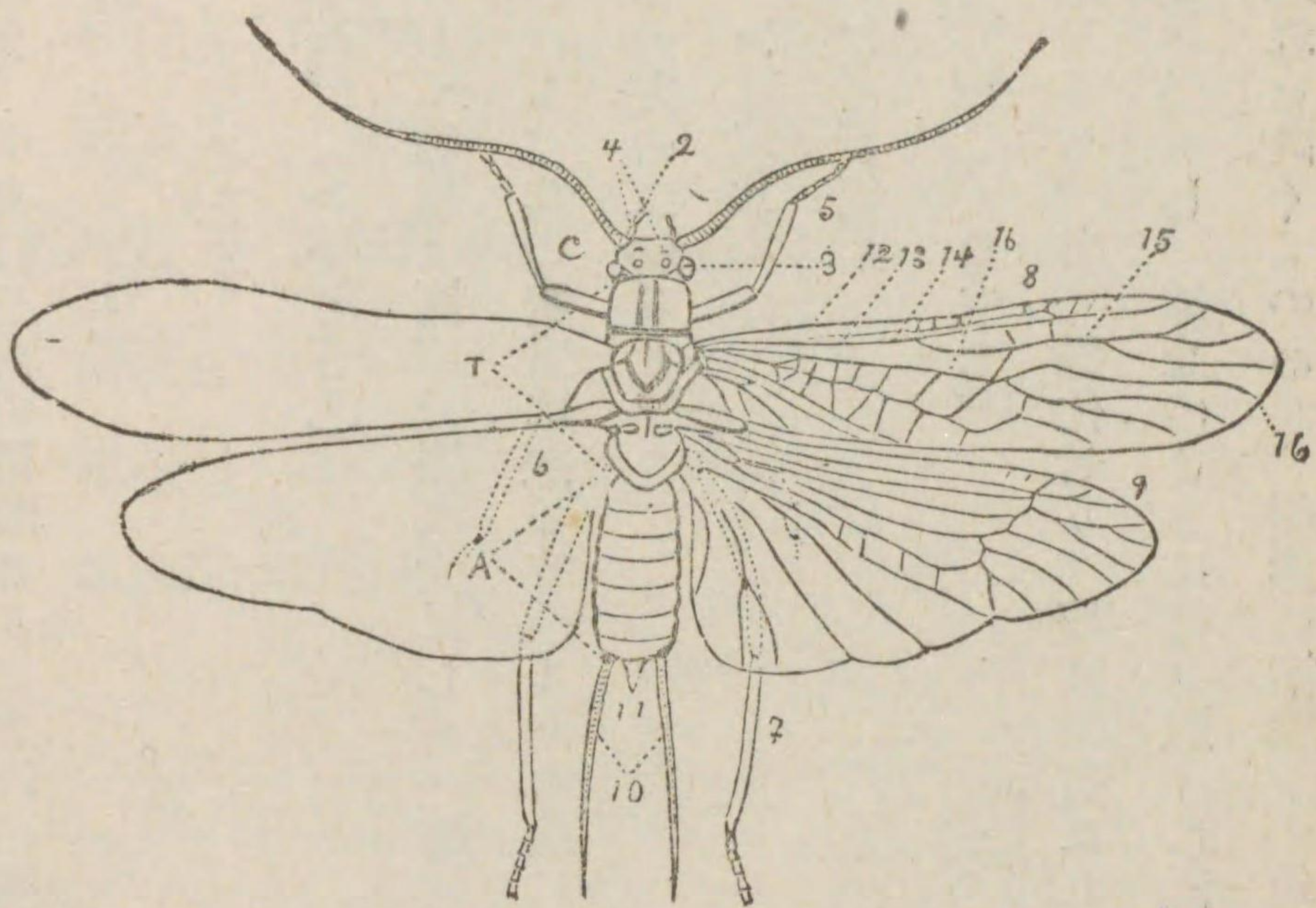
2. 蜻蛉科 Libellulidae

第三積翅目 Plecoptera

口は咀嚼に適せるも、多く退化せり。翅は膜質にして、横脈少なく。後翅は前翅よりも大形にして、縦に疊み得べし。静止のときは翅を腹上に置く。尾節には還節ある二箇の尾毛を有すれども、稀に之れを缺くものあり。變態は不完全。幼蟲は水中に住す。本邦に産するものは左の一科なり。

1. 精翅蟲科 Paridae

ラゲハカシカス 圖 十 百 第
Dictyopteryx frequens Mats. (圖 原 者 著)



- (1) 觸 角
- (2) 小 腮 鬚
- (3) 複 眼
- (4) 單 眼
- (5) 前 肢
- (6) 中 肢
- (7) 後 肢
- (8) 前 翅
- (9) 後 翅
- (10) 尾 毛
- (11) 尾 突 起
- (12) 前 緣 脈
- (13) 副 前 緣 脈
- (14) 徑 脈
- (15) 徑 脈 の 第 一 枝
- (16) 中 脈
- (C) 頭 部
- (I) 胸 部
- (A) 腹 部

第 四 白 蟻 目 (等 翅 目) Isoptera

口は咀嚼に適し。翅は膜質不透明にして、判然せざる翅脈を有し。兩翅は同大。静止の時は之れを腹上に置く。一社會を組織し、雌雄の外職蟻及び兵蟻を有す。變態は不完全なり。本邦に産するもの左の一科なり。

1. 白蟻科 Termitidae

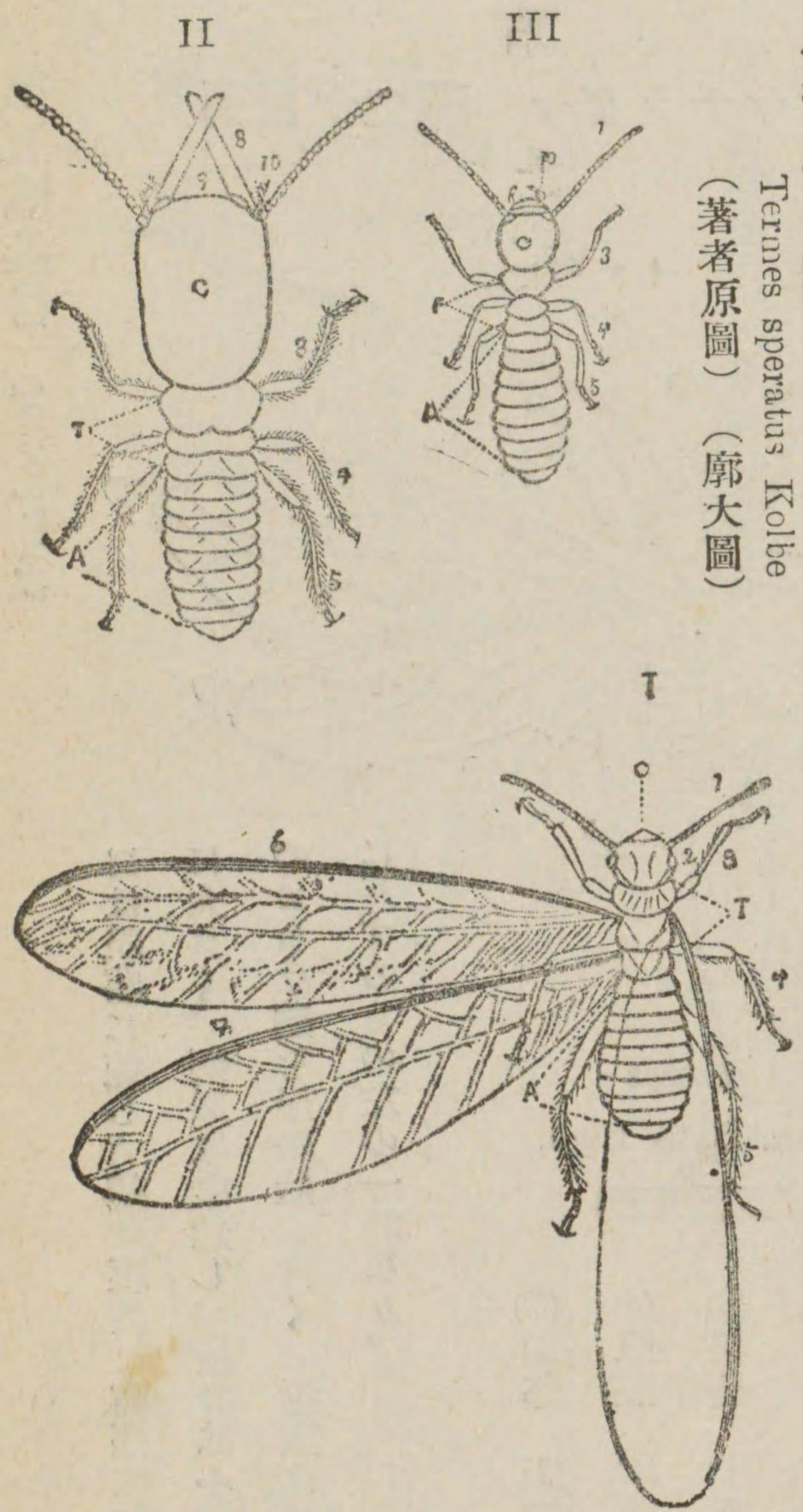
第 百 一 十 一 圖

ヤマトシロアリ

(I) サツマシロアリの雄
(II) ヤマトシロアリ兵蟻

(III) ヤマトシロアリ(職蟻)

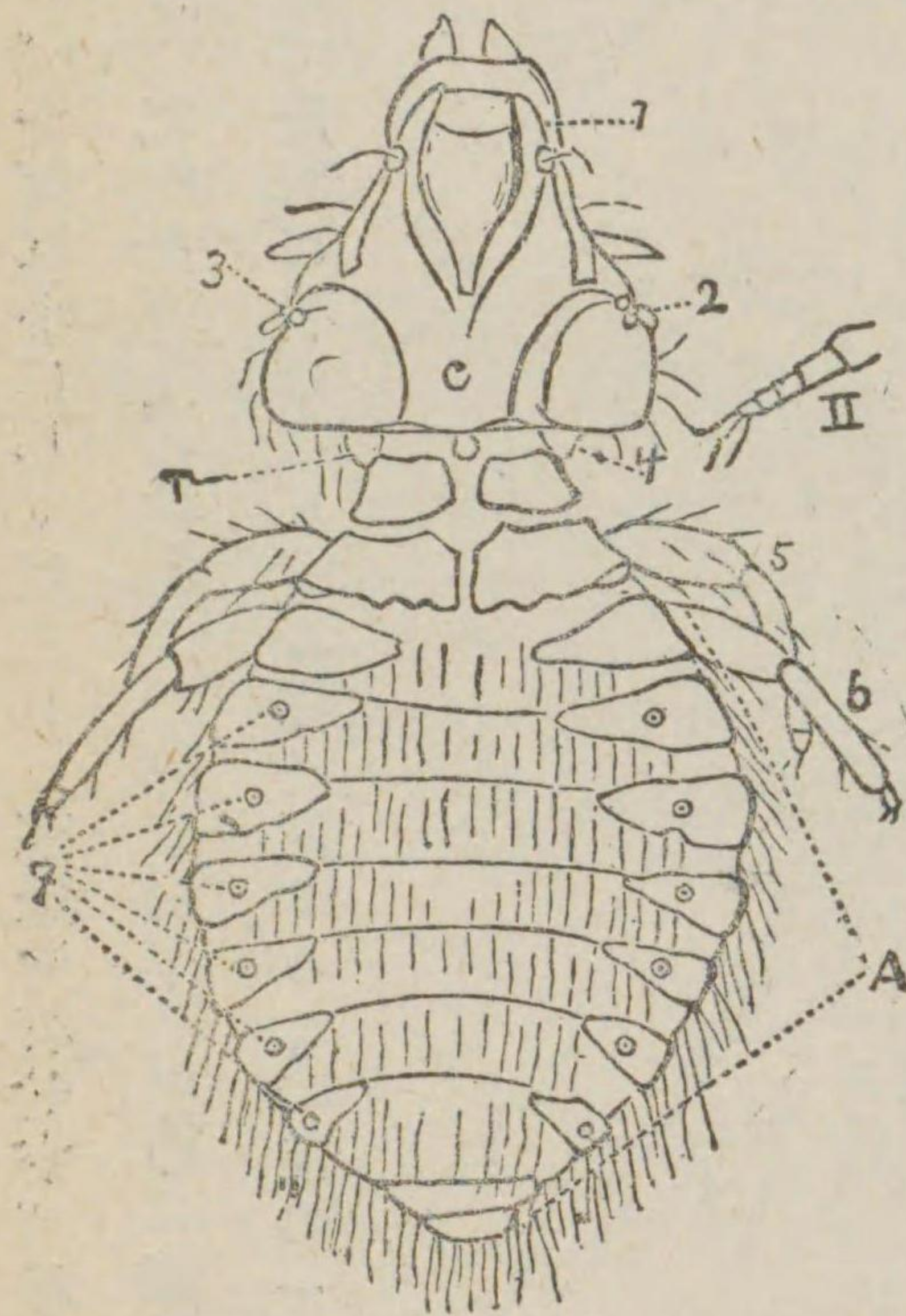
(著者原圖) (廓大圖)
Termes speratus Kolbe



- (1) 觸 解 部
- (2) 複 眼
- (3) 前 肢
- (4) 中 肢
- (5) 後 肢
- (6) 前 翅
- (7) 後 翅
- (8) 大 腮
- (9) 上 唇
- (10) 小 腮 鬚
- (C) 頭 部

圖四十百第

ミラジハガナカタ
Docophorus asturi Mats.



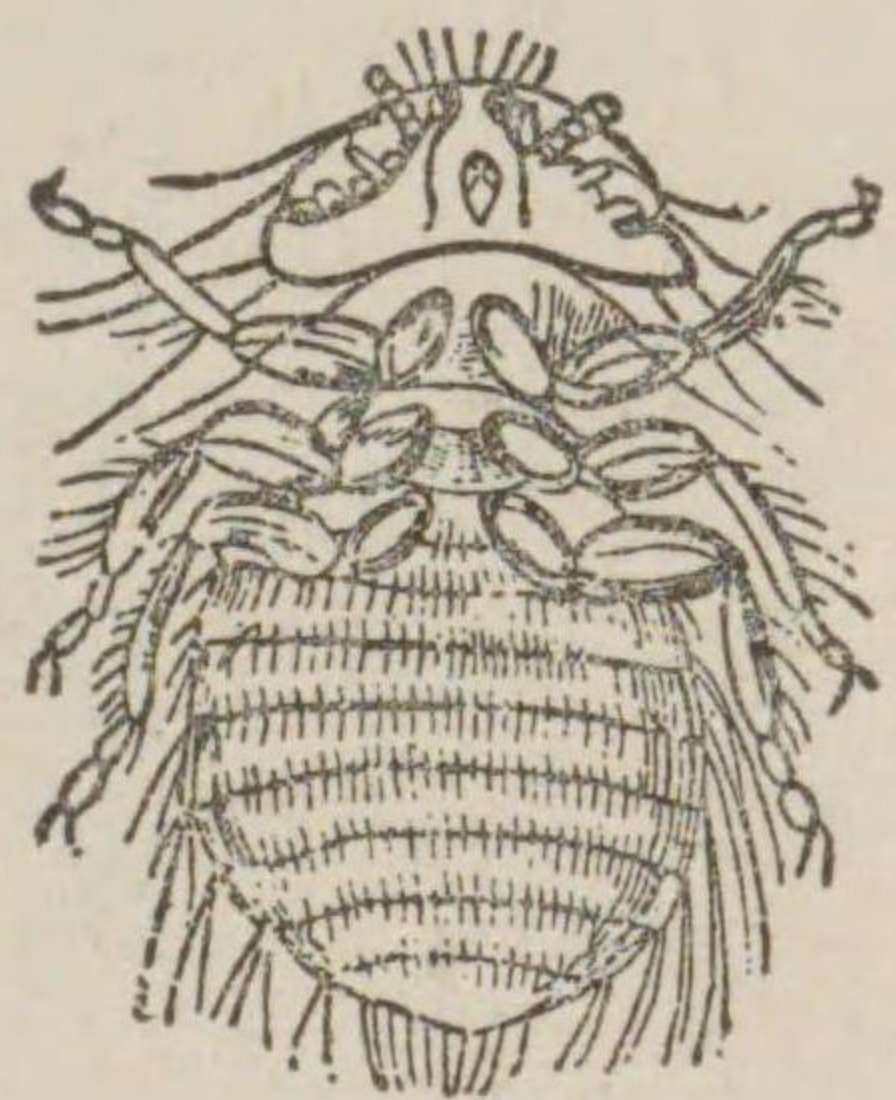
- (II) 觸角
- (T) 胸部
- (A) 腹部
- (7) 氣門
- (2) 觸角
- (3) 單眼
- (4) 前肢
- (5) 中肢
- (6) 後肢
- (C) 頭部

(著者原圖)

(1) 大腮 (透明なる前頭下に見ゆるもの)

圖三十百第

ミラジハリトハニ



Liotheus pallidum Nitz.

(日本昆蟲學ヨリ寫ス)

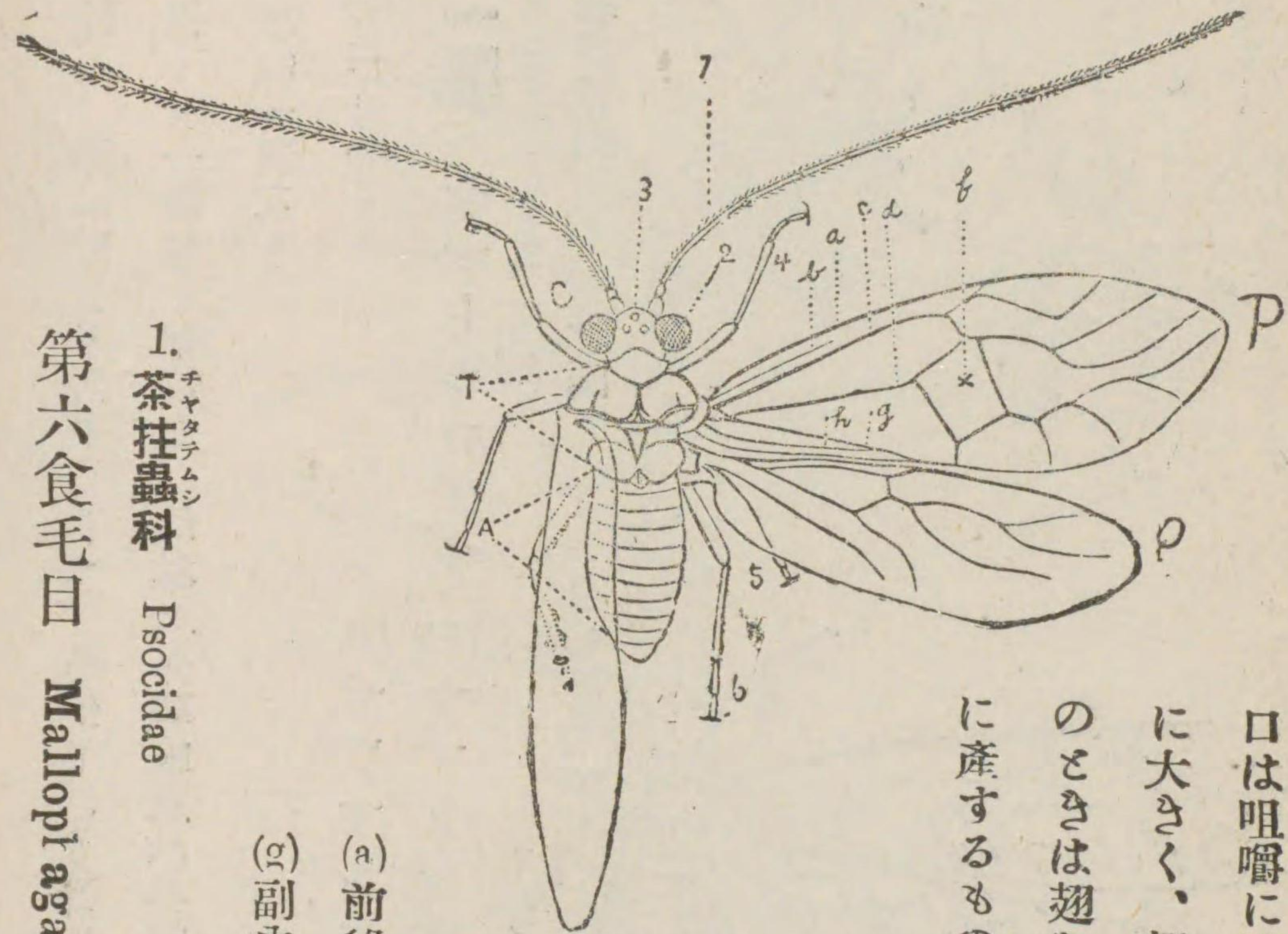
- 1. 羽蟲科 *Liotheidae*
- 2. 長羽蟲科 *Philopteridae*
- 3. 獸蟲科 *Trichodeutidae*

第七疊翅目 *Euplexoptera*

口は咀嚼に適し。前後翅を缺く。體は扁平にして、中後の胸還は相癒着す。皆な禽獸に寄生して軟毛を食ひ、同時に血液を吸収す。本邦に産するもの左の三科なり。

第五嚼蟲目 *Corrodentia*

シムテタヤチラダマ 圖二十百第



Psocus kurokianus Endl.

(圖原作者著)

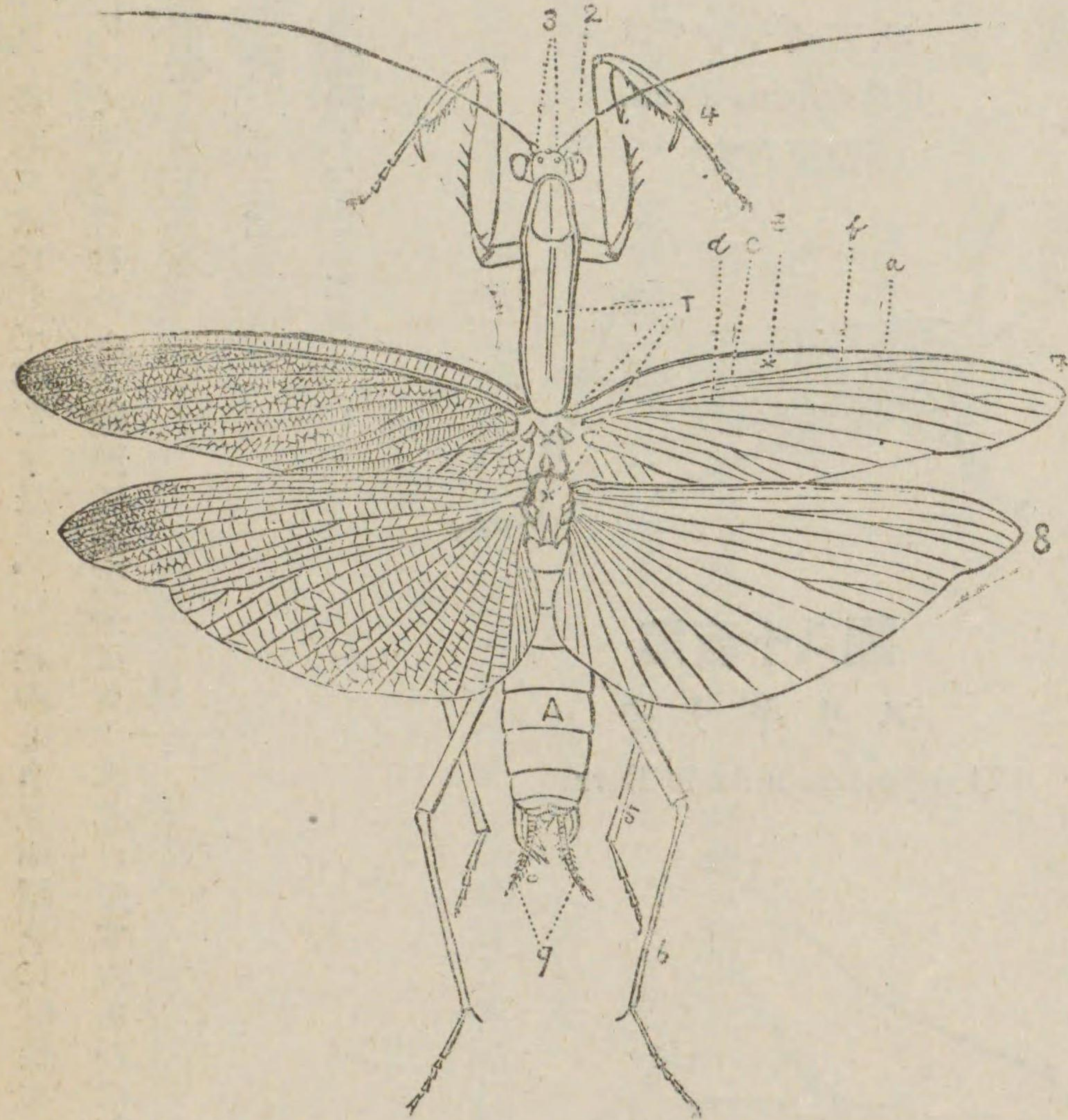
- (a) 前緣脈
- (b) 副前緣脈
- (c) 中脈
- (d) 副中脈
- (g) 副內緣脈
- (b) 內緣脈
- (f) 中室
- (C) 頭部
- (1) 觸角
- (2) 複眼
- (3) 單眼
- (4) 前肢
- (5) 中肢
- (6) 後肢
- (T) 胸部
- (A) 腹部
- (P) 前翅
- (Q) 後翅

口は咀嚼に適し。翅は膜質。前翅は後翅よりも遙に大きく、翅脈は隆起し、横脈は小數なり。靜止のときは翅を屋斜狀に置く。變態は不完全。本邦に産するもの左の一科なり。

- 1. 茶柱蟲科 *Psocidae*
- 第六食毛目 *Malloplaga*

Paratenodera
aridifolia Stoll

リキマカ 圖六十百第

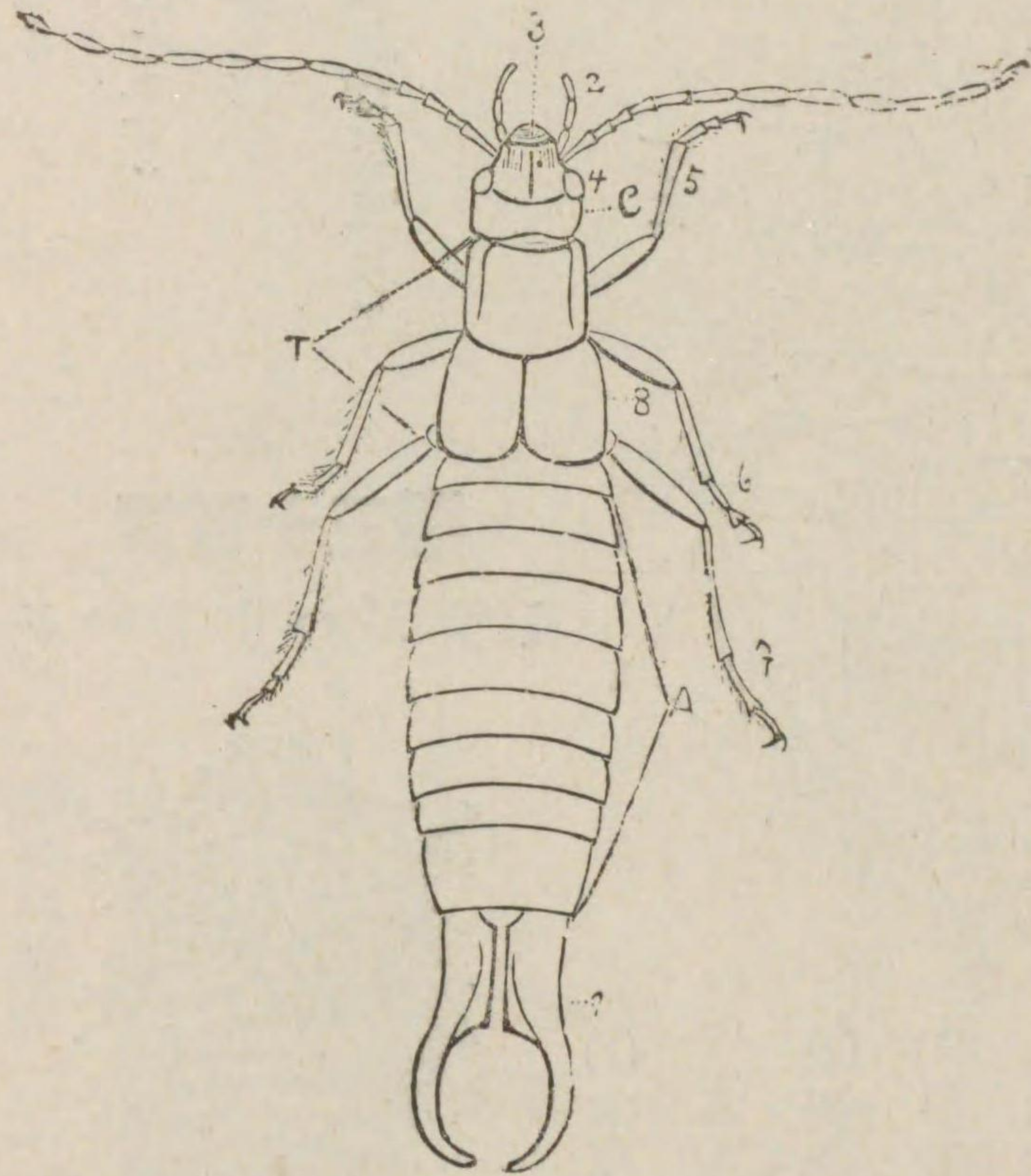


- (1) 觸角
- (2) 複眼
- (3) 單眼
- (4) 前肢
- (5) 中肢
- (6) 後肢
- (7) 前翅
- (8) 後翅
- (9) 尾端の附屬物
- (T) 前胸中胸及び後胸背
- (A) 腹部
- (a) 前緣脈
- (b) 副前緣脈
- (c) 前徑脈
- (d) 後徑脈
- (z) 前緣室

(著者原圖)

口は咀嚼に適し、前翅は細く、多少硬化し、判然せる網狀脈を有し、静止のときは之れを屋斜

圖五十百第
シムミサハキヌギク
Forficula tomis Kol. ♂



- (1) 觸角
- (2) 小腮鬚
- (3) 額片
- (4) 複眼
- (5) 前肢
- (6) 中肢
- (7) 後肢
- (8) 翅鞘
- (9) 尾端の鋏子
- (C) 頭部
- (T) 胸部
- (A) 腹部

(著者原圖)

口は咀嚼に適し。前翅は小にして硬化し、翅脈を有せず。後翅は大にして、放線狀の翅脈を有し。静止のときは之れを縦横に疊置す。體は扁平。尾節に鋏子狀の附屬物あり。變態は不完全。食肉性なるを以て農家に有益なり。本邦に産するもの左の一科なり。

1. 蠅螋科 *Forficulidae*
第八直翅目 *Orthoptera*

狀に置く。後翅は大にして膜質を呈し、静止のときは前翅下に縦疊す。稀に翅を缺くものあり。雌は多く産卵管を具へ、變態は不完全なり。本邦に産するものは左の六科なり。

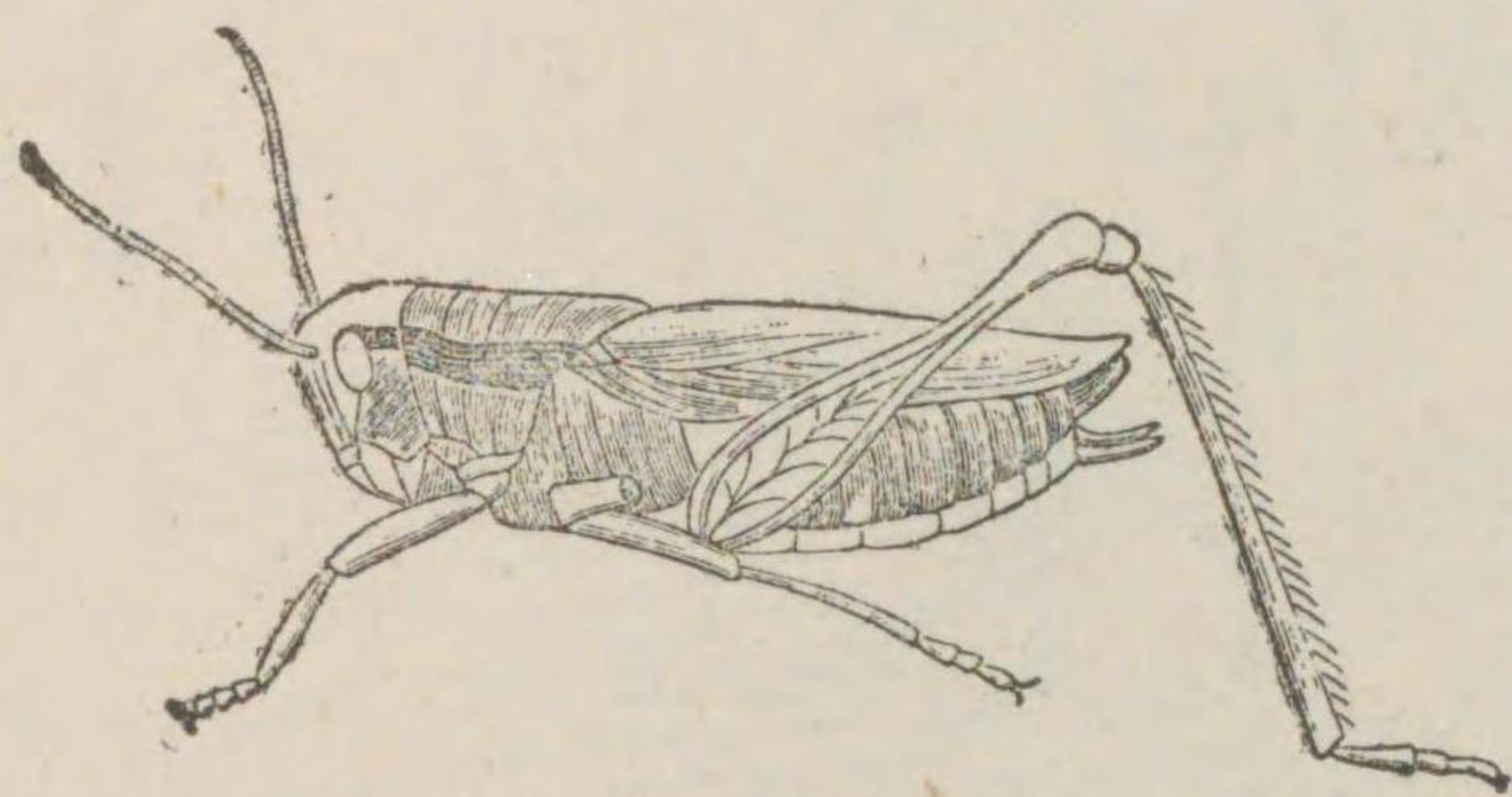
- 1. 蜚蠊科 *Blattidae*
- 2. 蠍螂科 *Mantidae*
- 3. 竹節蟲科 *Phasmodae*

第百七十圖

ゴナイネバコ

Oxya vicina Brun.

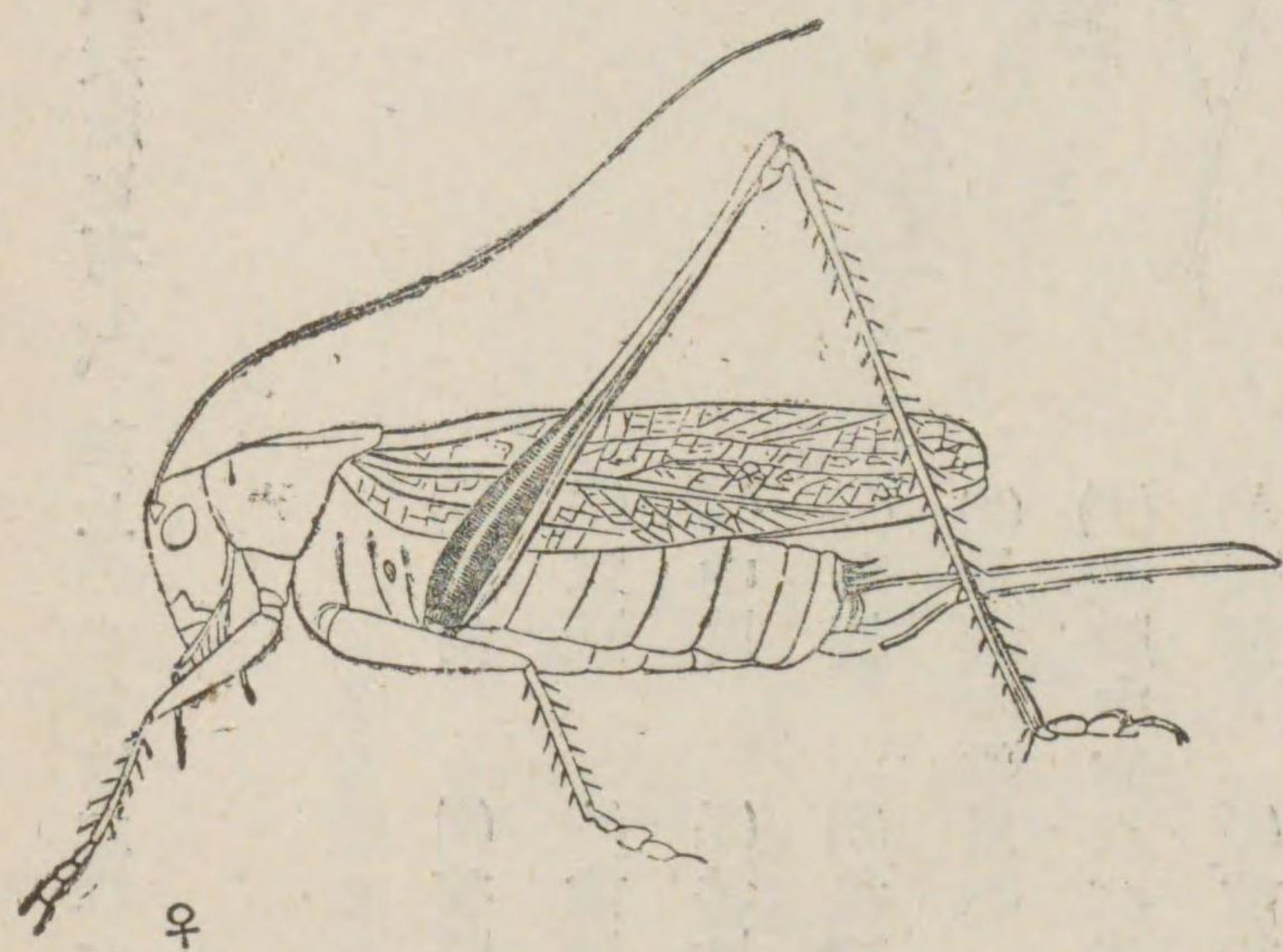
(圖原者著)



第百八十圖

スリギリキ

Gompsocleis mikado Burr



(圖原者著)

- 4. 蝗蟲科 *Acrididae*
- 5. 螞蟓科 *Locustidae*
- 6. 蟋蟀科 *Acheilidae* (*Gryllidae*)

第九胞脚目 *Physcypoda*

(總翅目 *Thysanoptera*)

口は咀嚼に適し。大腮は延長して刺毛状に變じ、前後翅は略々同形にして細長く、長縁毛を裝ひ、翅脈少なし。跗節端には一箇の膨大せる附屬物あり。一名之を總翅目 (*Thysanoptera*) と云ふ。變態は不完全。多く小形にして花に住し、農作物に大害を加へるものあり。本目を分ちて左の二亞目となす。(従來は總翅目と稱し來たりれども双翅目と混同し易きを以て胞脚目を採用せり。)

- (a) 有管亞目 *Tuburifera*
- (b) 有錐亞目 *Terebrantia*

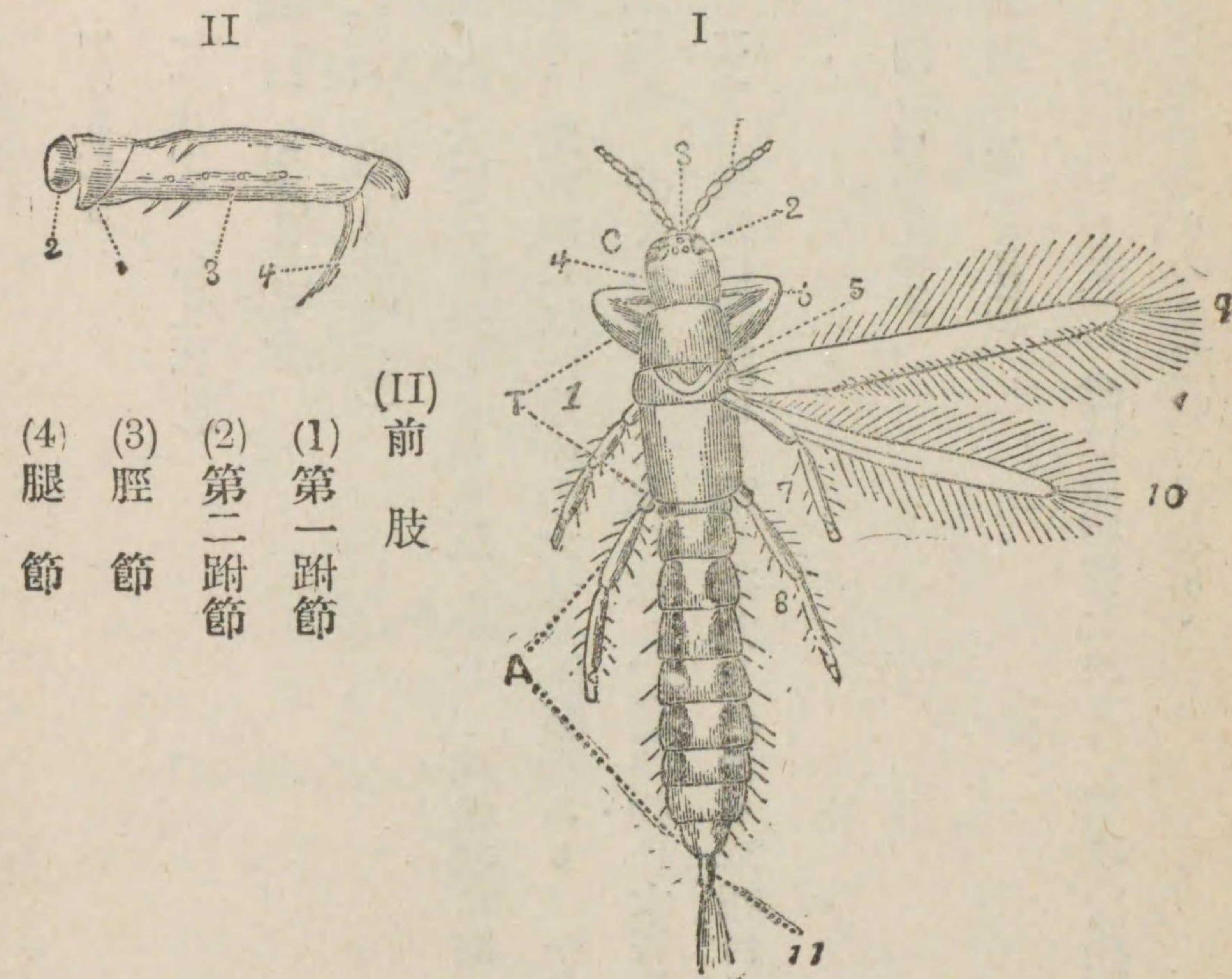
(a) 有管亞目 (*Tubulifera*) 雌は産卵管を缺き、雌雄の尾節は管状をなす。前翅脈は翅端に

達せず。本邦に産するものは左の一科なり。

- 1. 管薊馬科 *Phloeothripidae*

第百九十圖 マウミザアダクネイ

(圖大廓) (圖原作者著) Phloeothrips oryzae Mats.



(II) 前肢
 (1) 第一跗節
 (2) 第二跗節
 (3) 脛節
 (4) 腿節

(I) 背面
 (C) 頭部
 (1) 觸角
 (2) 集眼
 (3) 單眼
 (4) 頭頂
 (5) 稜狀部
 (6) 前肢
 (7) 中肢
 (8) 後肢
 (9) 前翅
 (10) 後翅
 (11) 管狀の尾節
 (T) 胸部
 (A) 腹部

(b)有錐亞目 (Terebrantia) 雌は鋸狀の産卵管を有し、尾節は圓錐形をなし、雄にありては圓し、前翅の翅脈は翅端に達す。本邦に産するもの左の二科なり。

1. 薊馬科 *Thripidae*

2. 縞薊馬科 *Aeolothripidae*

第十有吻目 *Rhynchota*

口は口吻狀にして普通關節を有し、吸收若しくは刺整に適す。二双の翅は同形若しくは不等にして、又全く之れを缺くものあり。前胸は自在に動き稀に癒着するものあり。一名之れを半翅目 (Hemiptera) と云ふ。變態は不完全なれども、介殼蟲の雄の如く稀に完變態をなすものあり。今此の目を分ちて左の三亞目となす。

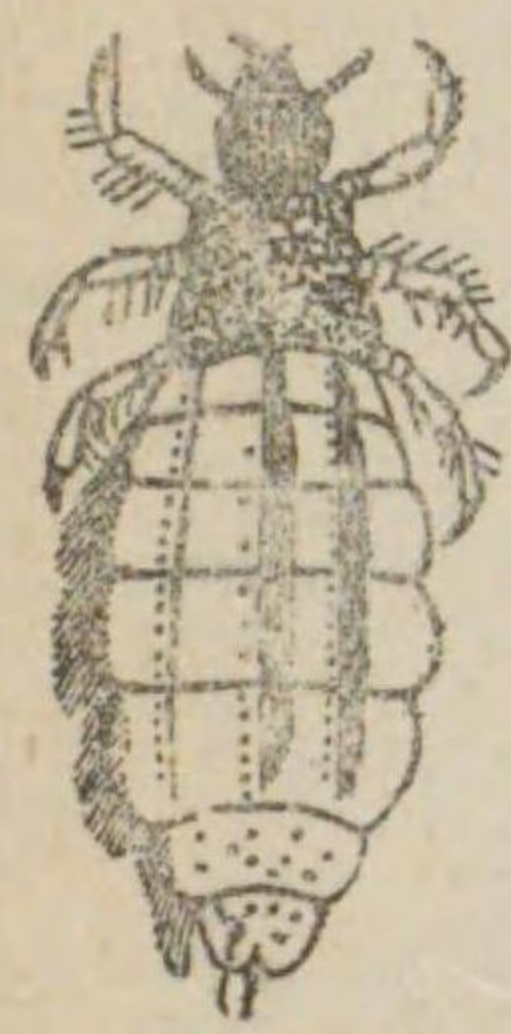
(a)無翅亞目 (Aptera) 口は伸縮に適せる肉狀の口吻にして、吸收に適し、關節をなさず。全く翅を缺く。複眼なく、頭の兩側に各一個の單眼を有す、跗節は二節なり。本邦には左の二科を産す。

1. 蝨科 *Pediculidae*

2. 毛蝨科 *Phthiridae*

第百二十圖

アタマジラミ



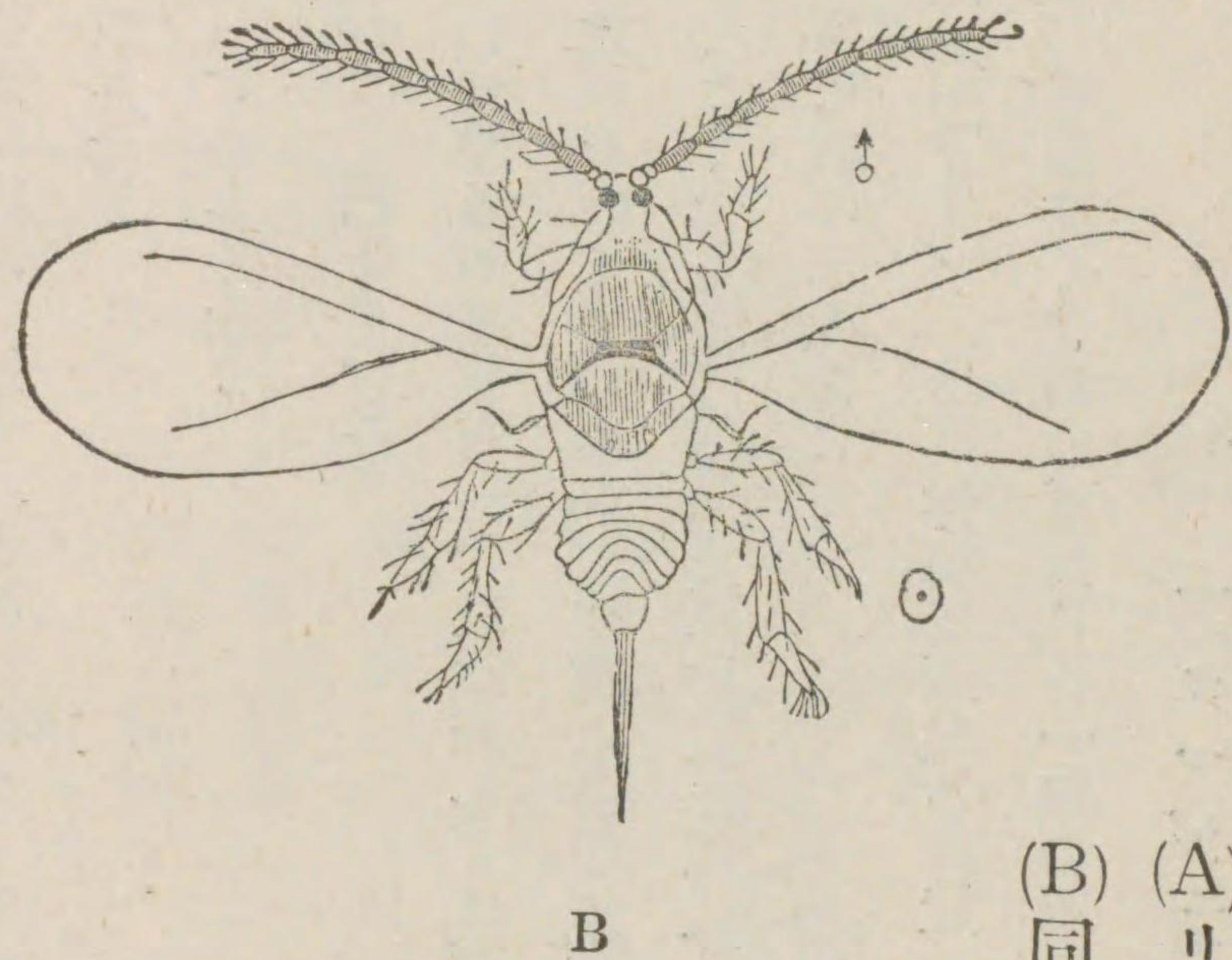
Pediculus capitis Deg.

(日本昆蟲學より寫す)

(b) 同翅亞目 (Homoptera) 口は普通關節ある口吻となり。前肢の基節間に起り、二双の翅は膜質同形にして、静止するときは翅を屋斜狀に置く。本亞目を分ちて更に一節類、二節類及び三節類の三部となす。

(A) リンゴカヒガラムシの雄
(B) 同蟲の介殼(廓大)

第 二 百 一 十 一 圖



(す寫りよ篇蟲害本日)
Lepidosaphes ulmi L.

(a) 一節類 (Monomera) 跗節は一節、觸角は絲狀にして六節乃至二十五節よりなり。雌は翅を

缺き、雄の翅は一双にして唯だ分叉せる一脈を有す、雄は判然せる蛹期を有す。此の類は大部異形變態をなす。本邦に産するものは左の一科なり。

1. 介殼蟲科 Coccidae

(b) 二節類 (Dimera) 跗節は二節。觸角は絲狀、三節乃至十節より成り。二双の翅を具へ、翅脈少なし。横脈を有せず。本邦に産するものは左の三科なり。

1. 粉蝨科 Aleyrodidae

2. 蚜蟲科 Aphidae

3. 木蝨科 Psyllidae

(c) 三節類 (Trimera) 跗節は三節。觸角は小形にして三節乃至七節より成り。翅に横脈を有す。本邦に産するもの左の五科なり。

1. 白蠟蟲科 Fulgoridae

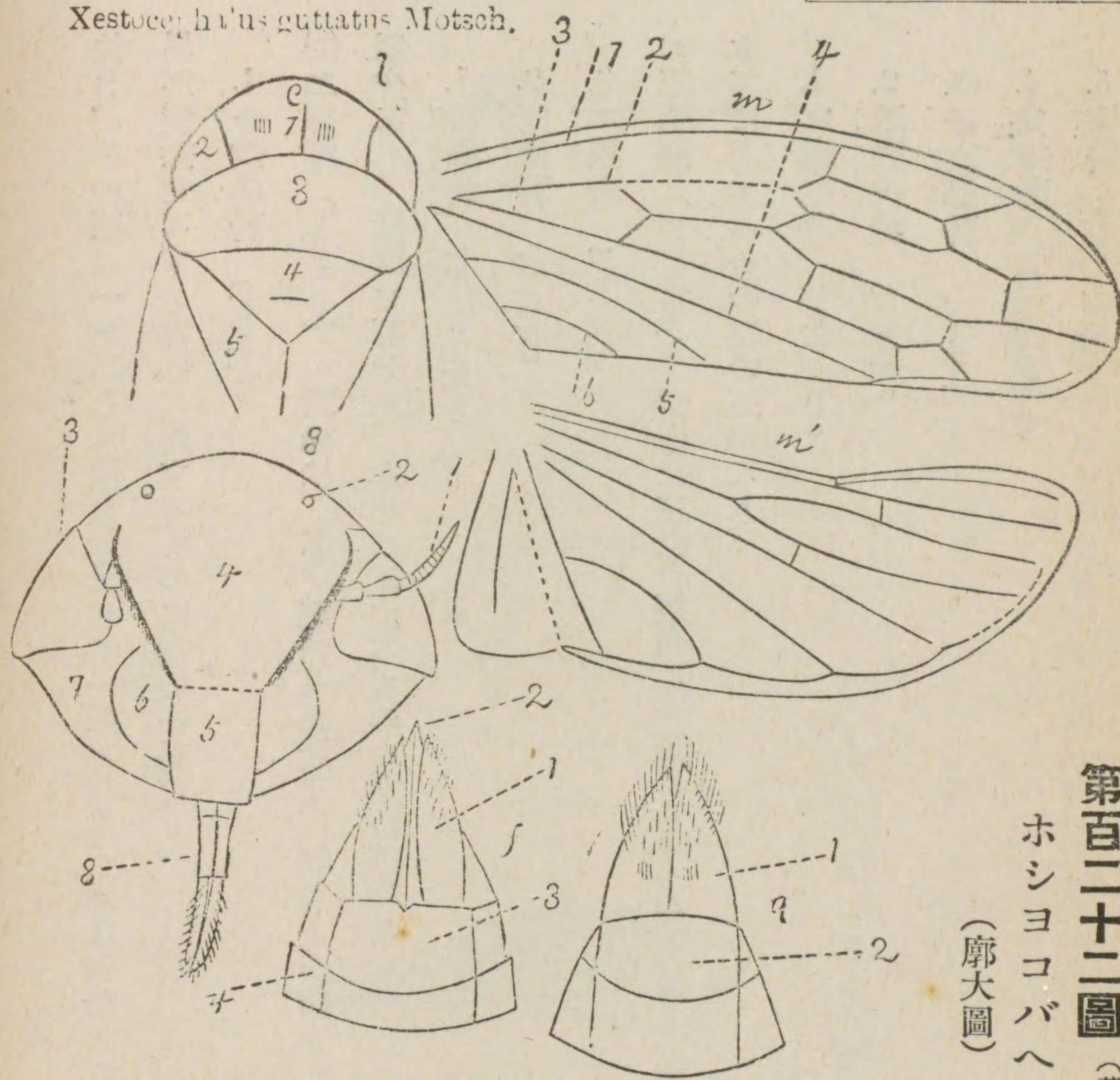
2. 浮塵子科 Jassidae

3. 沫吹蟲科 Cercopidae

4. 角蟬科 Membracidae

5. 蟬科 Cicadidae

Xestocephalus guttatus Motsch.



第二百二十二圖

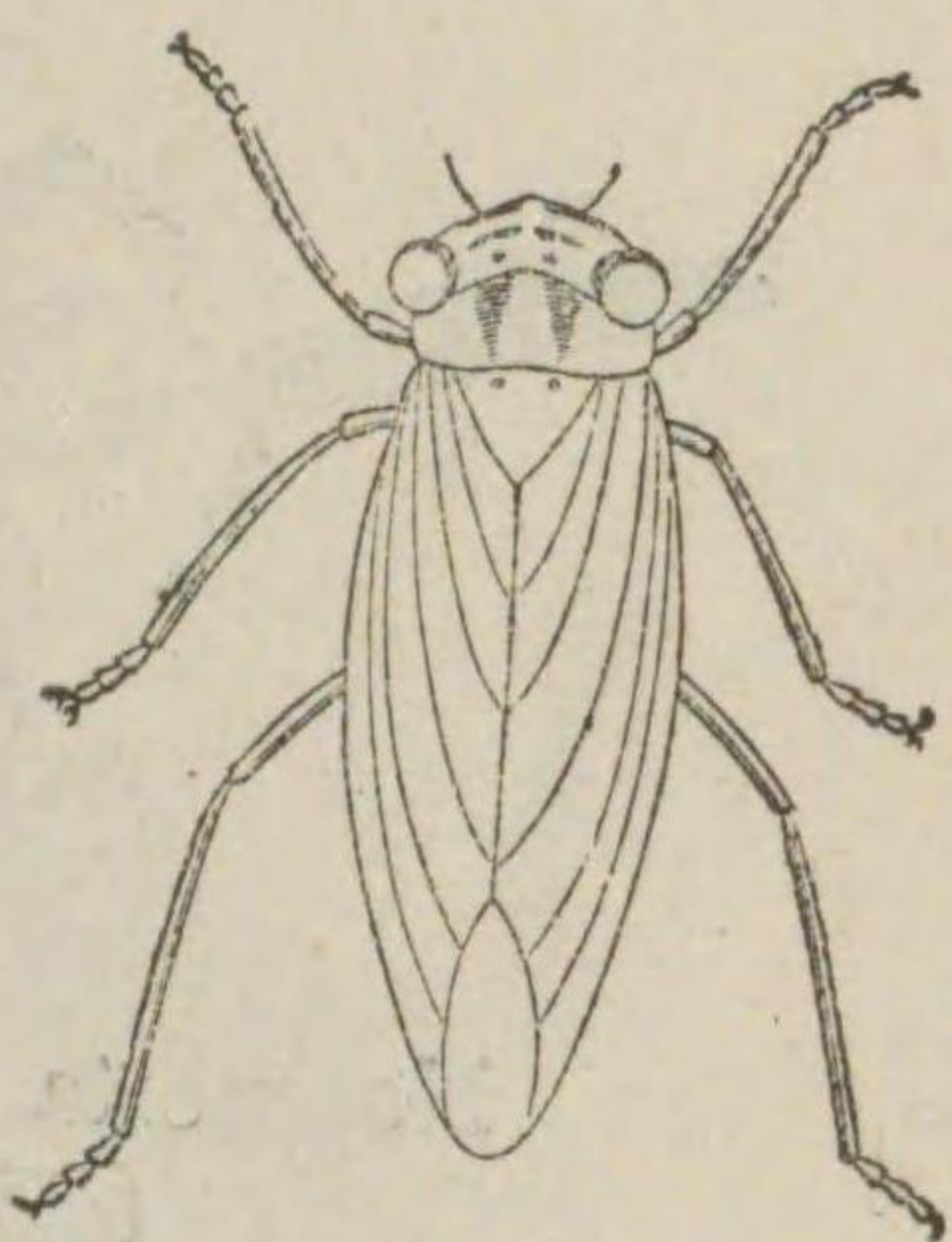
ホシヨコバへ

(廓大圖)

(著者原圖)

- (m) 前翅
- (g) 頭部の下面(1)前縁
- (c) 頭部 (2)副前縁脈
- (1) 頭頂 (3)中脈
- (2) 複眼 (4)接合脈
- (3) 前胸背 (5)副内縁脈
- (4) 稜状部 (6)内縁脈
- (5) 前翅(翅鞘) (m')後翅
- (1) 背面 (f) 雌の生殖器
- (1) 觸角 (1) 包板
- (2) 單眼 (2) 産卵管
- (3) 複眼 (3) 最後の腹節
- (4) 額 (4) 接合膜 (Connexivum)
- (5) 額 (f) 最後の腹節に於ける切目
- (6) 頰片 (a) 雄の生殖器
- (7) 頰片 (1) 生殖板
- (8) 口吻 (2) 最後の腹節

圖三十二百第



ツタテンヨコバへ

Cicadula fasciifrons Stål

(著者原圖)

(c) 異翅亞目 (Heteroptera) 二双の翅は其の形狀を異にし、前翅基部の大半は革質不透明、外縁に膜質部を有し、静止のときは翅を水平に置く。口吻は頭の前端に起り、前方に動き得べし。今此の亞目を分ちて更に水棲類及び陸棲類の二部となす。

(a) 水棲類 (Hydrocoera)

觸角は三節乃至四節、小形にして頭より短く、常に頭下に隠れて見えざるものあり。脚は游泳に適し、常に水中に住す。本邦に産するものは左の八科なり。

- 1. 水蟲科 Curixidae
- 2. 圓水蟲科 Illeidae
- 3. 松漢蟲科 Notonectidae
- 4. 紅娘華科 Nepidae

- 1. 花椿象科 Anthracoridae
- 2. 盲椿象科 Capsidae
- 3. 床蝨科 Cimicidae

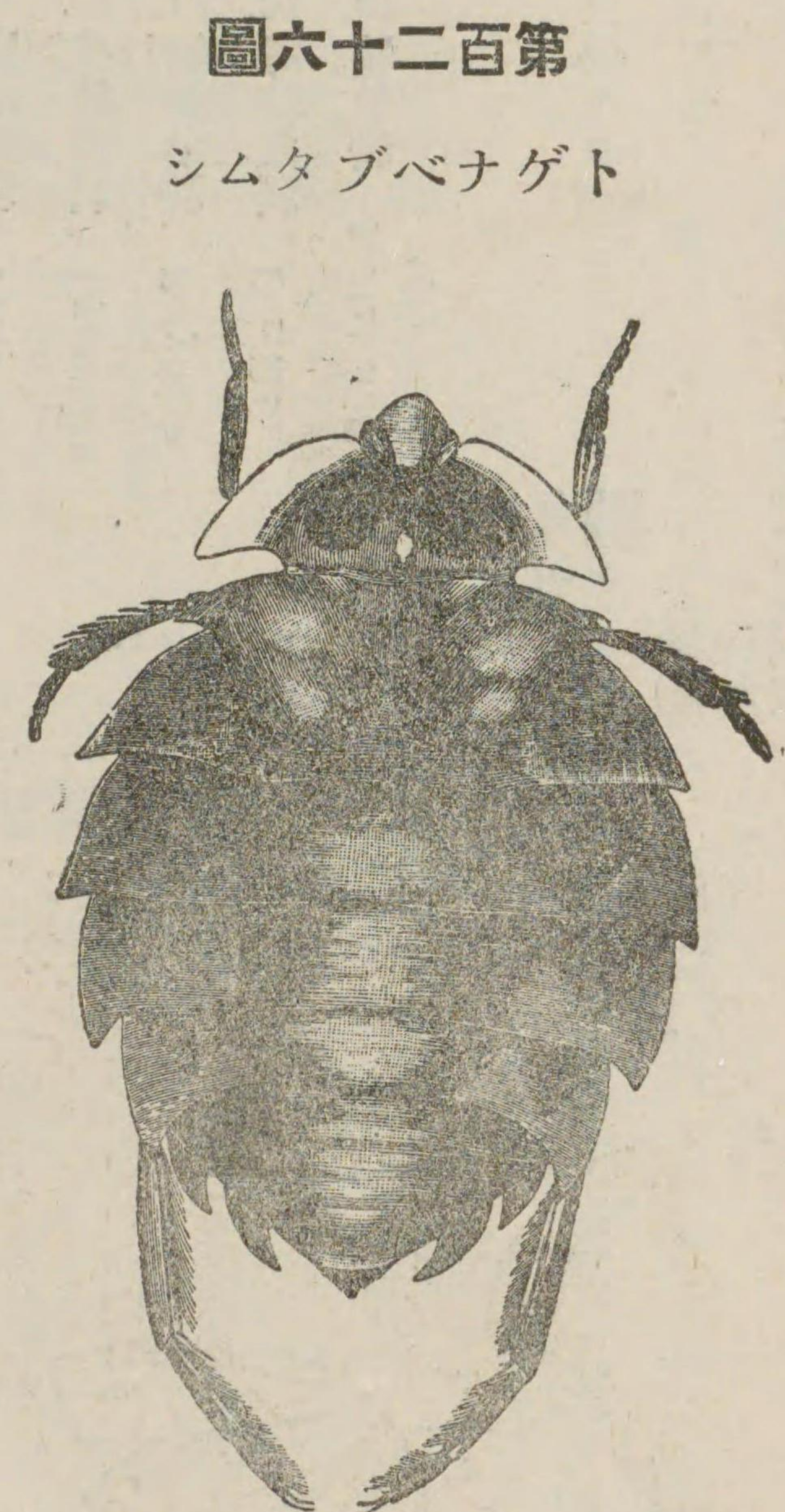
(b) 陸棲類 (Geocores) 觸角は頭より長く、四節乃至五節よりなり。陸上に棲息す。本邦に産するものは左の十三科なり。

圖七十二百第

ミラジコト (圖原者著)



Cimex lecturalis L.



Aphelocheirus nawae Mats.

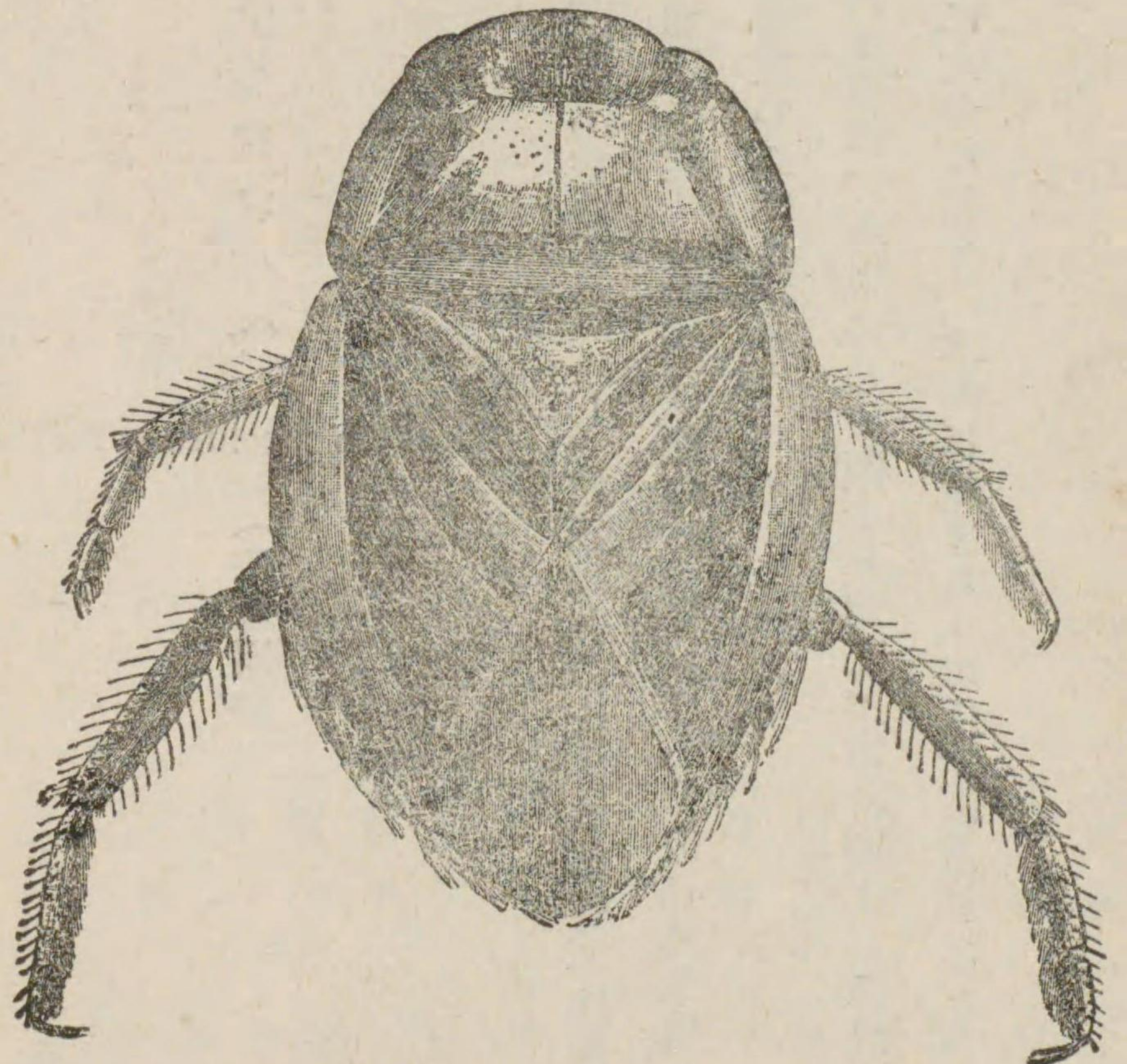
(圖原者著)

- 5. 田鼈科 Delostomidae
- 6. 金判蟲科 Naucoridae
- 7. 銅蓋蟲科 Aphelocheiridae
- 8. 眼水蟲科 Pelagonidae

シムモツマ 圖四十二百第



Notonecta triguttata Motsch. (圖原者著)



Naucoris exclamationis Scott

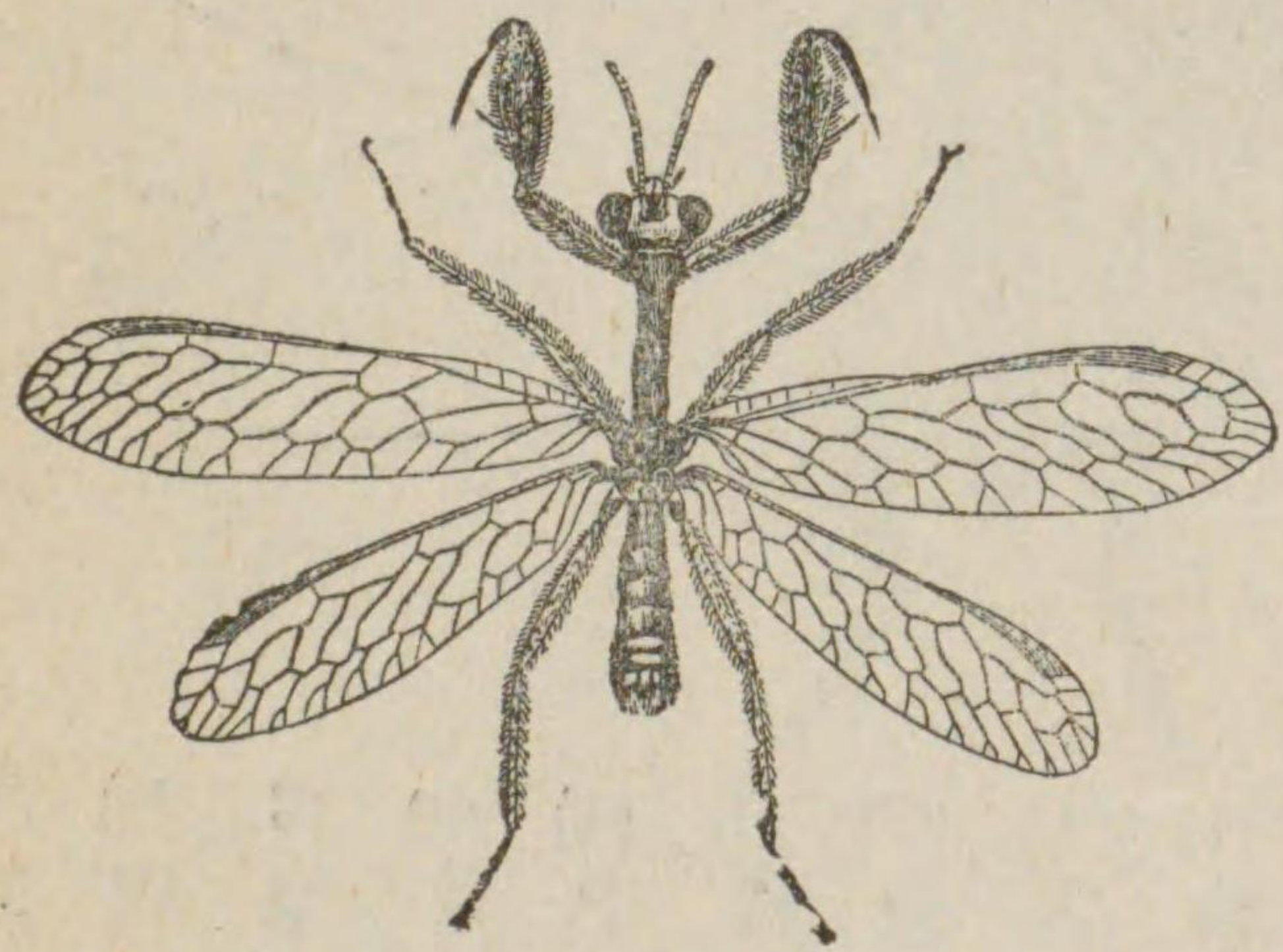
第二百二十五圖 コバンムシ (著者原圖)

- 1. 蛇蜻蛉科 *Sialidae*
- 2. 駱駝蟲科 *Rhaphidiidae*
- 3. 擬蠶螂科 *Mantispidae*
- 4. 草蜻蛉科 *Chrysopidae*
- 5. 姬蜻蛉科 *Hemorobiidae*
- 6. 廣蜻蛉科 *Osmiidae*
- 7. 粉蜻蛉科 *Coniopterygidae*
- 8. 角蜻蛉科 *Ascalaphidae*
- 9. 蛟蜻蛉科 *Myrmeleonidae*

圖十三百第

キドモリキマカメヒ

$\frac{3}{1}$



(圖原作者著) *Mantispa japonica* M' L.

第十一脈翅目 Neuroptera

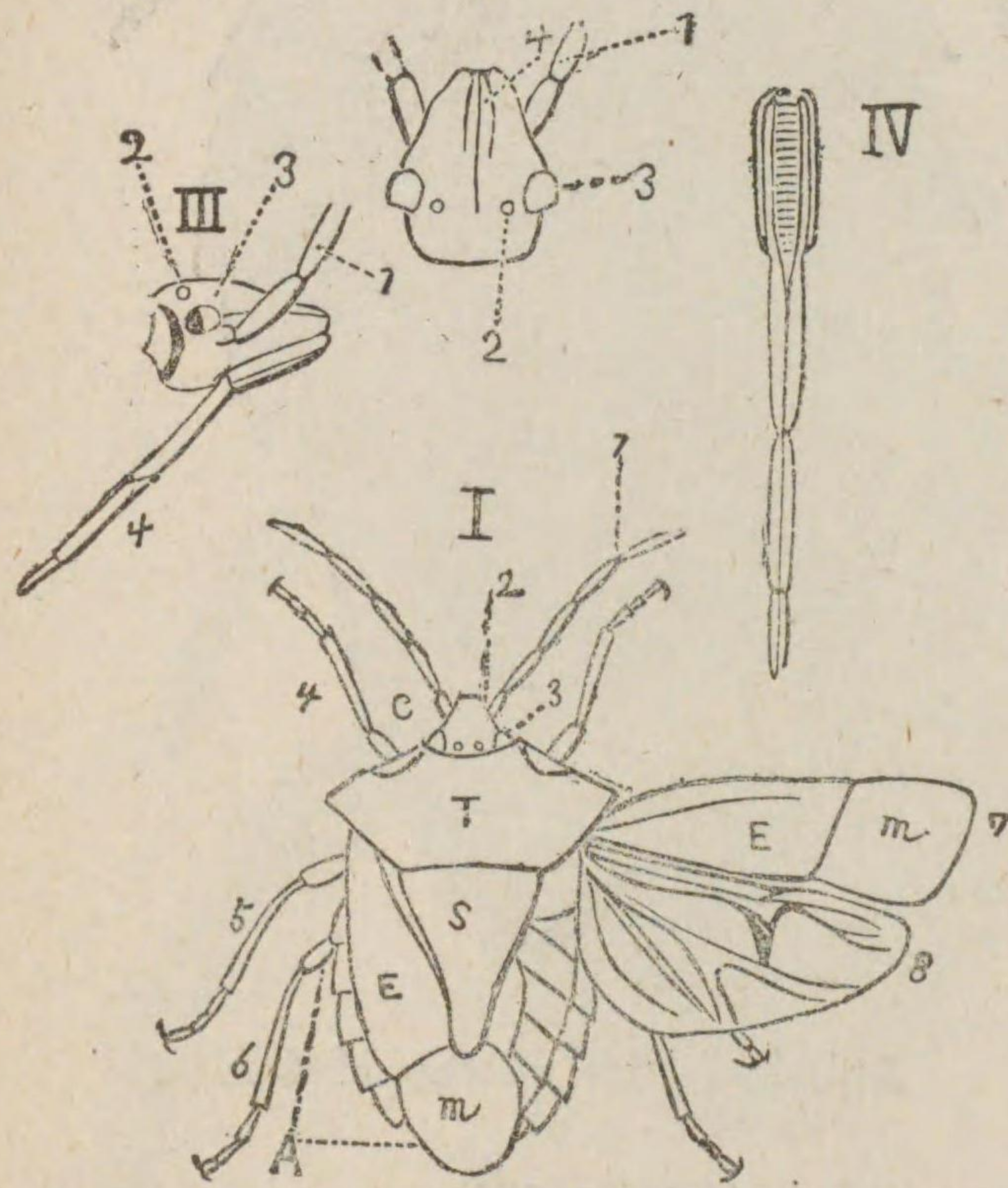
前翅は自在に動き二双の翅は膜質同形にして、網狀脈を有し。口部は咀嚼に適す。跗節は五節。變態は完全なり。多くは食肉性なれば、農家に有益なり。本邦に産するものは左の九科なり。

- 4. 水椿象科 *Saldidae*
- 5. 食椿象科 *Reduviidae*
- 6. 水龍科 *Gerridae*
- 7. 扁椿象科 *Aradidae*
- 8. 軍配蟲科 *Tingitidae*
- 9. 星椿象科 *Pyrrhocoridae*
- 10. 長椿象科 *Lygaeidae*
- 11. 絲椿象科 *Berytidae*
- 12. 緣椿象科 *Coreidae*
- 13. 椿象科 *Pentatomidae*

圖九十二百第

メガキサラム

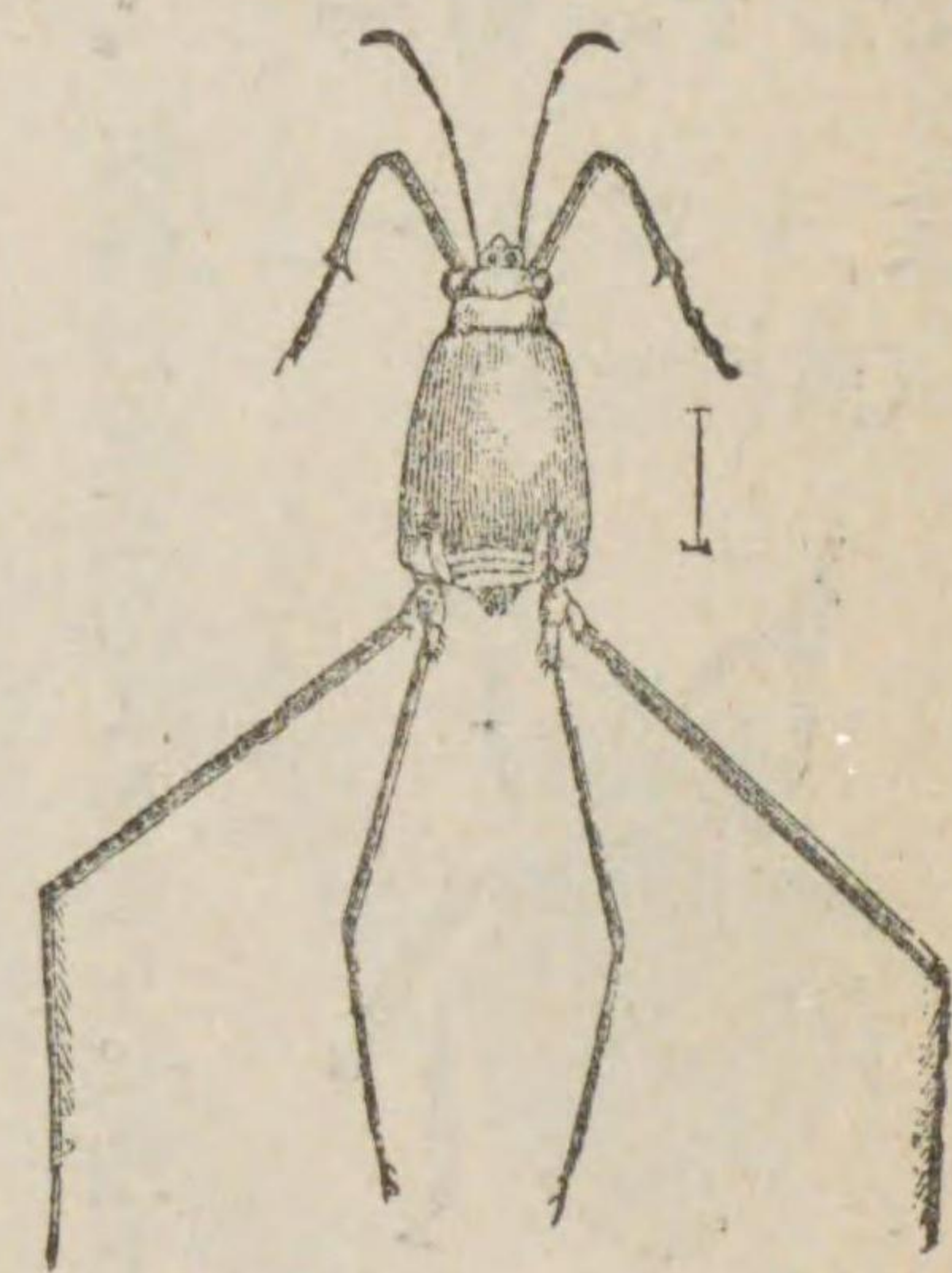
(圖原作者著) (*Carpocoris nigricornis* L.)
(圖大廓) II



(I) 背面
(2) 單眼
(3) 複眼
(4) 前肢
(5) 中肢
(6) 後肢
(7) 後翅
(8) 前翅
(A) 胸部
(T) 背鞘部
(E) 膜質部
(m) 半翅部
(II) 頭部
(III) 頭頂板
(IV) 口吻部
の大せるも廓

圖八十二百第

モグミウ



Halobates sericeus Esch.

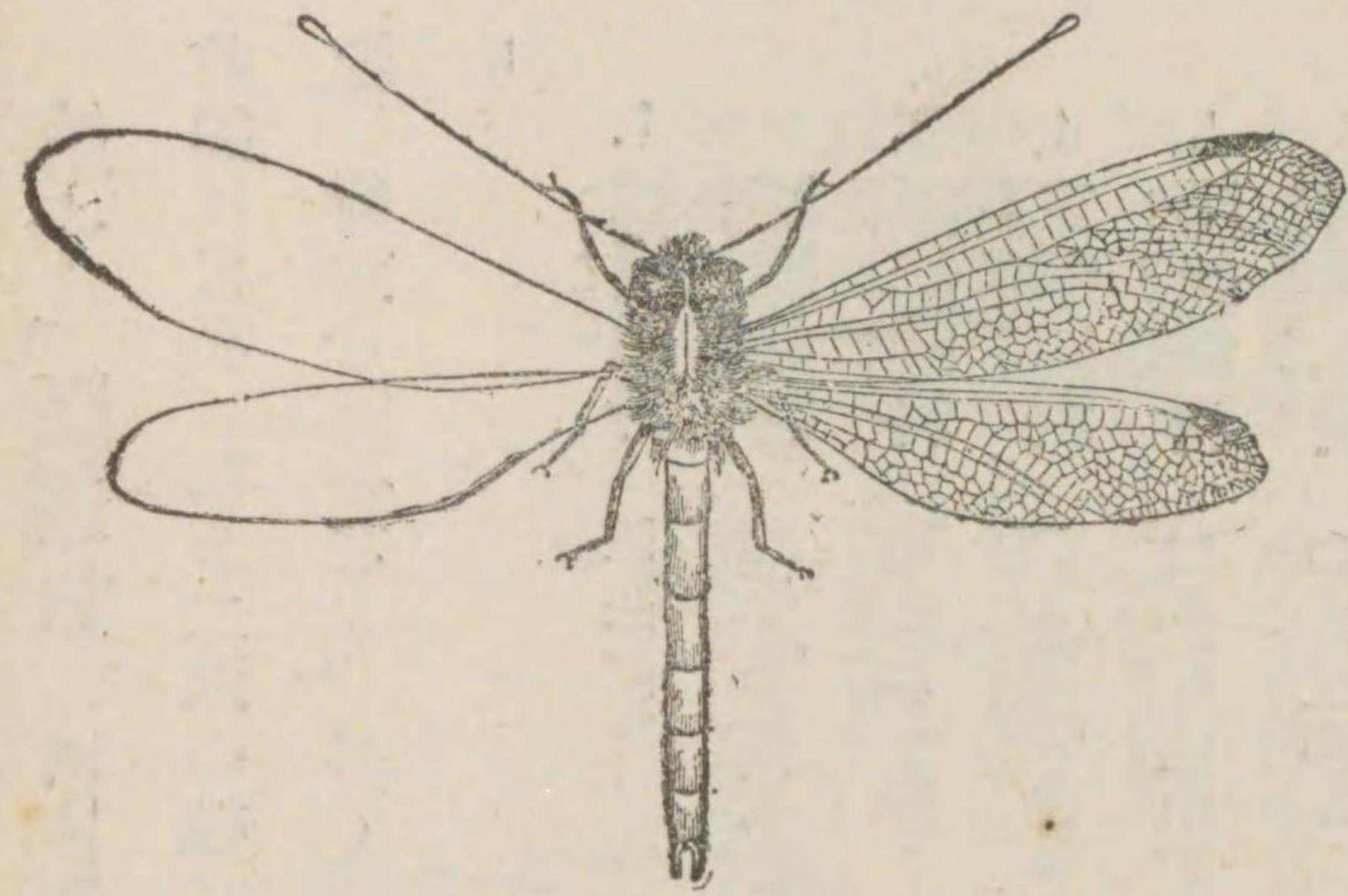
(圖原作者著)

第三百三十一圖

ヒゲナガトンボ

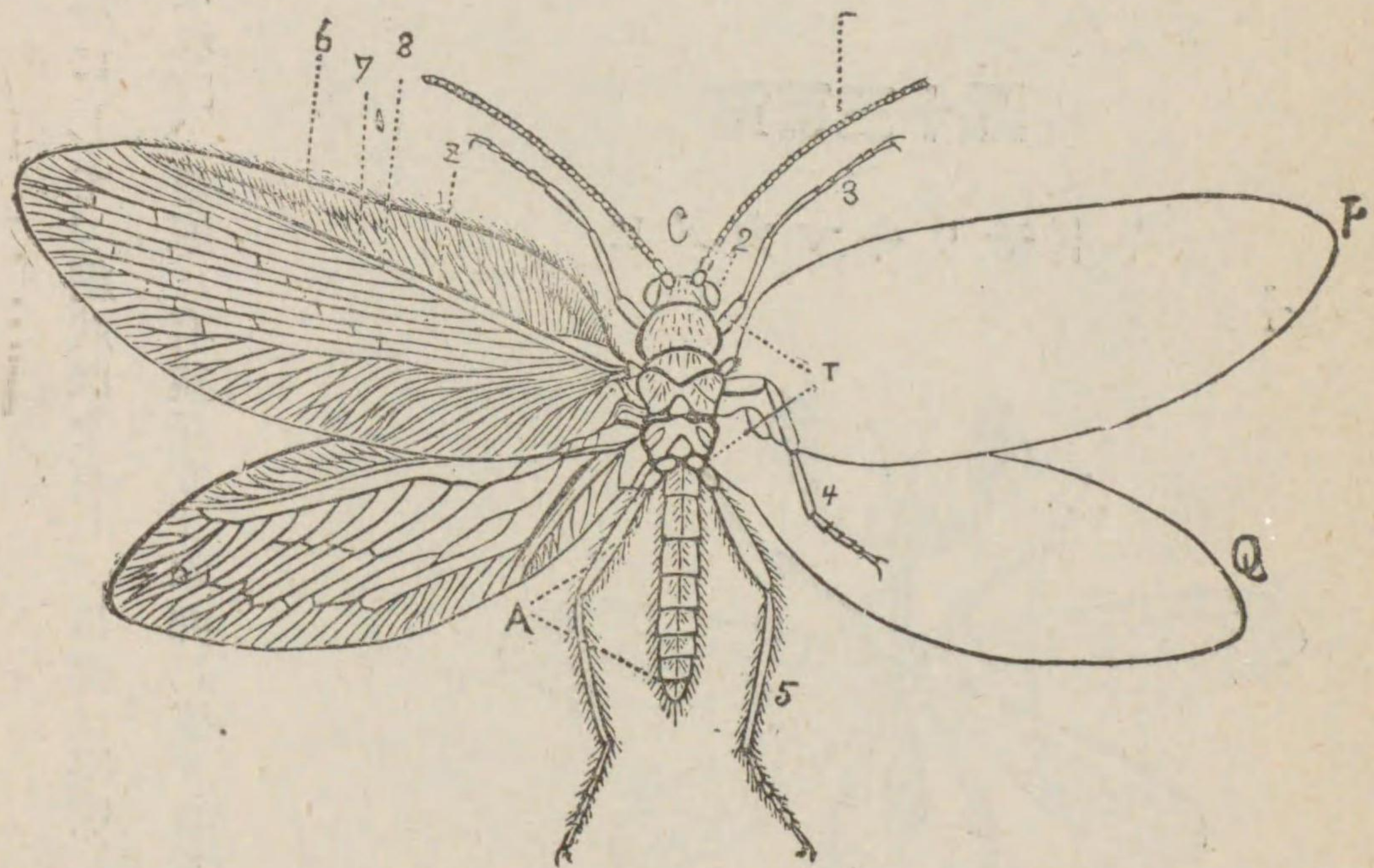
Hybris subjaecus WK.

(著者原圖)



ウロゲカシクカビク 圖二十三第

Megal mus punctatus Mats.



(z)	(8)	(7)	(6)	(Q)	(P)	(A)	(T)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(C)
前	徑	副	前	後	前	腹	胸	後	中	前	複	觸	頭
線	脈	脈	脈	翅	翅	部	部	肢	肢	肢	眼	角	部
胞													

第十二蠓蟲目

Mecoptera

二双の翅は膜質同形にして、横脈少なく、静止のときは之れを水平に半開す(稀に翅を缺くものあり)。頭は小さく。口部は垂直にして甚だしく延長し、口吻状をなす。小腮と下唇とは相癒着して咀嚼に適す。其の性食肉性なり。本邦に産するもの左の一科なり。

1. 蠓尾蟲科 *Panorpidae*

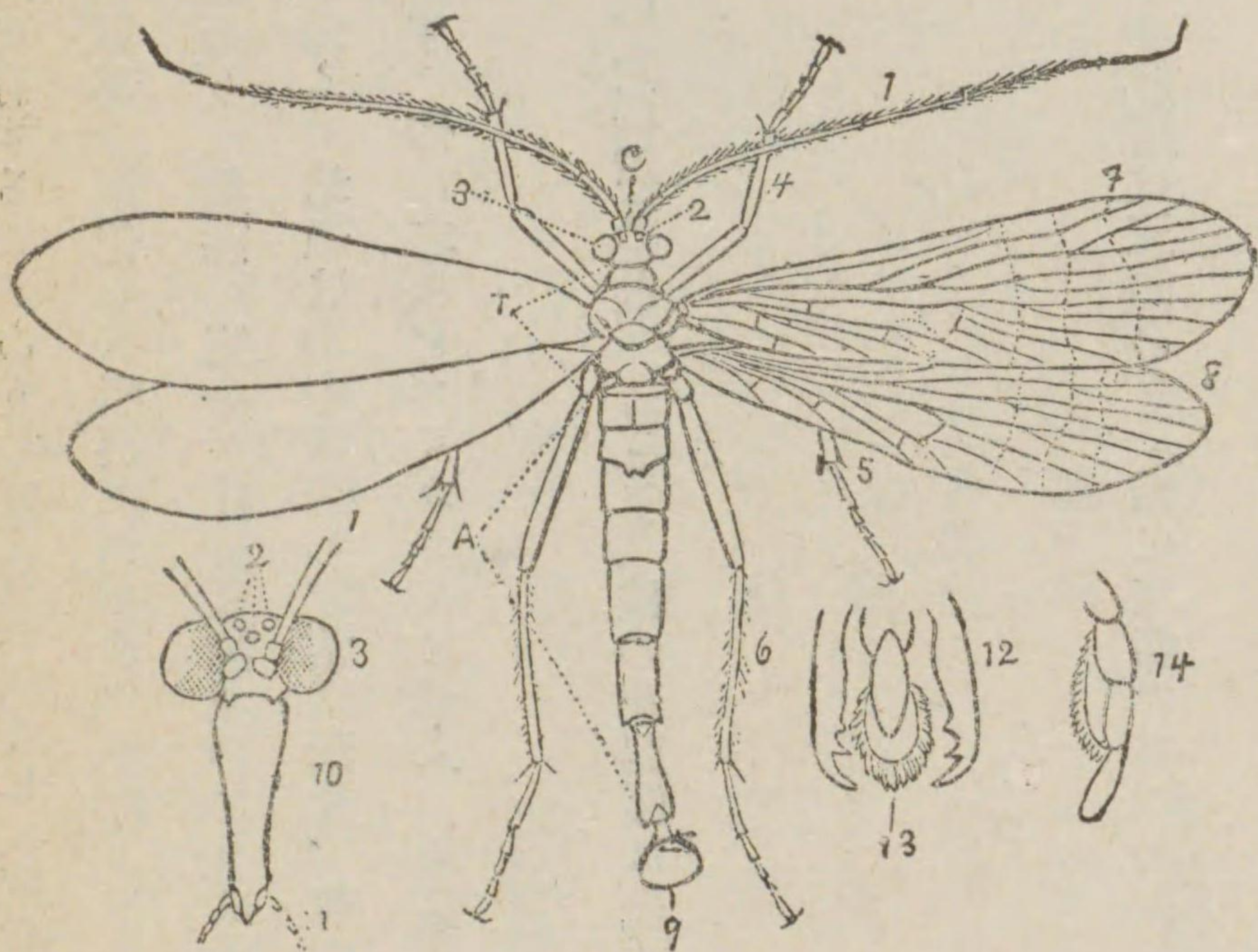
第十二毛翅目

Trichoptera

二双の翅は其の形を異に

第三百二十三圖

ベッカウシリアゲムシ



(*Panorpa klugi* M'L.)

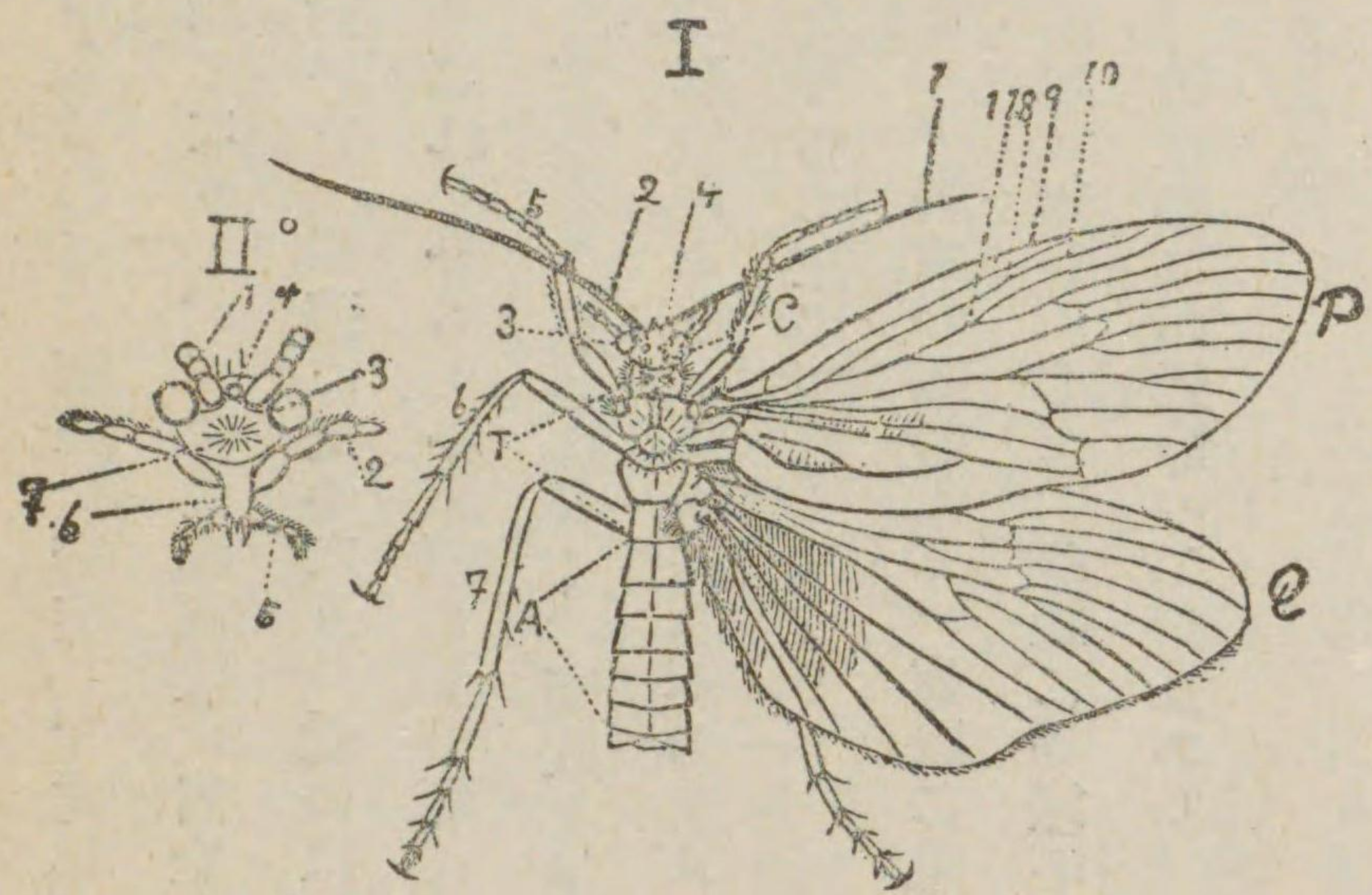
(14)	(13)	(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(A)	(T)	(C)
下	下	大	小	口	尾	後	前	後	中	前	複	單	觸	腹	胸	頭
唇	唇	腮	鬚	吻	端	翅	翅	肢	肢	肢	眼	眼	角	部	部	部
鬚					の											
					缺											
					子											

(著者原圖)
(廓大圖)

ラケビトキサラム 圖四十三百第

(Holostomis regina M'L.)

(圖原者著)



(I) 背
(C) 頭部
(1) 觸角
(2) 小腮鬚
(3) 複眼
(4) 單眼
(5) 前肢
(6) 中肢
(7) 後肢
(T) 胸部
(A) 腹部
(P) 前翅
(Q) 後翅

(8) 副前縁脈
(9) 前縁脈
(10) 徑脈
(11) 中脈
(II) 頭部の下面
(5) 下唇鬚
(6) 口吻
(7) 額

- 3. 流石蠶科 ナガレトビケラ Rhyacophilidae
- 4. 姫石蠶科 ヒメトビケラ Hydropsilidae

- 1. 角石蠶科 トビケラ Leptoceridae
- 2. 筒石蠶科 ツツトビケラ Hydropsychidae

(b) 同鬚亞目 Aequipalpi 雌雄の小腮鬚は五節あり (稀に四節のものもあり)。本邦に産するもの四科なり。

- 3. 毛石蠶科 ケトビケラ Sericostomidae
- 2. 剥石蠶科 ヒゲトビケラ Limnophilidae
- 1. 石蠶科 トビケラ Phryganeidae

(a) 異鬚亞目 (Heteropalpi) 雌の小腮鬚は五節なれども、雄の小腮鬚は普通三節よりなる。本邦に産するもの左の三科なり。

し、前翅には細毛を有し (稀に細鱗を有することあり)。後翅は廣くして縦疊し、静止のときは屋斜状をなして之れを腹上に置く。口部は退化して咀嚼に適せず。小腮と下唇と相癒着して短かき口吻状をなす。普通三筒の單眼あり。變態は完全。成蟲は静止のときは普通頭部を下方に向くるを以て一名デムキカゲロウと云ふ。幼蟲は水中に住し、常に葉片、草片、砂石若くは木片を集めて管状の巢を造り其内に住す。俗に之れをゴミカツギと云ふ。本目を分ちて左の二亞目となす。

第十四鱗翅目 Lepidoptera

二双の翅は膜質同形にして、細鱗を密装し、之れに依りて美麗の彩色を現はす。口吻は吸収に適する管狀の長吻となりて、平常は螺旋狀に回旋す。之れを螺旋口 (Lingua spiralis) と云ふ。前胸は癒着して動かす。體は完全なり。幼蟲は五双乃至八双の脚を備へ、稀に九双の脚を有するものあり。今之れを分ちて小蛾類と大蛾類に區別す。

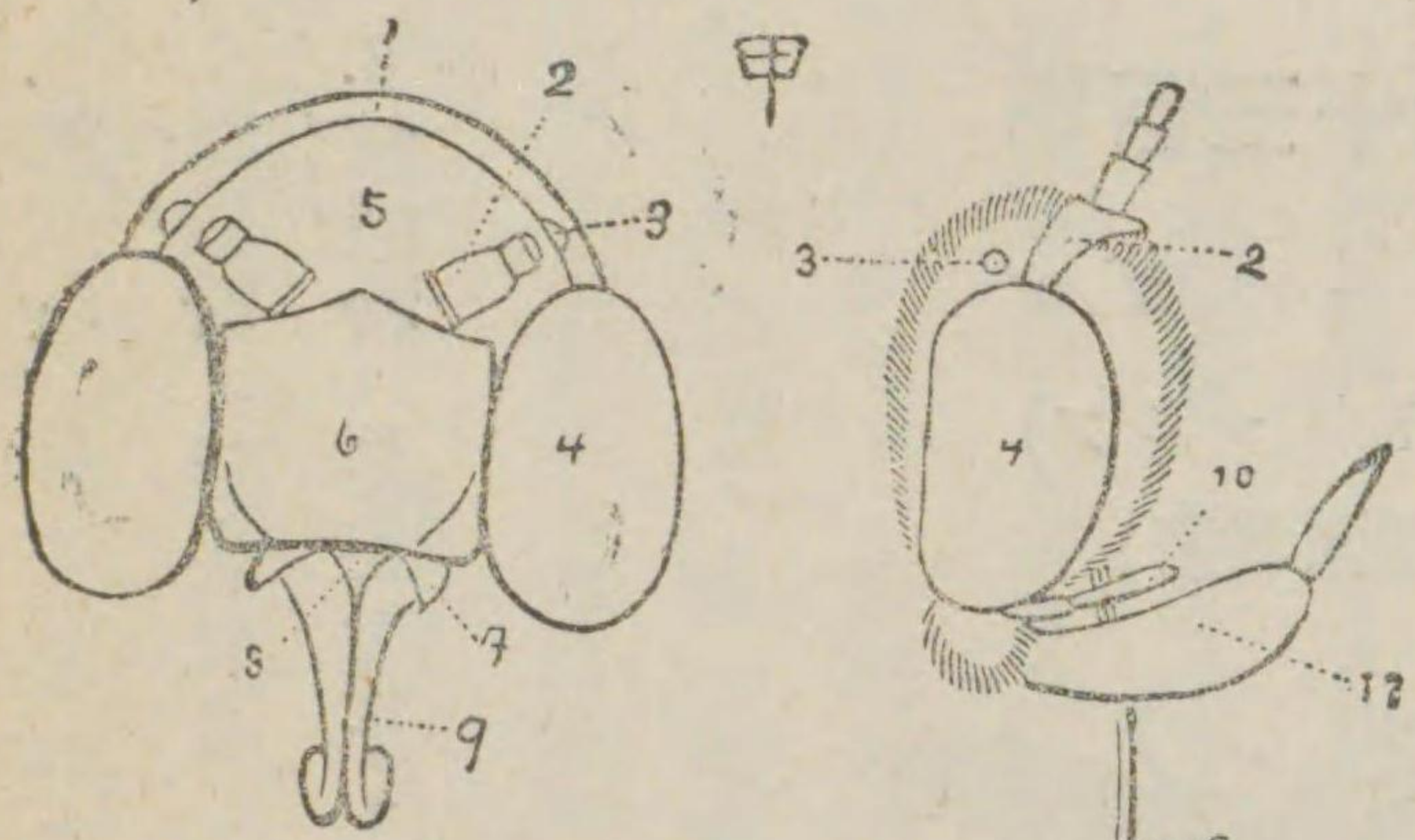
(A) 小蛾類 Microlepidoptera 觸角は長く、鞭狀を呈し。後翅に抱刺を具へ、三箇の内縁脈を有し。後脛節には二双の距あり。幼蟲は八双乃至九双の脚を具へ。腹脚の末端は普通冠狀の鉤爪を有す。今之れを分ちて左の四族となす。

(a) 穀蛾科 Tineina 觸角の基節太く。複眼に毛を缺き。下唇鬚は發達し、末端節は細長にして普通彎曲す。前翅は細長にして、後縁に長縁毛を具へ。後翅にも長縁毛ありて、第八脈は第七脈と遠ざかる。後脛節は同腿節の二倍長あり。本邦に産するものは左の八科なり。

- 1. 潜蛾科 Lyonetiidae
- 2. 長毛蛾科 Nepticulidae
- 3. 穀蛾科 Tineidae
- 4. 巢蛾科 Hyponomeutidae

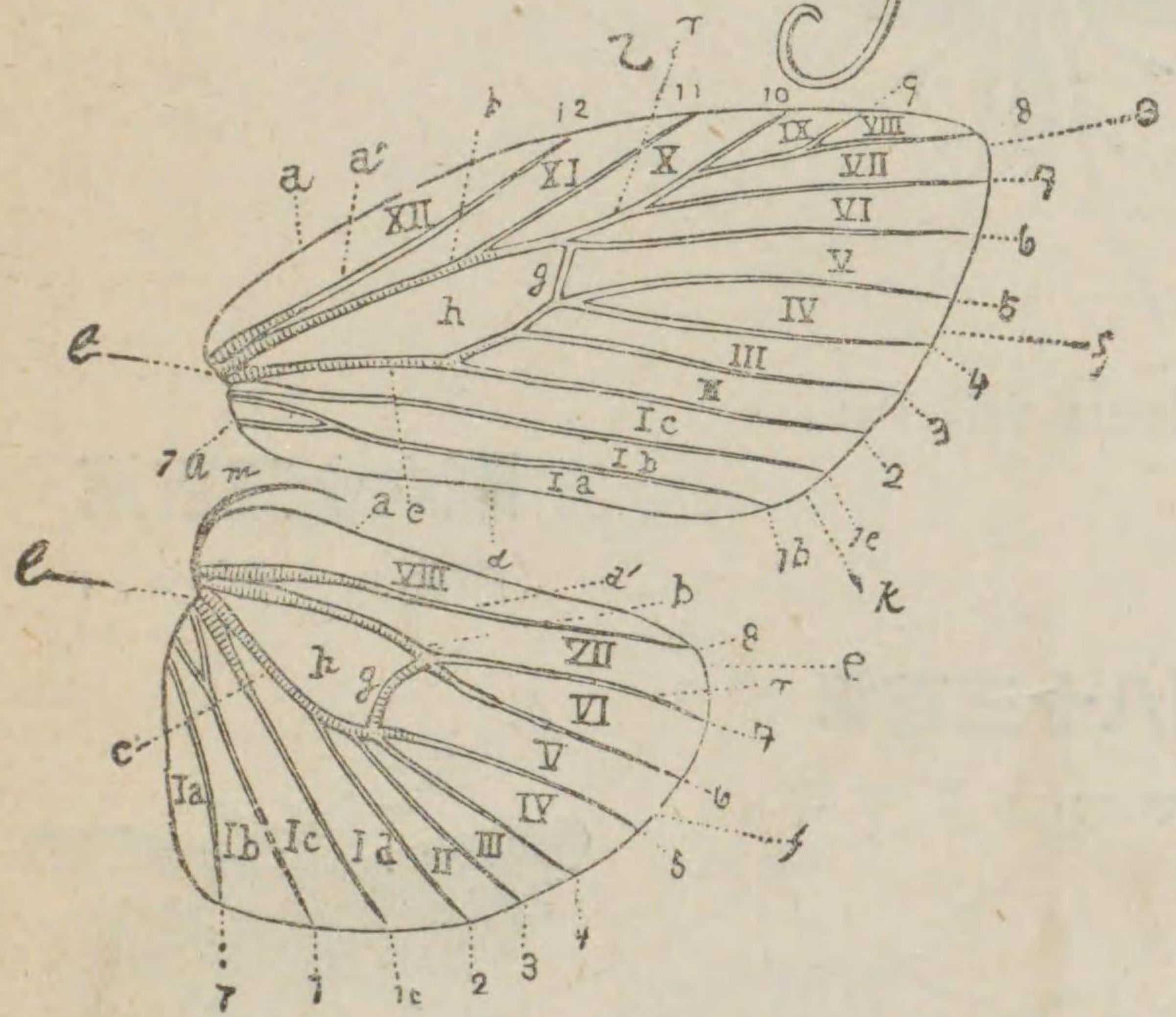
第三百三十五圖

(甲) 蛾の頭部



- (1) 後頭
- (2) 觸角
- (3) 單眼
- (4) 複眼
- (5) 頭頂
- (6) 額片
- (7) 大腮
- (8) 上唇
- (9) 小腮
- (10) 小腮鬚
- (11) 下唇鬚

(乙) 蛾の前後翅



- (a) 前縁 (a') 前縁脈
- (b) 副前縁脈 (r) 徑脈
- (c) 中脈 (d) 後縁
- (e) 翅端 (f) 外縁
- (g) 中室横脈 (b) 中室
- (k) 外縁角 (l) 翅底
- (m) 抱刺 (Frenulum)
- 1a(1-12) 第一脈……第十二脈
- 1b 1c …… 第一、第二、第三内縁脈
- 1a(I-XII) 第一室……第十二室
- 1b 1c 1d …… 第一、第二、第三、第四内縁室

(ハンブロン氏原圖)

- 5. 麥蛾科 *Gelechiidae*
- 6. 細蛾科 *Gracillariidae*
- 7. 菜蛾科 *Plutellidae*
- 8. 筒蛾科 *Elachistidae*

圖六十三百第 (蛾麥) ガクバ



Sitotroga cerealella Oliv.

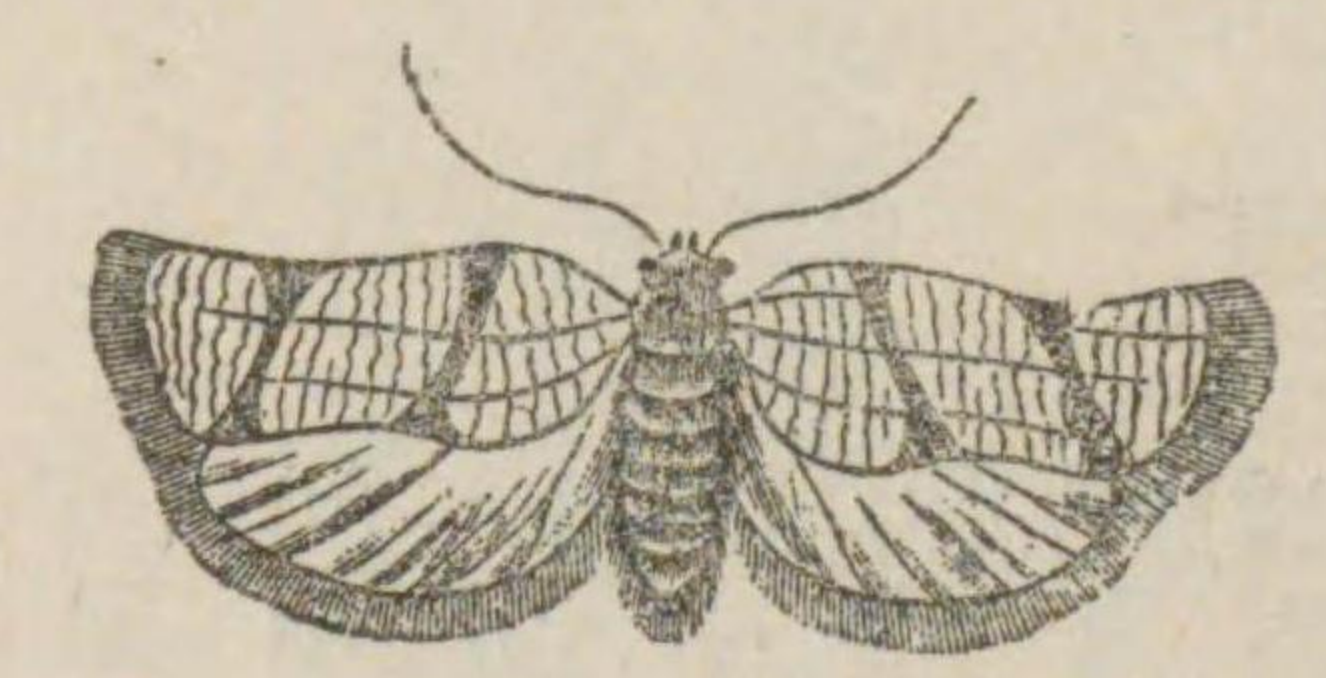
(日本昆蟲學より寫す)

圖七十三百第 バリトラダマ (バリトメマジフ) (圖原作者著)



Alucita vilis Batl.

圖八十三百第 キマハラダマキ



Cacoecia imitator Wals.

(日本害蟲寫より寫す)

(b) 葉捲蛾族 *Tortricinae*——下唇鬚の末端節は短く。前翅は普通長方形、稀に三角形に近きものあり。第一内縁脈は基部にて分支す。十一脈乃至十二脈を有す。縁毛は短し。本邦に産するもの

の下の二科なり。

- 1. 擬葉捲科 *Glyphipterygidae*
- 2. 葉捲蛾科 *Tortricidae*

(c) 鳥羽蛾族 *Pterophorinae*——前後翅は分支するを以て他と區別すること容易なり。本邦に産するものは左の二科なり。

- 1. 多翼蛾科 *Orneotidae*
- 2. 鳥羽蛾科 *Pterophoridae*

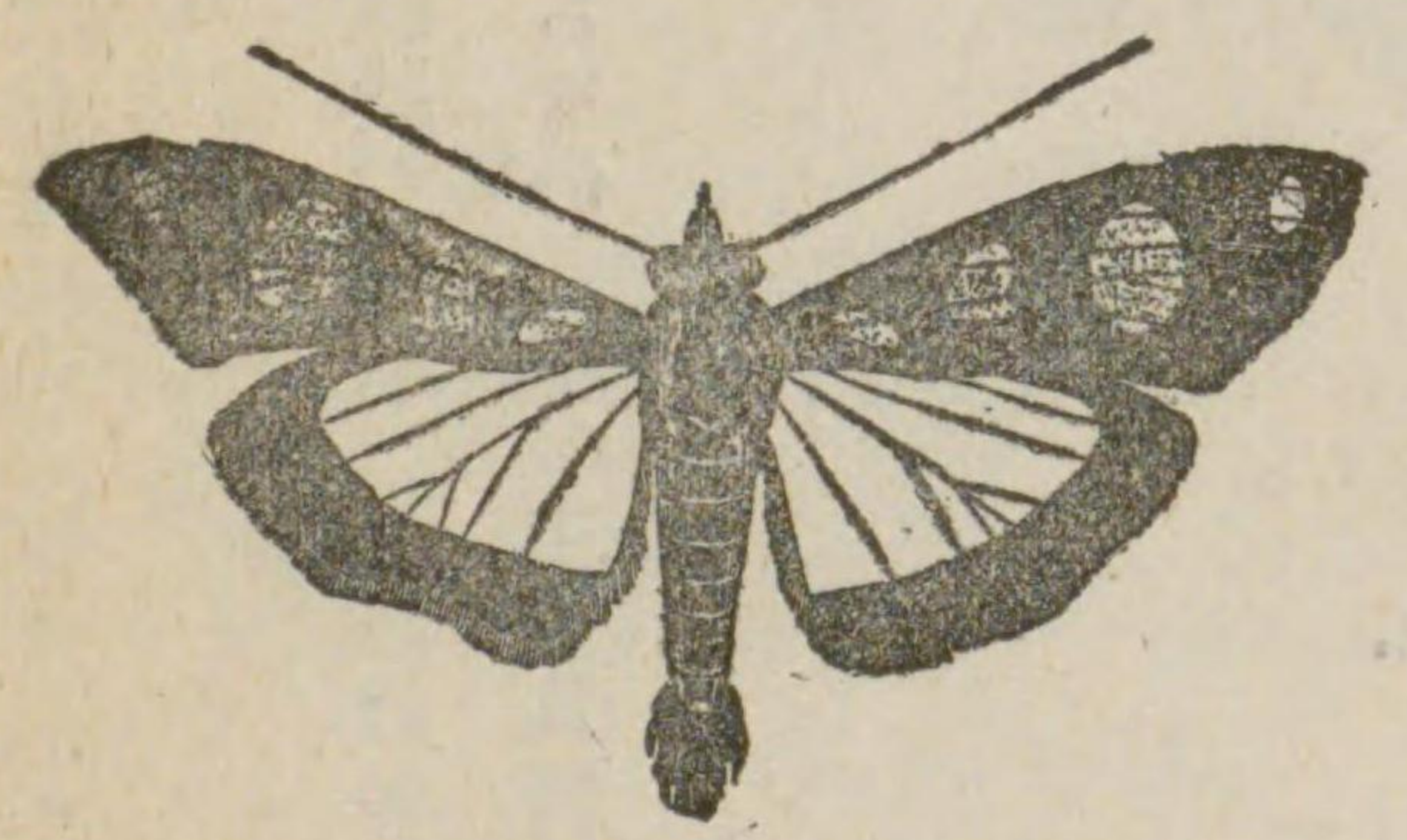
(d) 螟蛾族 *Pyralidinae*——前後翅は分支せず、前翅は略ぼ三角形にして、第一内縁脈は分支せず。本邦に産するものは左の一科なり。

- 1. 螟蛾科 *Pyralidae*
 - (B) 大蛾類 *Macrolepidoptera*
- 小蛾類と異なるところは後

圖九十三百第

ガイメノメツヨ

(圖原作者著)



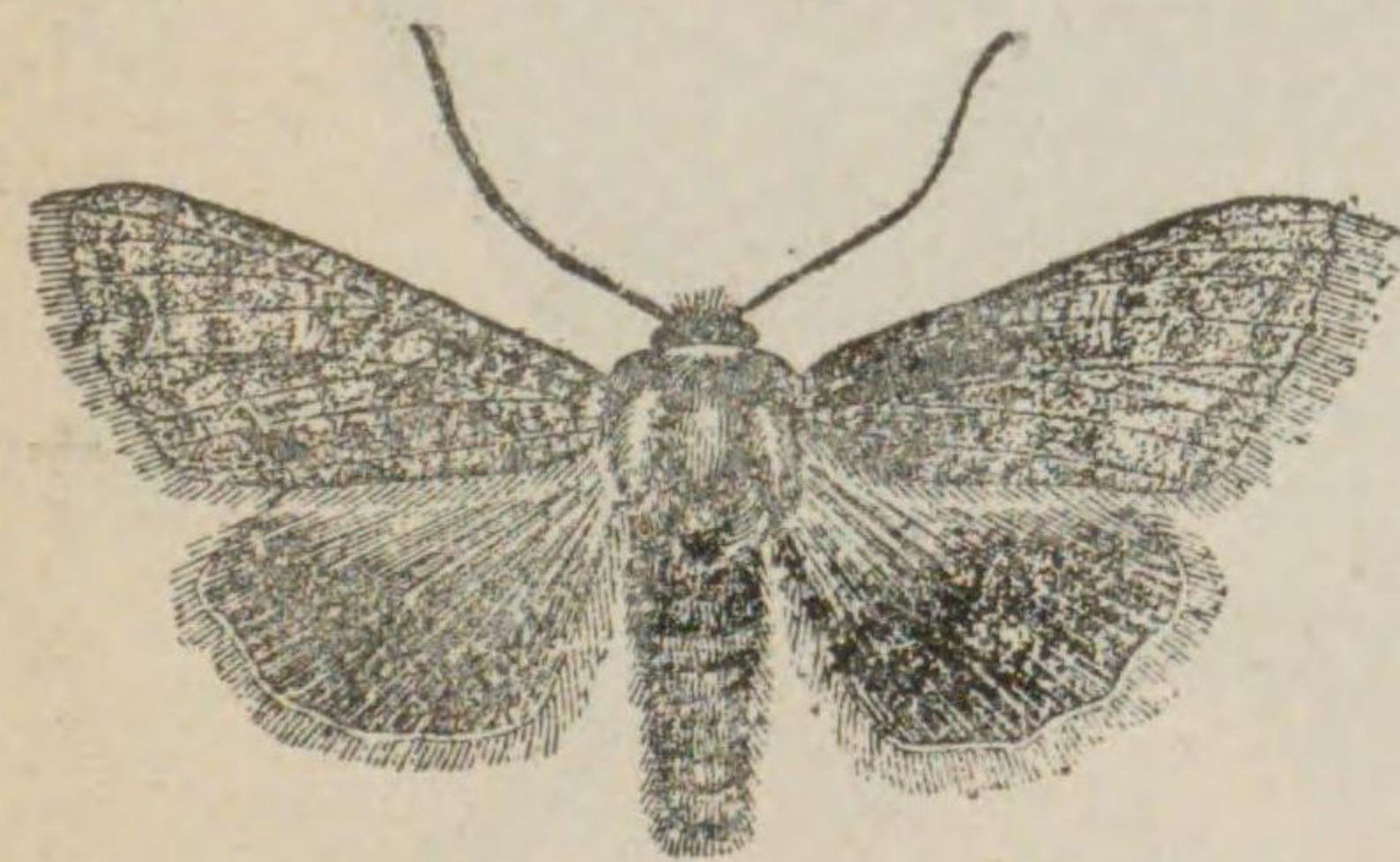
Glyphodes quadrimaculatus Motsch.

- 12. 双尾蛾科 Epipleminidae
- 13. 燕蛾科 Uranidae
- 14. 尾蛾科 Epicopeidae
- 15. 尺蛾科 Geometriidae
- 16. 尖蛾科 Cymatophoridae
- 17. 虎蛾科 Agaristidae
- 18. 夜蛾科 Noctuidae
- 19. 窓蛾科 Thyrididae
- 20. 錨紋科 Callidulidae
- 21. 鈎蛾科 Drepanidae
- 22. 蠶蛾科 Bombycidae
- 23. 水蠶蛾科 Brahmaeidae
- 24. 天蠶蛾科 Saturniidae
- 25. 枯葉蛾科 Lasiocampidae
- 26. 毒蛾科 Lymantriidae

圖二十四百第

ガウトヨ

(圖原者著)

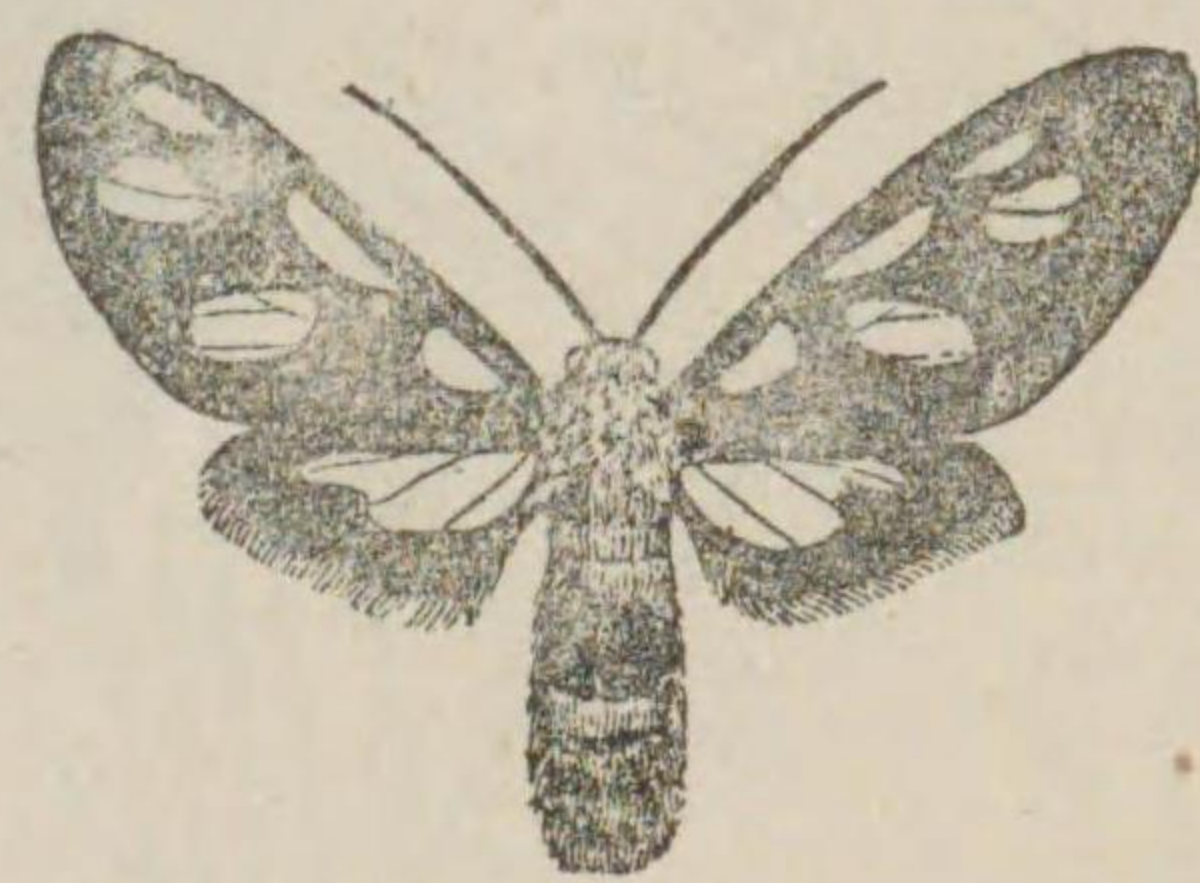


Mamestra Brassicae L.

圖一十四百第

ガコノカ

(圖原者著)

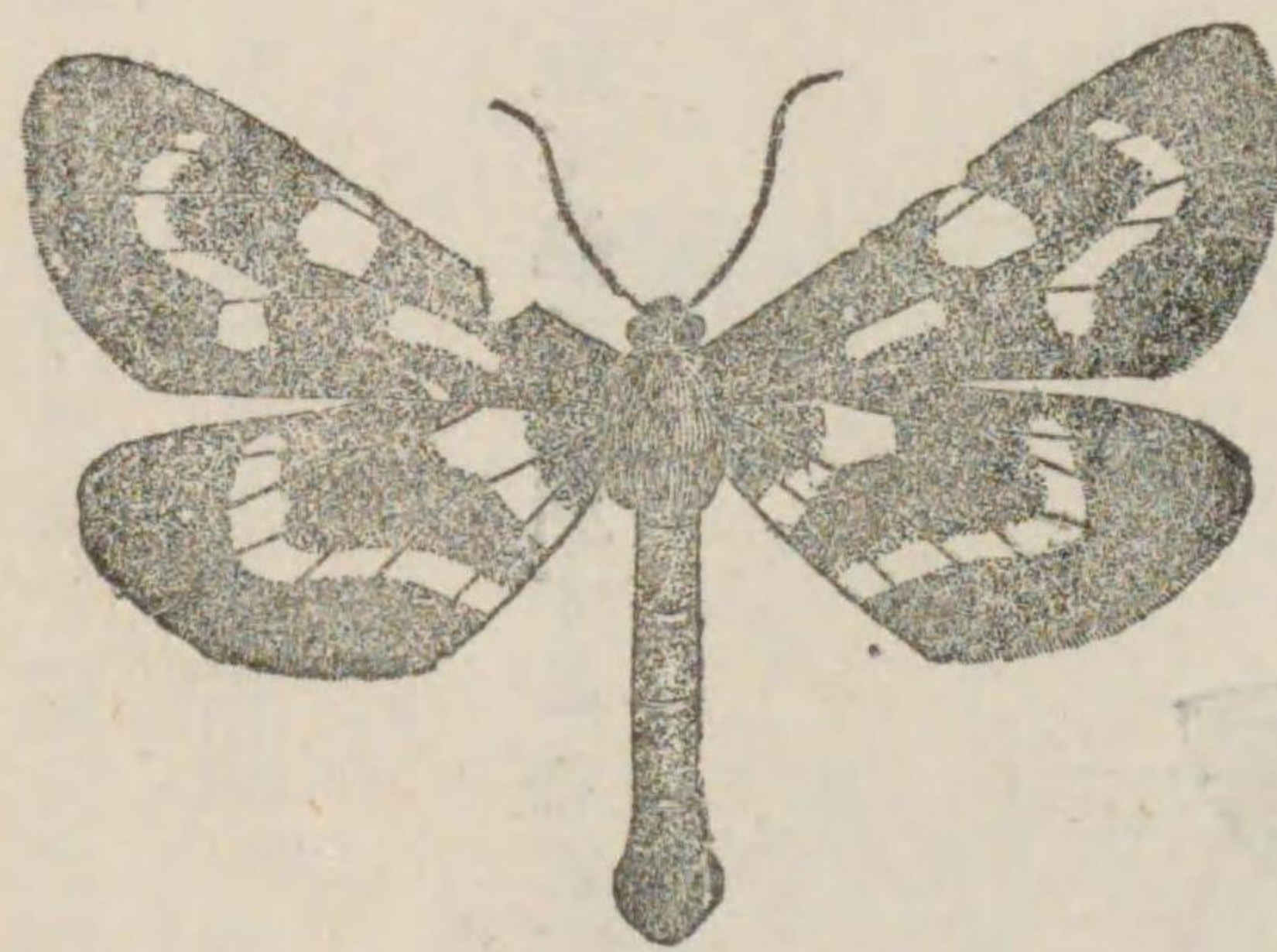


Syntmis Fortunei De l'Orza.

翅に一本乃至二本の内縁脈を具へ、稀に三本の内縁脈を有す。幼蟲は多く櫛齒状の爪鉤を有することあり。今之れを分ちて蝶類と蛾類の二部となす。
 a 蛾類 Phalaena (Nocturna) —— 觸角は種類に依りて鞭状、絲状、羽状、紡錘状等あり、普通夜間に飛翔し、静止のときは翅を屋斜状に置く。本邦に産するものは左の二十八科なり。

- 1. 蝙蝠蛾科 Hepialidae
- 2. 木蠹蛾科 Cossidae
- 3. 硝子蛾科 Aegeriidae
- 4. 腿蛾科 Tinaegeriidae
- 5. 避債蛾科 Psychidae
- 6. 刺蛾科 Cochilidae
- 7. 斑蛾科 Zygaenidae
- 8. 鹿子蛾科 Syntomidae
- 9. 燈蛾科 Archidae
- 10. 實蛾科 Cymbidae
- 11. 瘤蛾科 Nolidae

クヤシボント

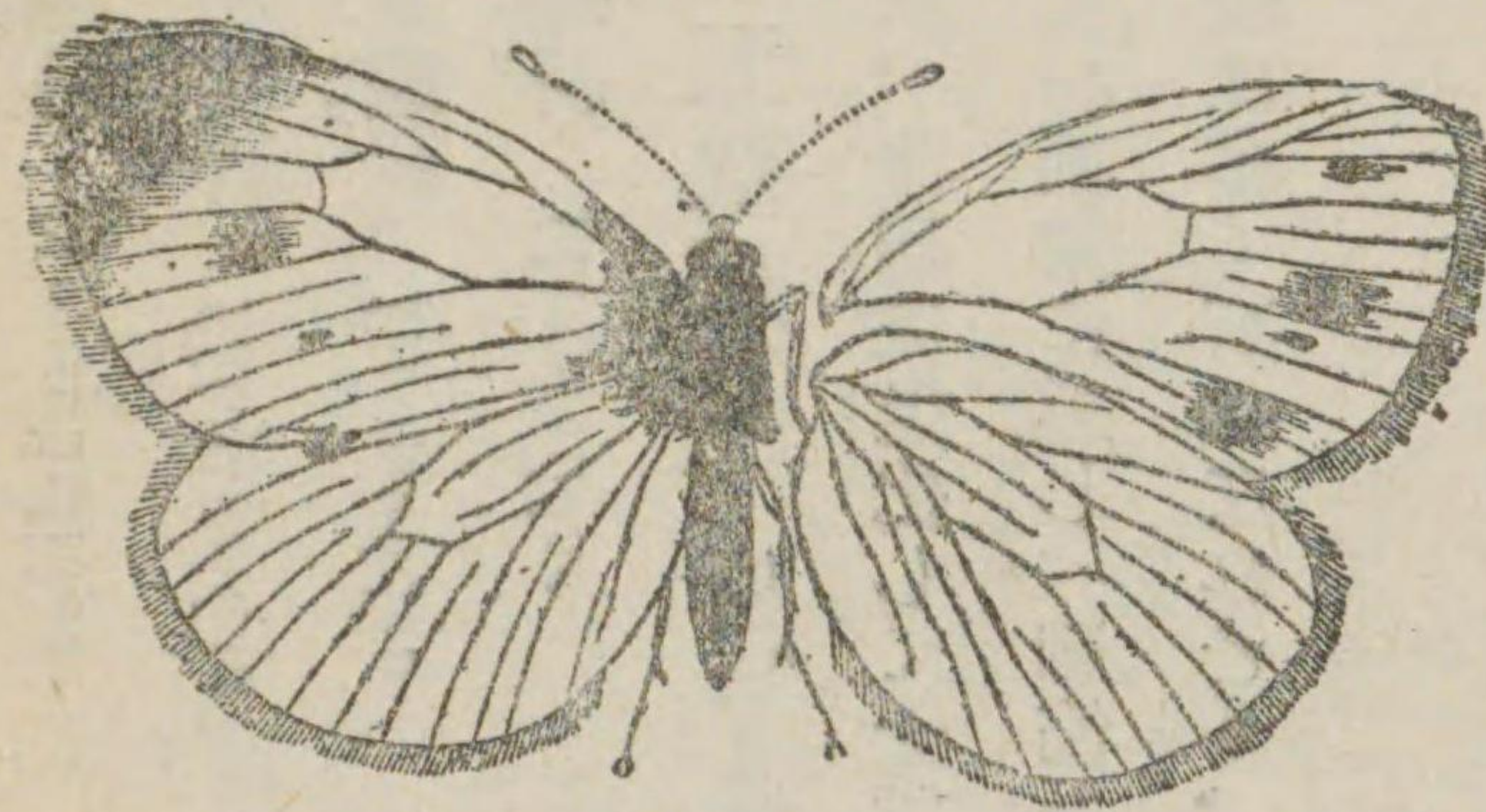


Cistidia strationice Cram.

(圖原氏一ラトッパ)

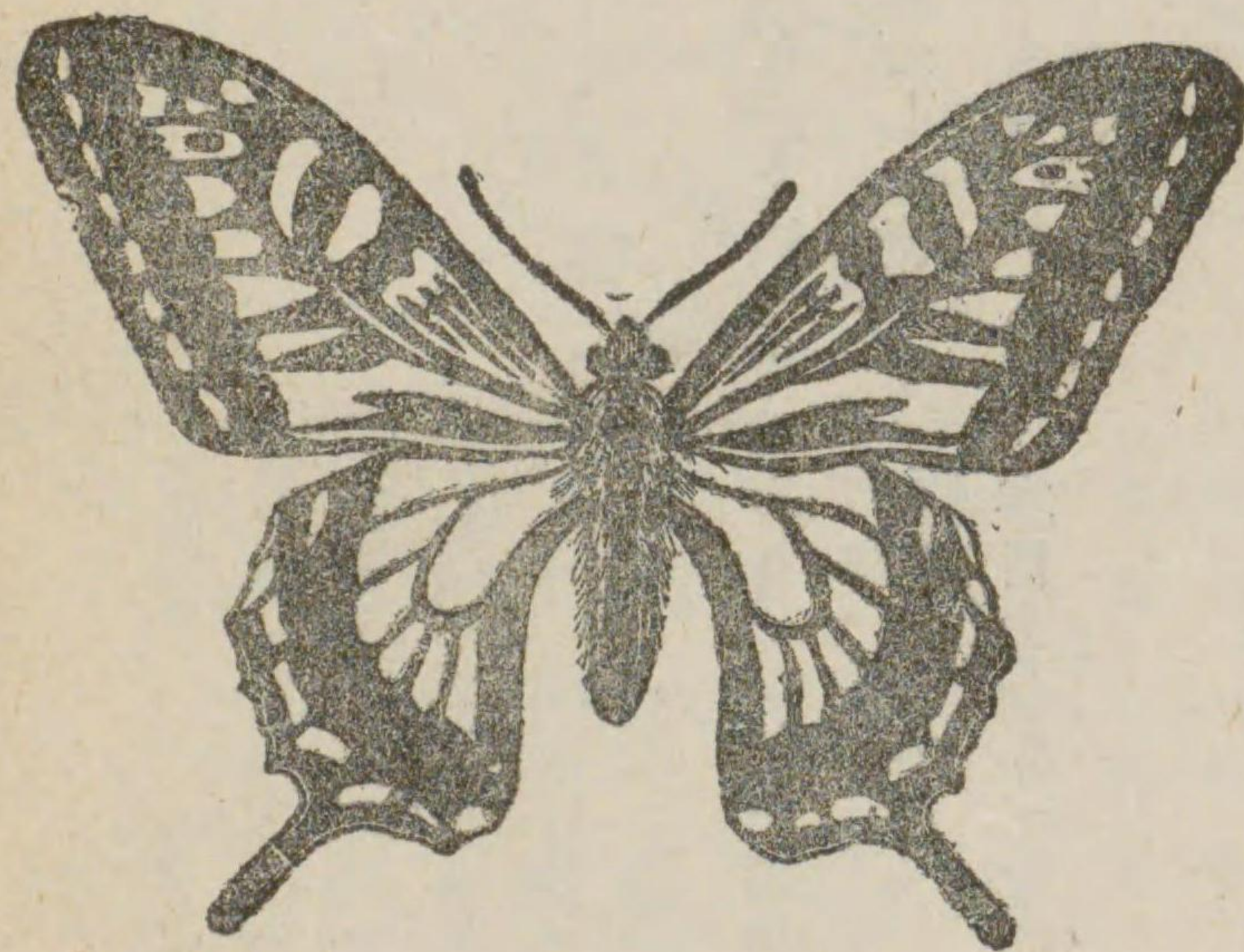
第四百十圖

フテロシンモ 圖六十四百第



Pieris Rapae L.

ハゲア 圖七十四百第



(圖原氏アーラブ)

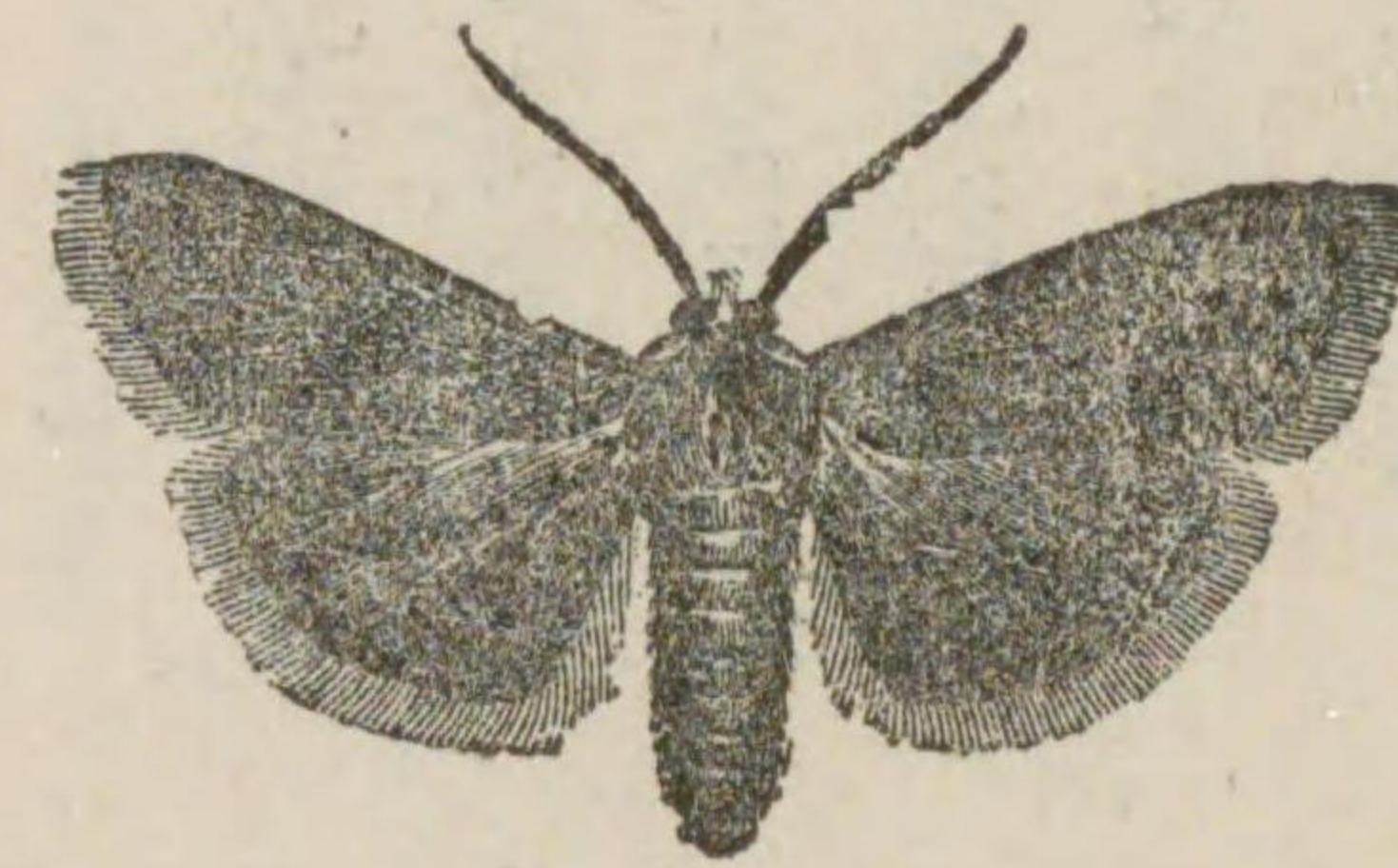
Papilio xuthus L.

- 1. 鳳蝶科 *Papilionidae*
- 2. 粉蝶科 *Pieridae*

(b) 蝶類 *Rhopalocera* 觸角は絲狀をなし、末端にて杓子状若しくは棍棒状に膨大す。晝間飛翔し、静止のときは翅を直立せしむ。本邦に産するものは左の七科なり。

圖三十四百第

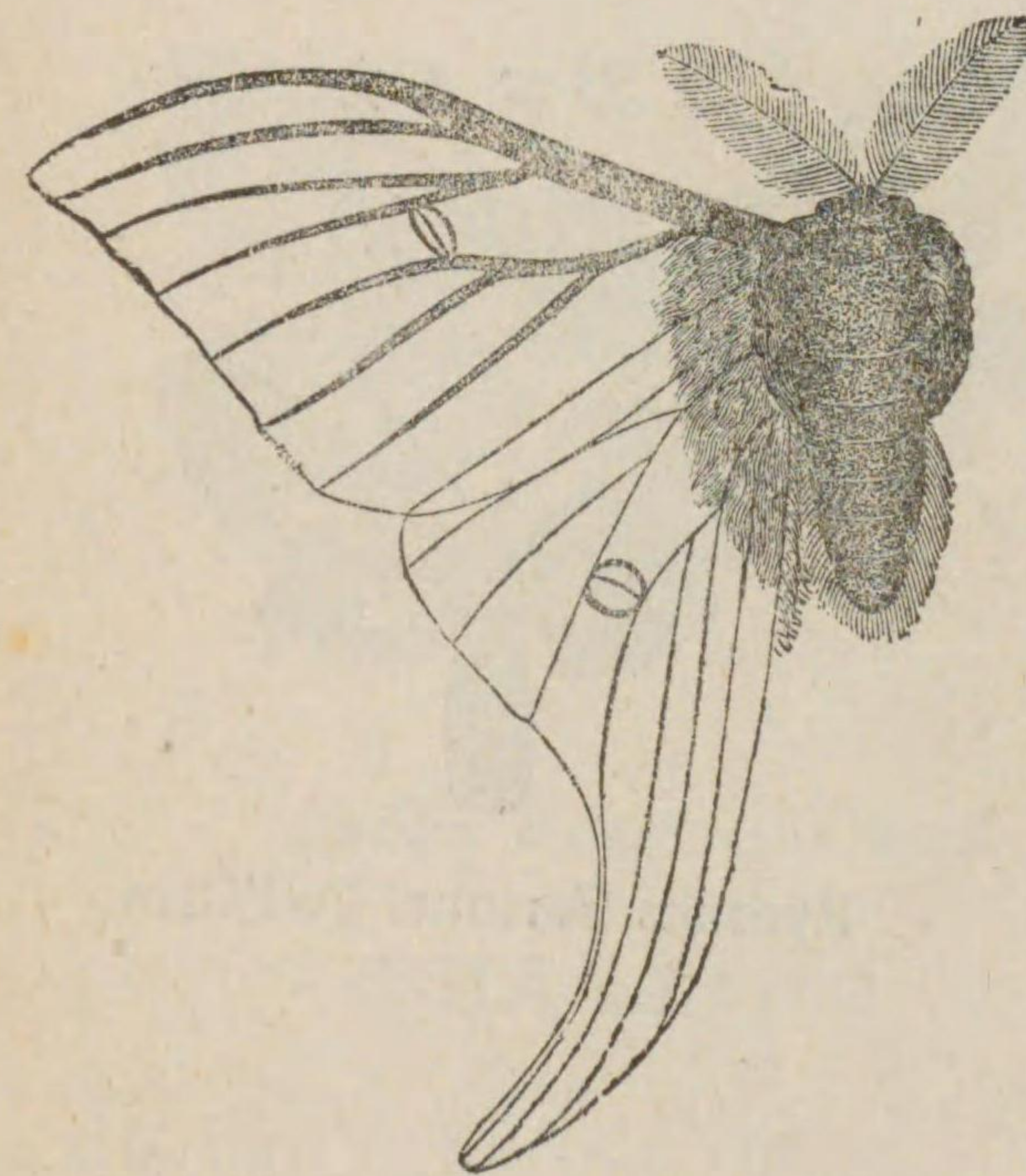
ウトヨノワア



Leucania unipuncta Haw.

圖五十四百第

チアヅミガナチ



Actias selene Hb.

- 27. 天社蛾科 *Notodontidae*
- 28. 天蛾科 *Sphinxidae*

ガノミノヤチ

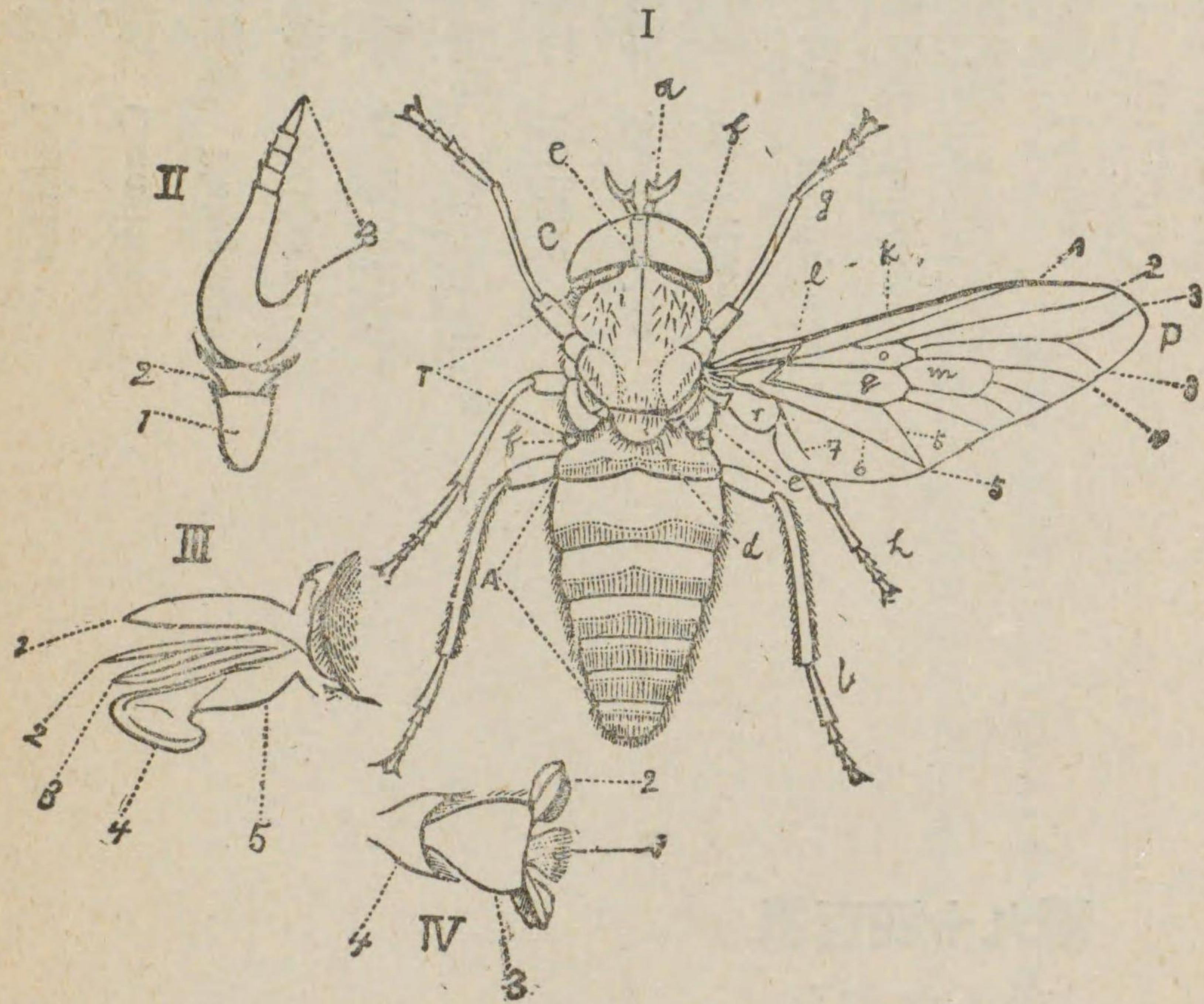


Clania minuscula Butl.

第四百四十四圖

ブアシウカア 圖八十四百第

Tabanus chrysurus Loew



- | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|-------------|-------------|--------------------|-------------|--------------|-----------------------|---------|---------|---------|--------|---------------|--------|----------|--------|
| (o) 前翅底室 | (m) 中室 | (l) 翅底横脈 | (k) 前縁脈 | (i) 後肢 | (h) 中肢 | (g) 前肢 | (f) 平均根 | (e) 鱗狀瓣 | (d) 稜狀部 | (c) 頭頂 | (b) 複眼 | (a) 觸角 | (C) 頭部 | (I) 背面 |
| (3) 第五節(4) 第四節 | (1) 吸盤(2) 爪 | (IV) 前肢ノ跗節端 | (3) 大腮(4) 副古(5) 下唇 | (I)(III) 口部 | (I) 上唇(2) 小腮 | (I) 第一節(2) 第二節(3) 第三節 | (II) 觸角 | (A) 腹部 | (T) 胸部 | (P) 前翅 | (1-7) 第一脈—第七脈 | (r) 膜瓣 | (q) 後翅底室 | |
- (著者原圖) (廓大圖)

3. 班蝶科 Danaidae
4. 蚊蝶科 Nymphalidae
5. 天狗蝶科 Libytheidae
6. 小灰蝶科 Lycaenidae
7. 橋蝶科 Hesperidae

第十五双翅目 Diptera

翅は一双、後翅は退化して太鼓の撥状を呈し、稀に翅を缺くものあり。口部は口吻状に延長して吸収及び刺螫に適し、關節をなさず。前胸は癒着して動かす。變態は完全なり。此の目に屬する昆虫は多く有益なれども、亦有害なるものも少なからず。本目を分ちて左の二亞目となす。

(A) 直裂亞目 (Orthorapha) 蛹は被蛹又は圍蛹にして、成蟲の蛹皮を脱するとき脊中にT字形若くは横溝列線を生ずるものを云ふ。之れを更に長角類と短角類との二部とす。

(a) 短角類 Brachycera——觸角は三節にして、普通頭部より短く、末端節に端刺(Arista)若しくは角片(Stylus)を有す。鱗狀片を以て撥状の後翅を蔽ふもの多し。蛹は被蛹若しくは圍蛹なり。本邦に産するものは左の十七科あり。

1. 牛蠅科 Oestridae
2. 眼蠅科 Conopidae
3. 扁脚蠅科 Platypezidae
4. 蚤蠅科 Phoridae
5. 鎗蠅科 Lonchopteridae
6. 長脚蠅科 Dolichopodidae
7. 舞蠅科 Empidae
8. 窓蠅科 Scenopinidae
8. 劍虻科 Therevidae
10. 長吻虻科 Bombyliidae
11. 食蟲虻科 Asilidae
12. 小頭虻科 Acroceridae
13. 鷓虻科 Leptidae
14. 虻科 Tabanidae
15. 水虻科 Stratiomyidae

第四百九十四圖

シホヤブ



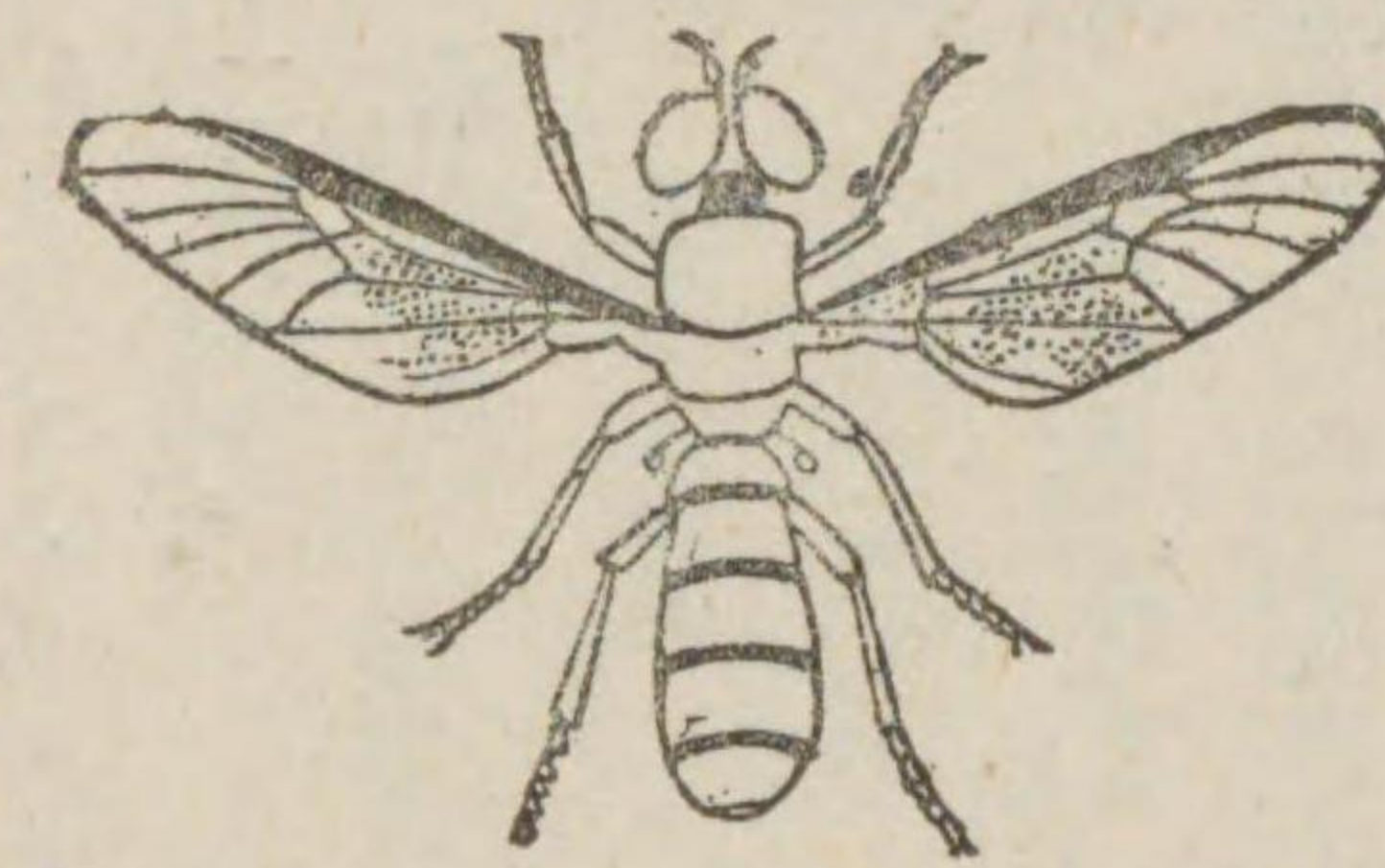
Promachus yesonius Bigot.

16. 木虻科 Xylophagidae
17. 臭虻科 Coenomyiidae
- (b) 長角類 Nematocera — 觸角は六節乃至數十節よりなり。普通連鎖狀をなして細長し。雄には往々兩櫛齒狀を呈するものあり。腹部は細長く、七節乃至九節あり。蛹は被蛹。本邦に産するもの下の十二科なり。
1. 蚋科 Simuliidae
2. 毛蠅科 Bibionidae
3. 蚊蠅科 Rhyphidae
4. 癩蠅科 Cecidomyiidae
5. 蠶蠅科 Mycetophilidae
6. 搖蚊科 Chironomidae
7. 蚊科 Culicidae
8. 細蚊科 Dexiidae
9. 網蚊科 Blepharoceridae
10. 偽大蚊科 Limnobiidae

- 11. 大蚊科 *Tipulidae*
- 12. 蝶蠅科 *Psychodidae*

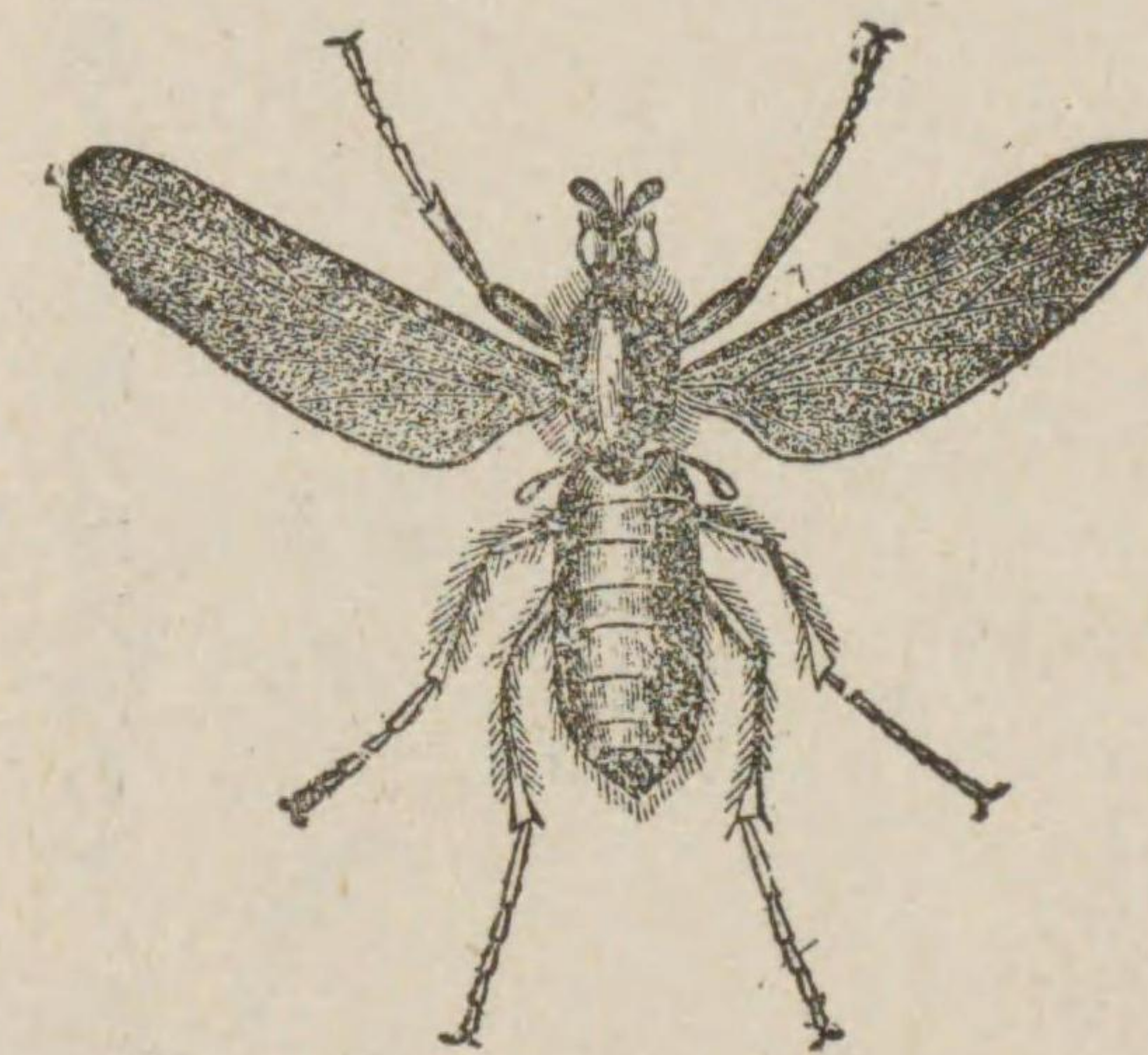
第一百五十圖

ルリミヅアブ



Sargus nipponensis Big.

(圖原者著)



Bibio hortulanus L.

(圖原氏スニイロ)

第一百五十一圖

ヒメメスアカケバイ

(B)環裂亞目 (Cyclorapha) 蛹は圍蛹。成蟲の羽化するとき蛹皮の環狀に裂破するものを云ふ。之れを更に分つて左の二となす。

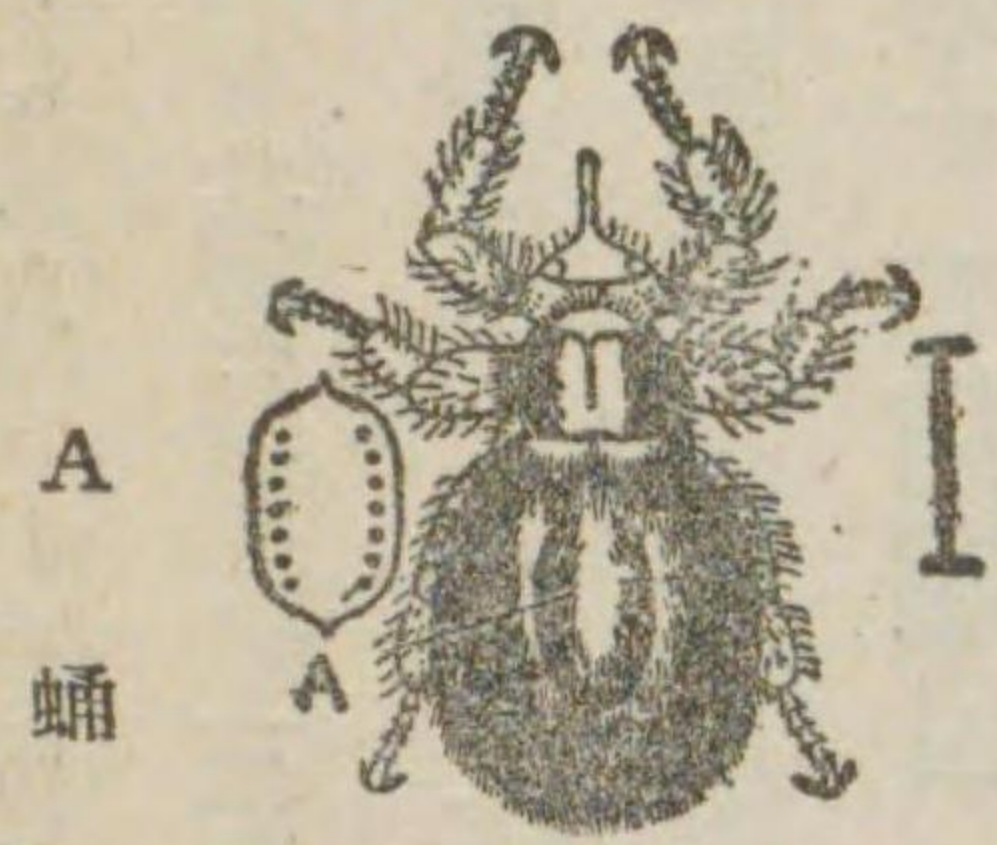
(a)無額裂類 *Aschiza* 成蟲に額裂を有せざるものを云ふ。本邦には左の 科あるのみ。

1. 食蚜虻科 *Syrphidae*
 (b)有額裂類 *Schizophora* 成蟲は額裂を有す。本邦に産するものは下の三科なり。

- 1. 家蠅科 *Muscidae*
- 2. 蛛蠅科 *Nycteribiidae*
- 3. 蠅蠅科 *Hippoboscidae*

第一百五十二圖

ヒツジシラミバヒ

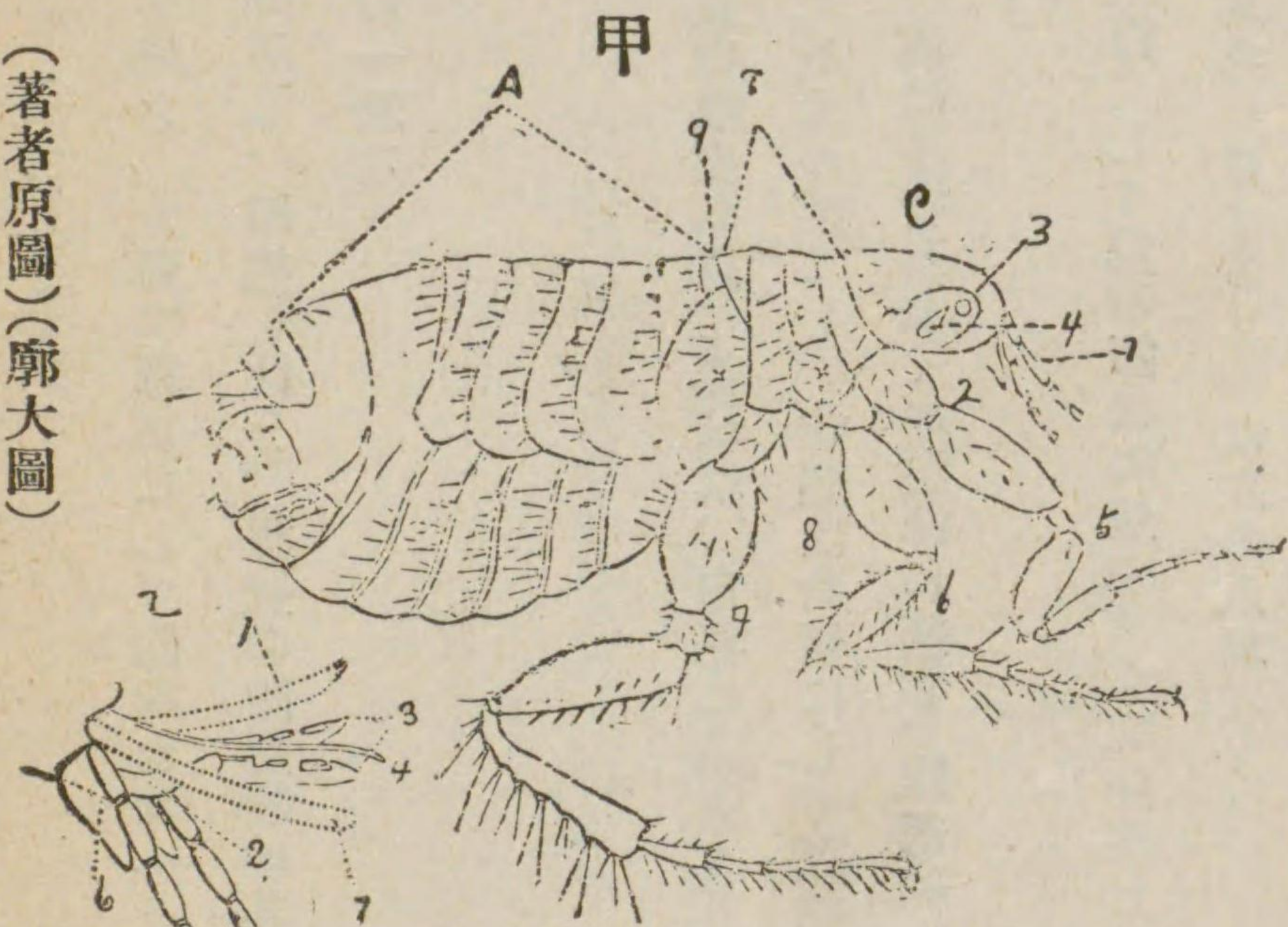


Melophagus ovinus L.

(スミス氏原圖)

圖三十五百第

(*Pulex irritans* L.)



(著者原圖)(廓大圖)

- (甲)側面 (C)頭部
- (1)小腮鬚 (2)小腮
- (3)單眼 (4)觸角
- (5)前肢 (6)中肢
- (7)後肢 (8)中胸の附屬板(翅の痕跡)
- (9)後胸の附屬板
- (T)胸部 (A)腹部
- (乙)口部 (ウエストウ) (D)氏原圖
- (1)大腮 (2)下唇
- (3)下唇鬚 (4)製舌
- (5)小腮鬚 (Hypopharynx)
- (6)小腮

第十六微翅目 Aphaniptera (Siphonaptera)

口部は吸収及び刺整に適し。上唇を缺き、大腮は細長にして鋭齒を具へ。下唇は關節を有す。觸角は甚だ短く。三胸環は互に相分離し。四翅を缺き、板狀の附屬物は其の地位を占む。變態は完全なり。本邦に産するもの左の一科なり。

- 1.蚤科 Pulicidae

第十七鞘翅目 Coleoptera

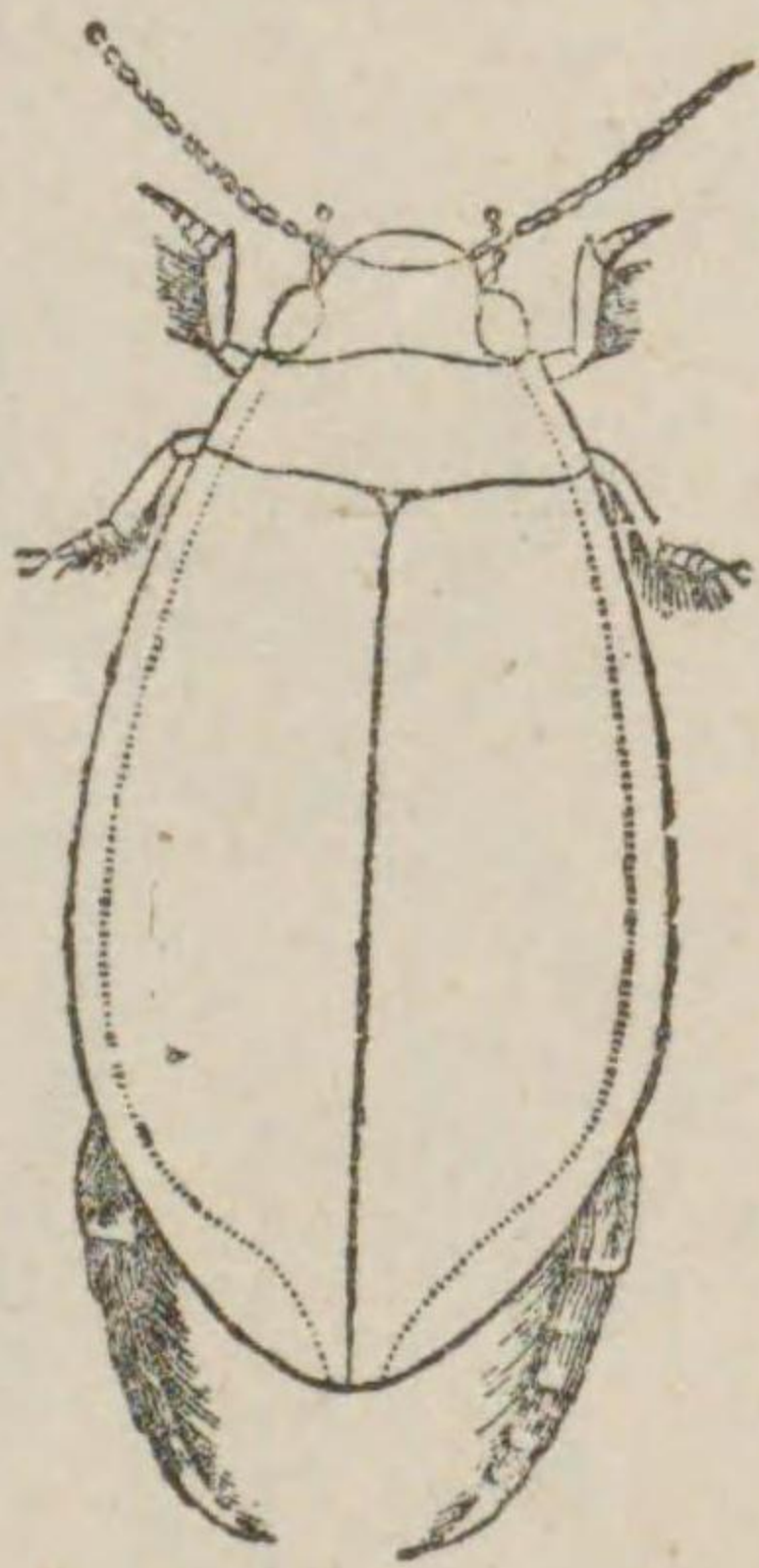
口は咀嚼に適し、頭及び前胸は角質の硬皮を以て蓋はれ、自在に運動す。觸角は種類によりて大に其の形狀を異にし。單眼を有するもの稀なり。前翅は角質にして腹部と後翅とを蓋ひ。後翅は膜質にして獨り飛翔を主どり。脚は歩行若しくは游泳に適し、腹部は肥大す。變態は完全。今之れを分ちて下の二亞目となす。

(A)食蟲亞目 (Adephaga) 跗節は五節にして第四節は判然す。小腮發達し、其外葉細く、二節に分たる。腹部に六節を見得べし。本邦に産するものは左の八科なり。

- 1.斑蝥科 Cicindelidae
- 2.步行蟲科 Carabidae
- 3.小頭水蟲科 Halipidae

第一百五十四圖

コガタノゲンゴロウ



Cybister tripunctatus Oliv. (圖原者著)

- 4.龍蠱科 Dyiscidae
- 5.鼓豆科 Gyrimidae
- 6.角步行科 Paussidae
- 7.背筋蟲科 Rhysodidae
- 8.長扁蟲科 Cupedidae

(B)異角亞目 (Polycerata) 觸角は棍棒狀、櫛齒狀、球桿狀、鋸齒狀、鞭狀、膝狀等なり。跗節は一定せず。今之れを分ちて下の五族となす。

(a)隱翅族 Staphylinoidae 後翅に横脈又は脈環を缺き。觸角は普通棍棒狀にして、時に櫛齒狀を呈するものあり。跗節は一定せず。之れに屬する昆蟲は左の九科なり。

- 1.隱翅科 Staphylinidae
- 2.蟻塚科 Pselaphidae
- 3.蘚蟲科 Seydinaenidae
- 4.埋葬蟲科 Silphidae
- 5.龍寶蟲科 Trichopterygidae

- 6. 瑤微蟲科 *Corylophidae*
- 7. 尾蠶蟲科 *Scaphidiidae*
- 8. 閻魔蟲科 *Histeridae*
- 9. 細閻魔科 *Nipponiidae*

(b) 球角族 *Clavicornia* —— (異角族 *Diversicornia*) ——

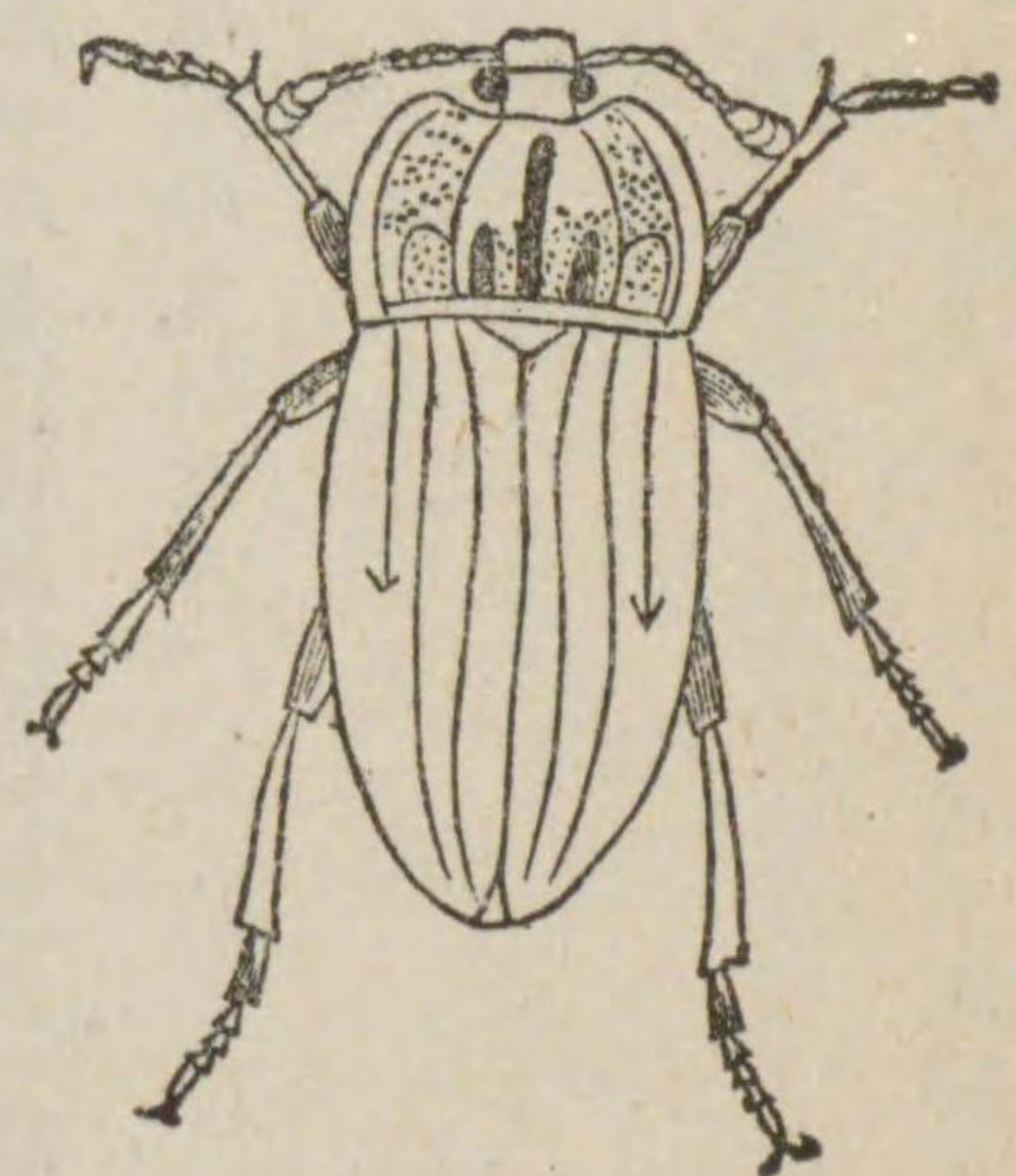
後翅の中脈は徑脈の後枝と一斜脈に依つて連續す。

觸角は球桿若しくは棍棒狀にして、跗節數は一定せ

六。之れに屬するものは左の二十一科なり。

- 1. 長閻魔科 *Syntelidae*
- 2. 穀盜科 *Trogositidae*
- 3. 大木吸科 *Helodidae*
- 4. 擬木吸科 *Byturidae*
- 5. 尾木吸科 (出尾木吸蟲科) *Nitidulidae*
- 6. 扁蟲科 *Cucujidae*
- 7. 擬扁蟲科 *Monotomidae*

シムデシタラヒ



Silpha perforata Gebl.

(圖原者著)

第百五十五圖

$\frac{2}{1}$

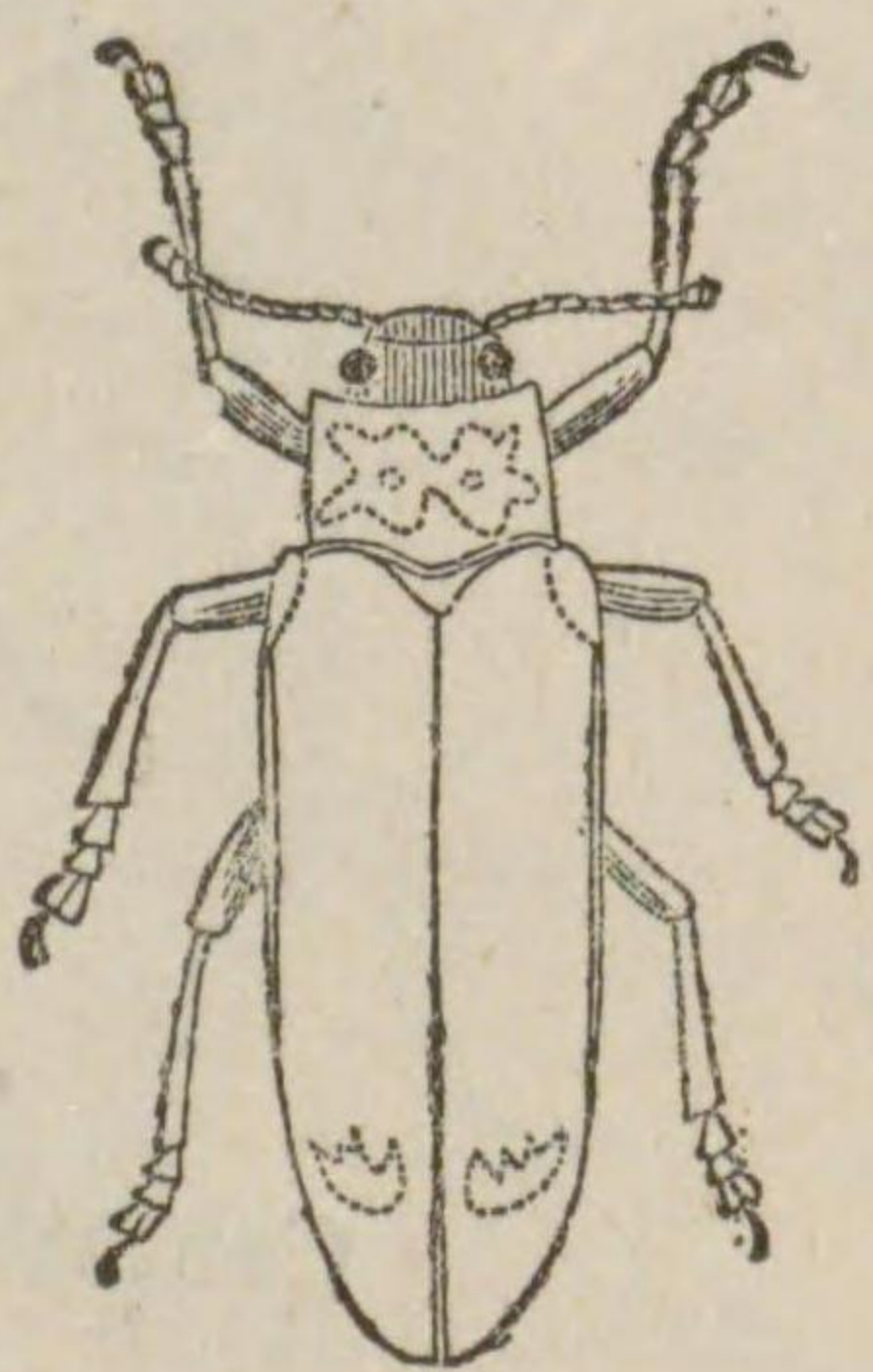
- 8. 大蠹蟲科 *Erotylidae*
- 9. 木吸蟲科 *Cryptophagidae*
- 10. 姬花蟲科 *Phalacridae*
- 11. 姬薪蟲科 *Lathridiidae*
- 12. 小蠹蟲科 *Mycetophagidae*
- 13. 細堅蟲科 *Colydiidae*
- 14. 擬瓢蟲科 *Endomychidae*
- 15. 瓢蟲科 *Coccinellidae*
- 16. 鱗節蟲科 *Dermestidae*
- 17. 圓刺蟲科 *Byrrhidae*
- 18. 圓泥蟲科 *Georyssidae*
- 19. 泥蟲科 *Parnidae (Dryopidae)*
- 20. 牙蟲科 *Hydrophilidae*
- 21. 長泥蟲科 *Heteroceridae*

(c) 鋸角族 *Serricornia* ——

觸角は櫛齒狀、稀に絲狀を呈せるものあり。跗節は多く五節あり。こ

第百五十六圖

オホキノコムシ



(著者原圖)

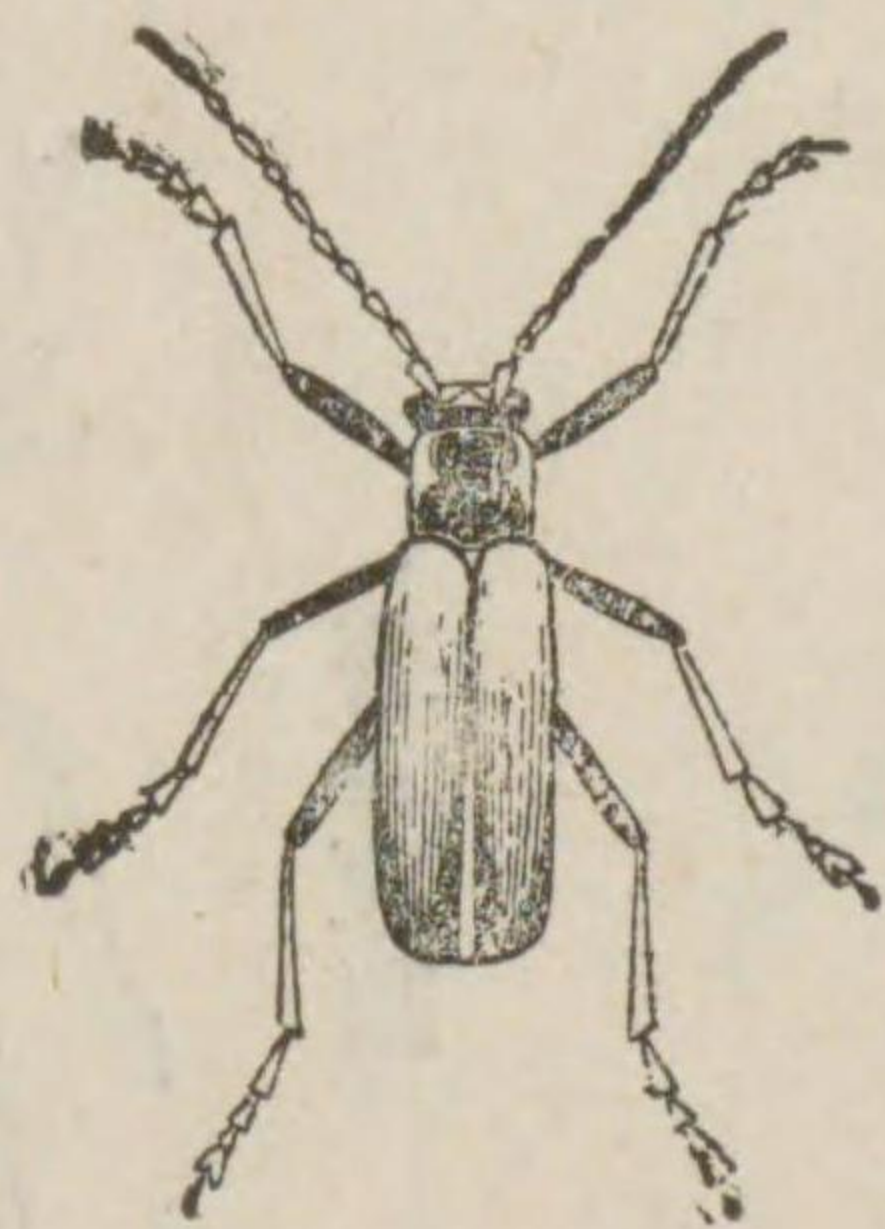
Eucautes praenobilis Lew.

の族に属するものは左の十四科なり。

1. 長花蚤科 *Dasciliidae*
2. 圓花蚤科 *Helodidae*
3. 螢科 *Cantharidae (Telephoridae)*
4. 姬螢科 *Melyridae*
5. 郭公蟲科 *Cleridae*
6. 筒蠹科 *Lymexylonidae*
7. 標本蟲科 *Anobidae (Piniidae)*
8. 長蠹科 *Bostrychidae*
9. 竹蠹科 *Lycidae*
10. 姬蠹蟲科 *Sphindidae*
11. 圓蠹蟲科 *Cioidae*
12. 吉丁科 *Buprestidae*
13. 叩頭科 *Elateridae*
14. 偽叩頭科 *Throscidae (Eucrenidae)*

第百五十七圖

キクスヒダマシ



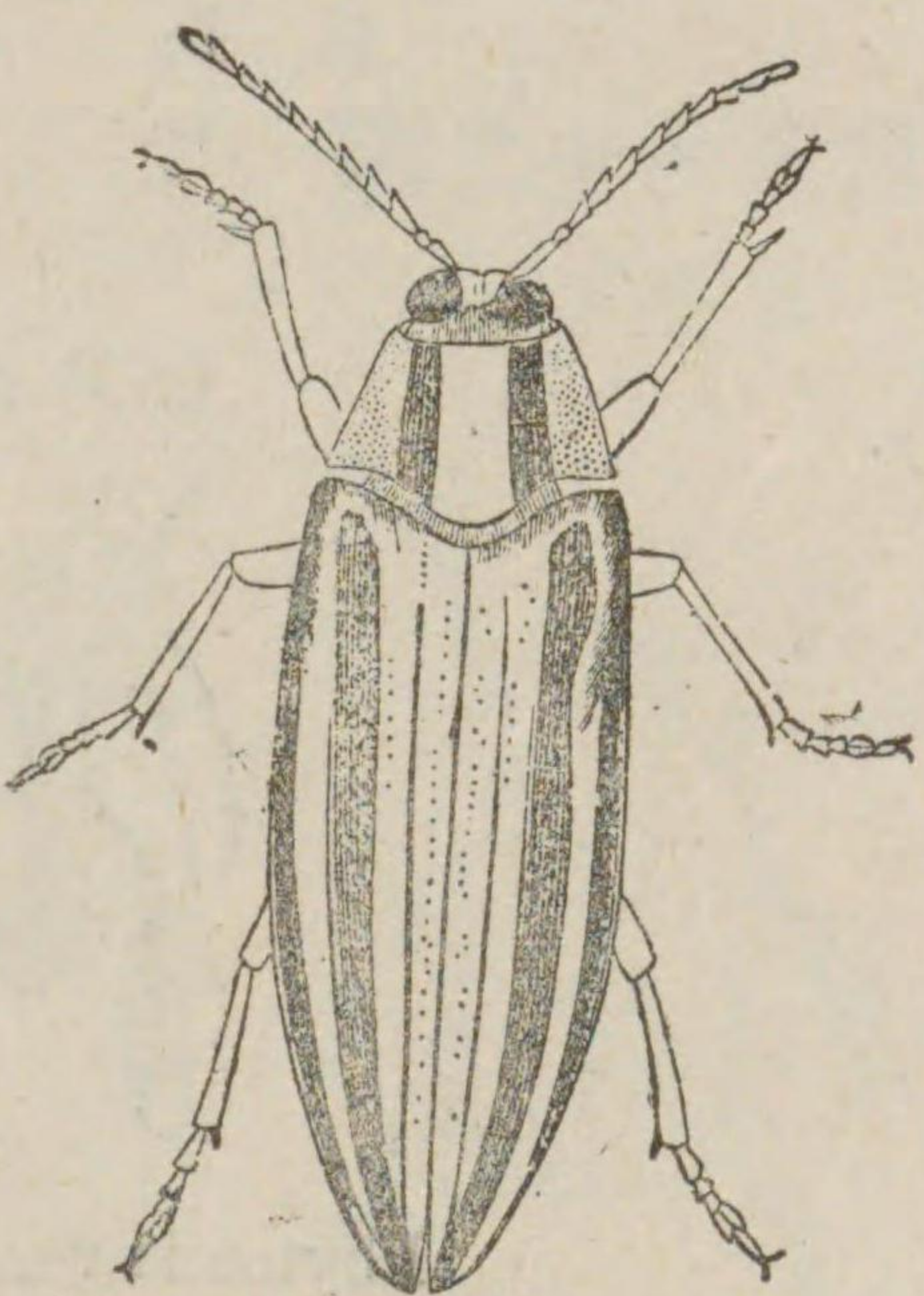
Cantharis luteipennis Kies.

(a) 異節族 *Heteromera* — 前中兩肢の跗節は五節にして、後肢は四節より成る。本邦に産するものは下の十五科なり。

1. 偽步行科 *Tenebrionidae*
2. 偽葉蟲科 *Lagriidae*
3. 偽朽木科 *Othniidae*
4. 朽木蟲科 *Cistelidae*
5. 擬吉丁科 *Monomnidae*
6. 擬天牛科 *Oedemeridae*
7. 樹皮蟲科 *Pythidae*
8. 長朽木科 *Melandyriidae*
9. 花蚤科 *Mordellidae*
10. 大花蚤科 *Rhipiphoridae*
11. 地膽科 *Meloidae*
12. 赤翅蟲科 *Pyrrhocroidae*
13. 細頸蟲科 *Pediliidae (Xylophiliidae)*

第百五十八圖

タママムシ



Chrysochroa elegans Thunb.

第百五十九圖
リハマキ



Plesiophthalmus aeneus.
Motsch.

- 14. 一角科 Anthicidae
- 15. 擬鍬形科 Tricentenotomidae

(e) 食葉族 Phytophaga — 跗節は五節にして、第四節は甚だ小にして判明せず。一名之れを隱五節類 (Cryptopentamera) とも云ふ。本邦に産するものは左の三科なり。

第百六十圖

- 1. 豆象科 Bruchidae (Laridae)

- 2. 葉蟲科 (金花蟲科) Chrysomelidae

- 3. 天牛科 Cerambycidae



Phytocia ventralis Chev.

(f) 具吻族 Rhynchophora — 口部は口吻狀に延長し、兩鬚は普通判明せず。跗節は四節なり。之れに屬する昆蟲は左の四科なり。

- 1. 三錐象科 Brentidae

- 2. 長角象科 Anthribidae (Platyrhinae)

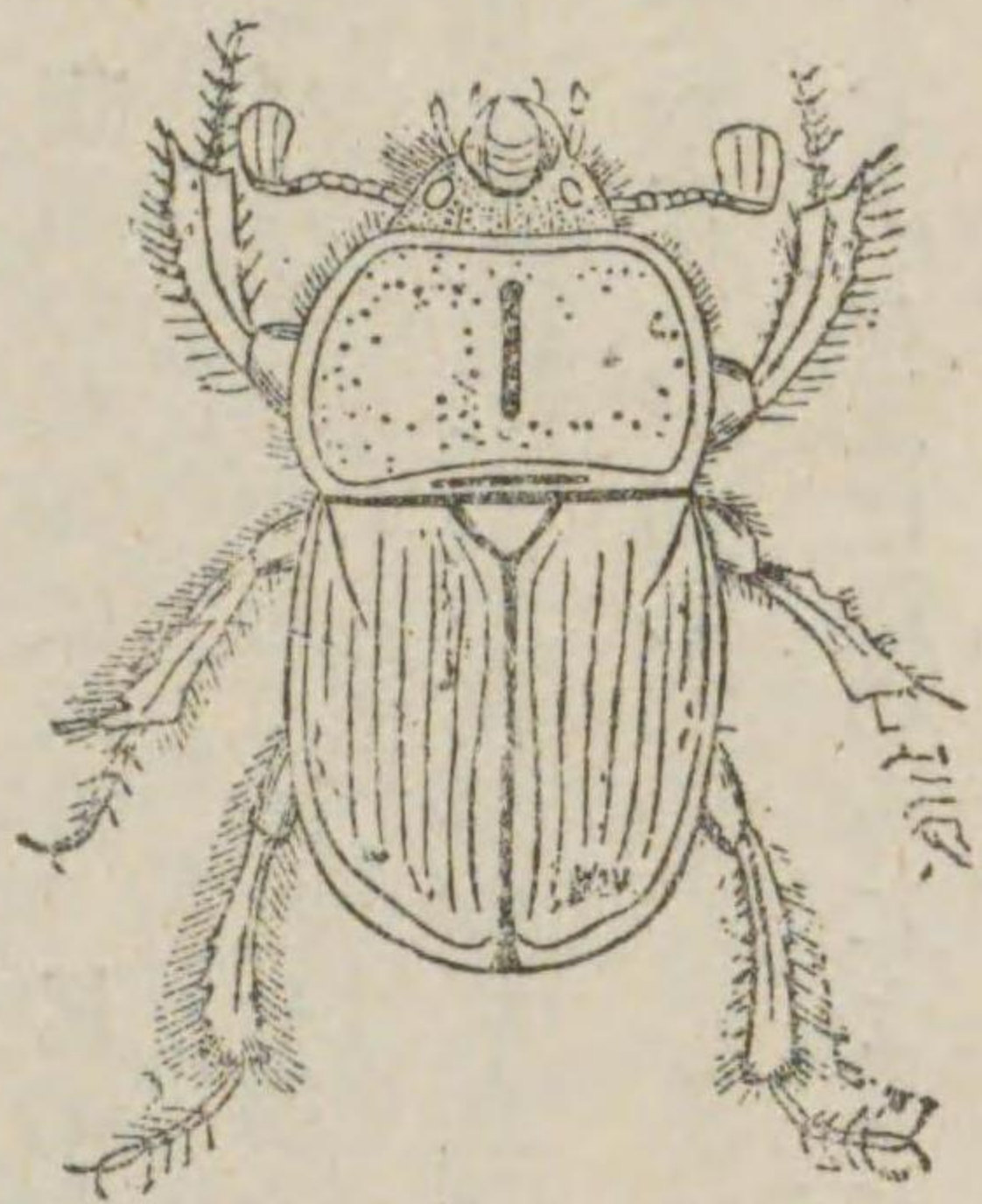
- 3. 象鼻科 Curculionidae

- 4. 小蠹科 Scolytidae (Ipidae)

(g) 櫛角族 Lamellicornia — 觸角の末端數節は鰓葉狀をなし。跗節は五節より成る。之れに屬す

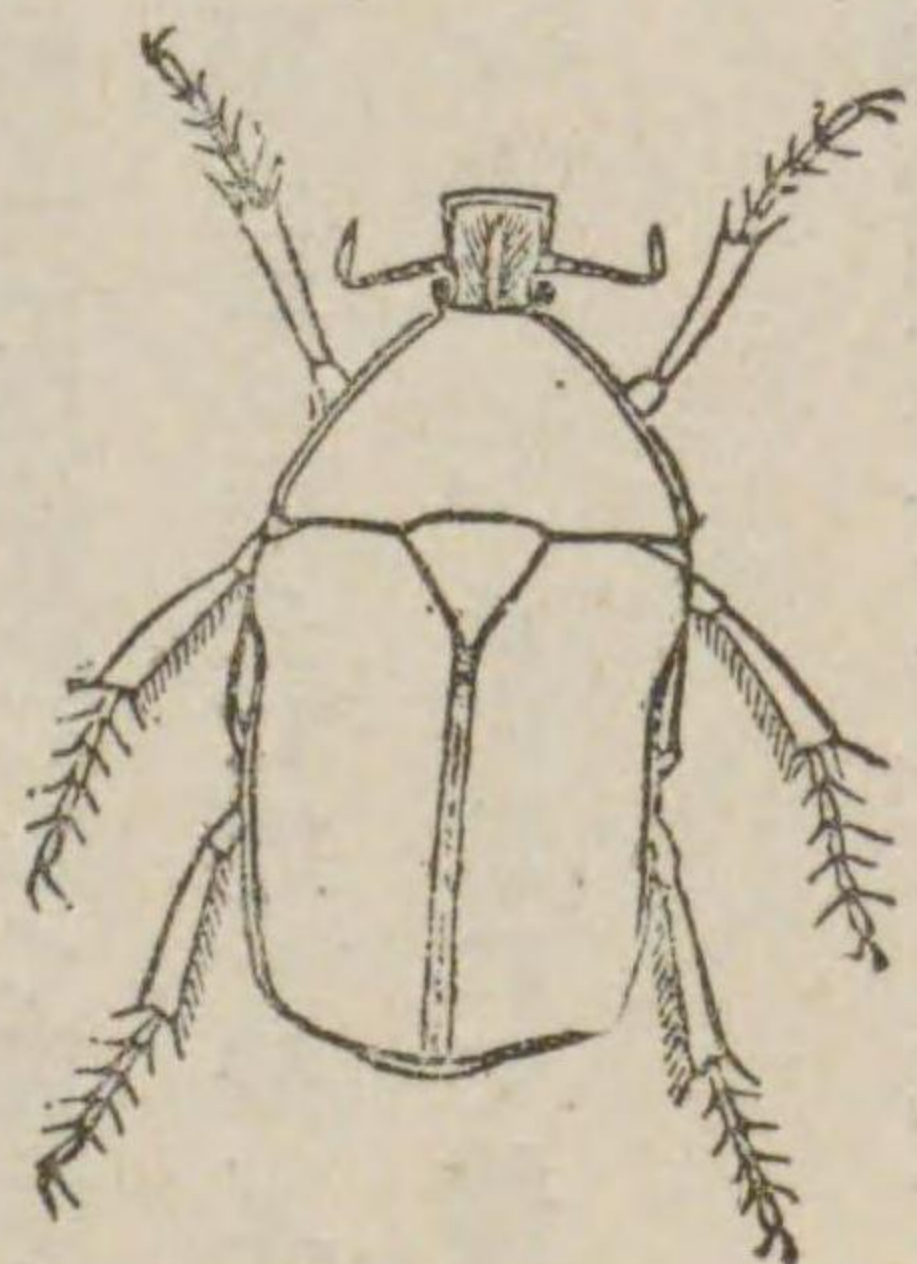
る昆蟲にして、本邦に産するものは左の三科なり。

第百六十一圖
セチンコガネ



Geotrupes laevistriatus Motsch.

第百六十二圖
カナナブ



(著者原圖)

Rhomborrhina japonica Hop.

- 1. 扁鍬形科 Passalidae

- 2. 鍬形科 Lucanidae (Platyceiridae)

- 3. 金龜子科 Scarabaeidae

第十八摺翅目 Strepsiptera

口部退化し、三胸環は皆分離し、後胸背は腹上に延長す、前翅は至小にして其末端撚れ、後翅は大にして静止のときは縦に重疊す、雌は脚及び眼を缺き蛆狀を呈す、變態は完全なり、幼蟲は異形變態をなす、初めは三双の脚を具へ、二個の尾毛ありて跳躍に適す、其一度蜂に寄生す

れば脚及び尾毛を失し蛆状となる、皆蜂に寄生す、現今世界にて學名を有するもの百三十七種あり、本邦に産するものは左の一種なり。

蜂 翅 蟲 科 Xenidae

雄の觸角は四節、第三節は外側に長枝を出し、長さ第三節と同長、跗節は四節より成り爪を缺く、雌の有する頭胸は一定せず、本邦に産するもの左の一種なり。

くろねじればね *Vespaexenos orabronis* Pier. — 體は天

鷲絨様の黒色、中胸背の中央に黄褐の一帯あり、後胸背の後縁は暗褐、腹部の兩側は灰黄、尾端中央の附屬物は黄色、前翅は棍棒状にして黒色、其縁は灰白、後翅は半透明、少しく暗色を帶ぶ、五縦脈ありて其内第二脈は中央に近く分支す、脚は黄褐、各跗節の下方にある附屬物は黄色、開張二分、此はモンスマメバチの巢にて捕獲せるものなるが甚だ稀なるが如し。

第 百 六 十 三 圖

ネバレジネロク

(圖原者著)



附言 — ビアル氏は雌のみによりて此の屬を設け、未だ雄蟲發見せられずと記せり、故に此の種が果して同氏の記載せる雌の雄に當るやは不明なり、記して其の確實となるの日を待つ。

第 十 九 膜 翅 目

Hymenoptera

口部は咀嚼に適し。前胸は癒着して自在に動かす。四翅は膜質、翅脈少なく、前翅は後翅よりも大なるを常とす。又翅を缺くものもあり。

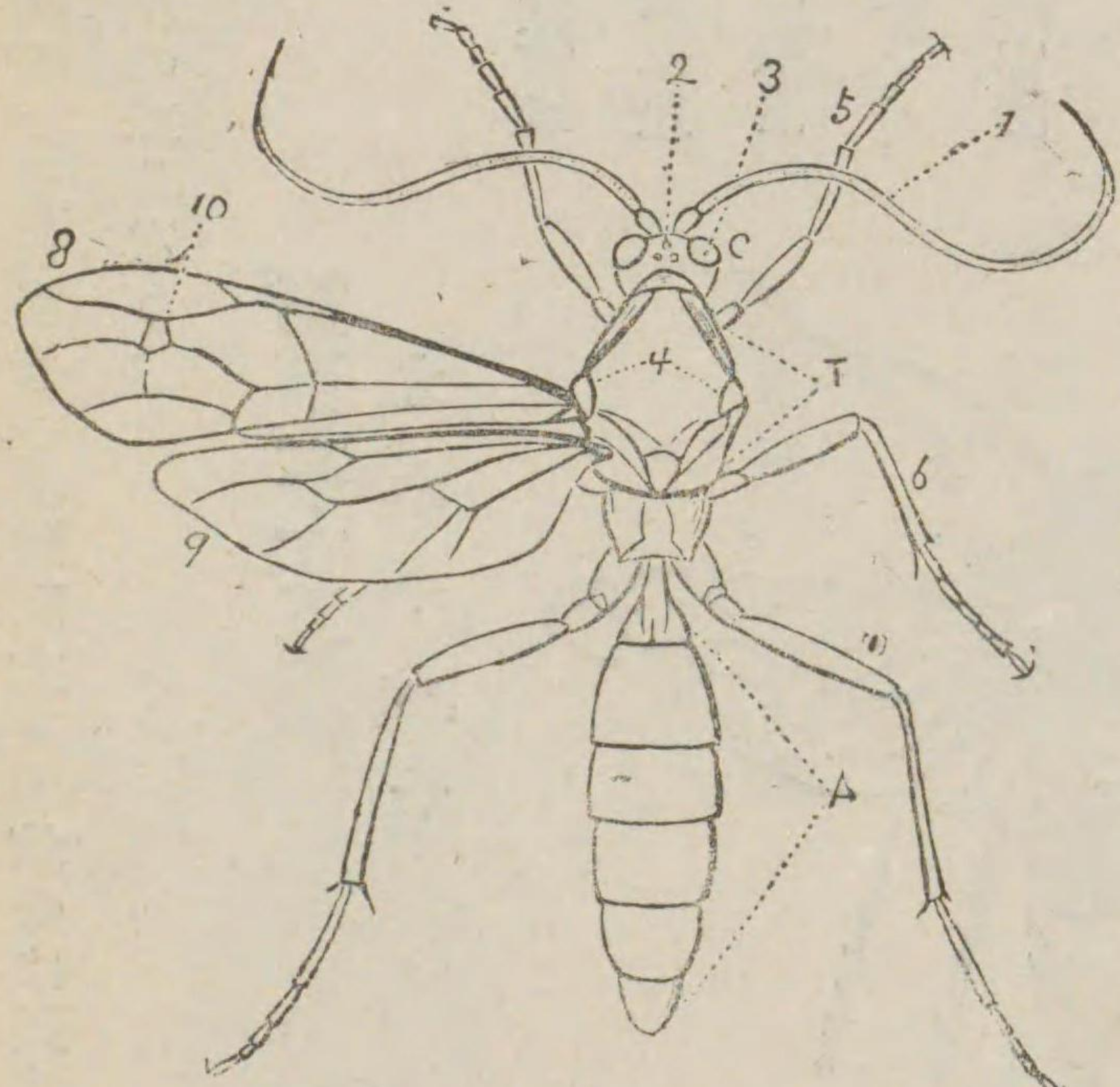
第 百 六 十 四 圖

ヤマヒメバチ

Amblye'es grandis Ash.

頭部は自在に動き。普通複眼の外更に三個單眼あり。雌の尾端には産卵管若しくは伸縮し得べき毒刺を有す。變態は完全なり。後翅前縁には小鉤を列ね、爲めに兩翅相鉤綴して飛翔に便ならしむ。各固有の彩色を裝ふ。之れに屬する昆蟲は多く農家に有益にして、有害なるもの少なし。今之れを分ちて左の二亞目となす。

(A)有錐亞目 (Terebrantia) 脚に二節ある轉節を有し。雌の尾端に錐狀若しくは鋸狀の産卵管あり。之れを植物若しくは他蟲の組織内に穿入して産卵す。更に此の亞目を食葉類及食蟲類の二部となす。



- (C) 頭部
- (1) 觸角
- (2) 單眼
- (3) 複眼
- (4) 翅底板 (Tegulae)
- (5) 前肢
- (6) 中肢
- (7) 後肢
- (8) 前翅
- (9) 後翅
- (10) 鏡胞
- (T) 胸部
- (A) 腹部

(著者原圖)

(廓大圖)

(a) 食葉類 *Phytophaga*——産卵管は鋸齒状若しくは錐状にして腹柄なく。前翅には食蟲類と異なりて劍状室と稱する一室あり。中後の二胸環は互に動き。全體肥大す。幼蟲は巨頭にして三双乃至十一双の脚あり。本邦に産するもの左の二科なり。

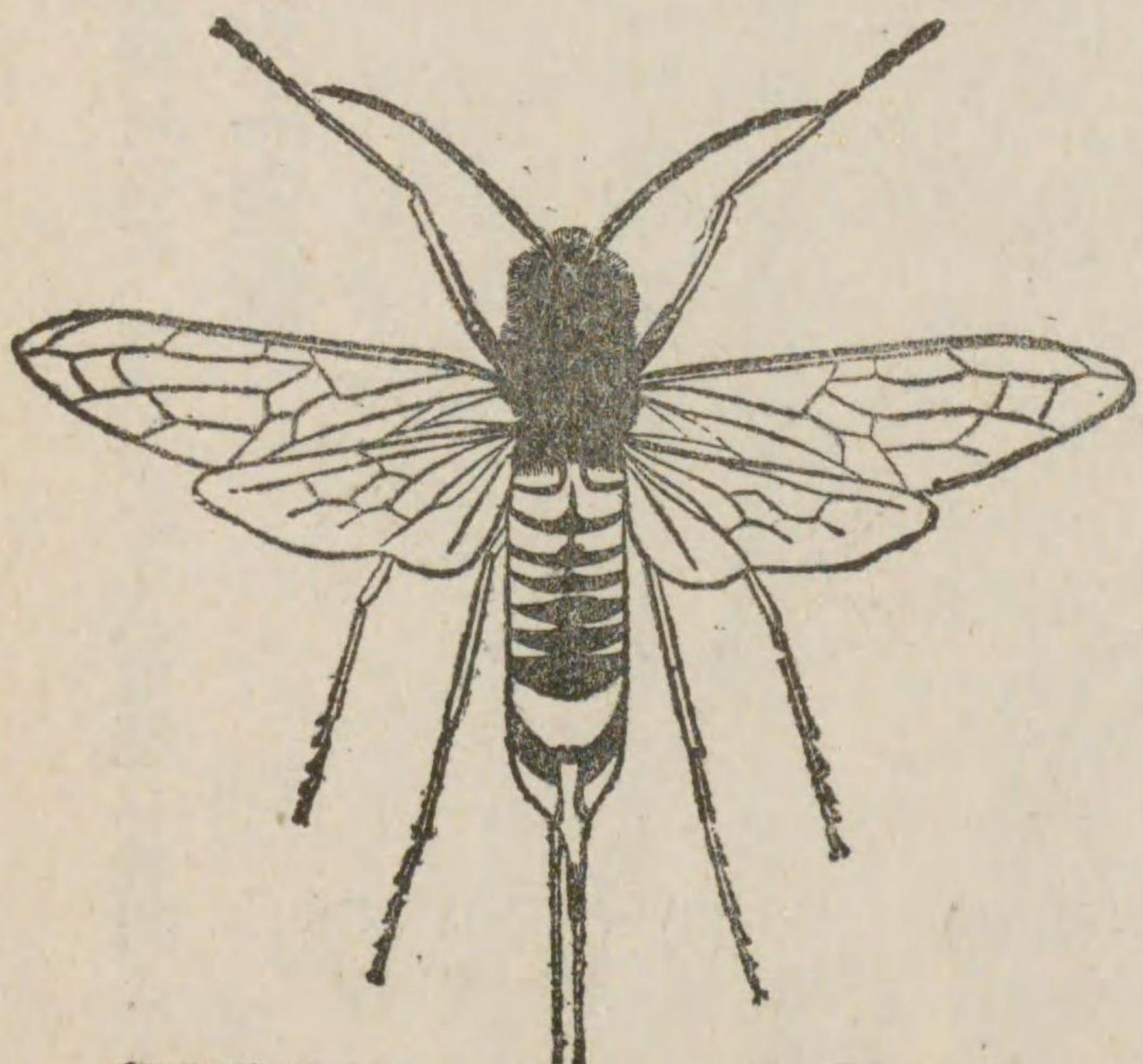
- 1. 葉蜂科 (鋸蜂科) *Tenthredinidae*
- 2. 樹蜂科 *Siricidae*

第百六十五圖

オホキバチ

(b) 食蟲類 *Entomophaga*——腹柄細く。産卵管は針状にして、普通尾端より出で、二條の膜瓣は左右より之れを包擁す。其の長さものは體長の數倍あるものあり。幼蟲は無脚にして。單眼を缺き。口部はあれども肛門を具備せず。多くは他蟲の體内に寄生す。本邦にあるものは左の六科なり。

- 1. 沒食子蜂科 *Cynipidae*
- 2. 小菌蜂科 *Braconidae*
- 3. 細蜂科 *Evanidae*

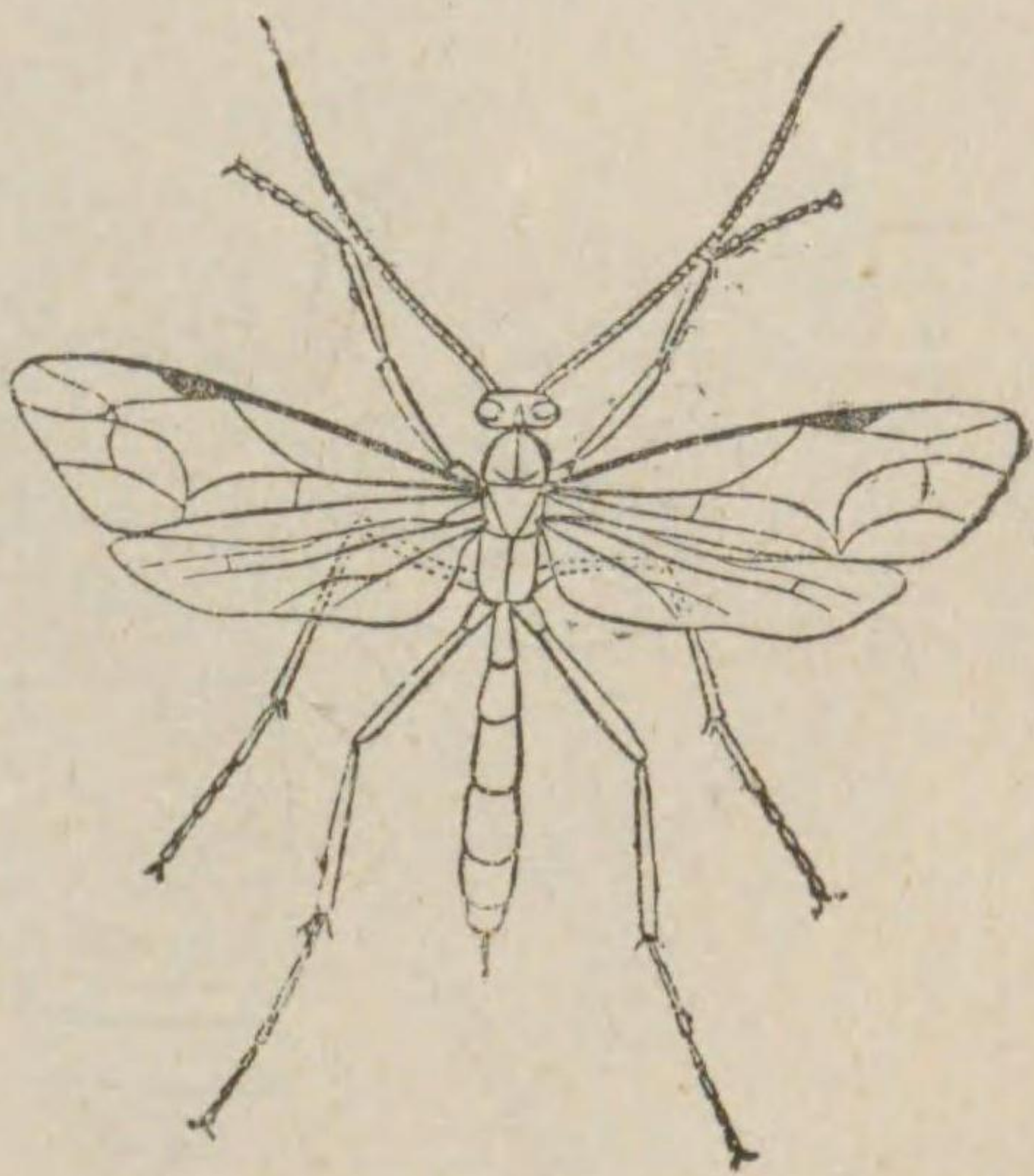


(圖原者著) *Sirex elegans* Mats.

(B) 有劍亞目 (*Aculeata*) 轉節は一節にして。雌は尾端に毒刺を具へ。胸腹の間は甚だしく緊縮す。幼蟲は蛆状にして雌蜂若しくは職蜂によつて飼育せらる。之れを更に戀花類及び嗜肉類の二部に區別す。

- 4. 姬蜂科 *Ichneumonidae*
- 5. 小蜂科 *Chalcidae*
- 6. 卵蜂科 *Proctotrupidae*

第百六十六圖 アメバチ



(圖原者著) *Paniscus obturiceps* Kriech.

(a) 戀花類 *Anthophila*——後肢の第一跗節は多少側扁にして、其の外側に粗毛を密生す。本邦に産するもの左の二科なり。

- 1. 蜜蜂科 *Apidae*
- 2. 擬蜜蜂科 *Colletidae*

(b) 嗜肉類 *Raphieria*——後肢の第一跗節は多少圓柱形にして、側扁なるものなし。本邦に産する昆蟲にして之れに屬するものは左の六科なり。

チバナハルマ (圖原者著)



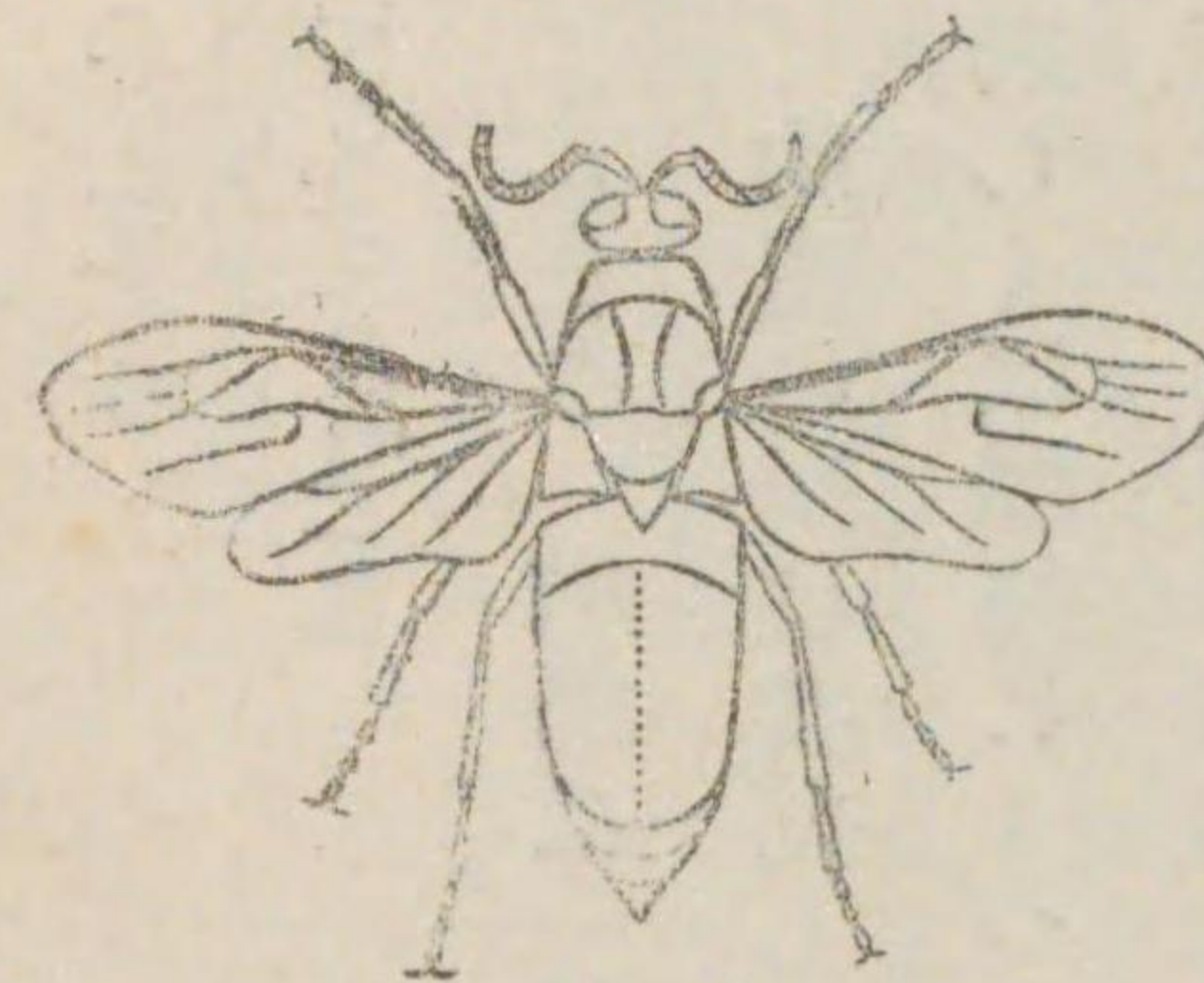
Bombus sapporensis Rohw.

第百六十七圖

- 1. 胡蜂科 *Vespidae*
- 2. 細腰蜂科 *Sphegidae (Crabronidae)*
- 3. 鼈甲蜂科 *Pompilidae*
- 4. 土蜂科 *Scolidae*
- 5. 青蜂科 *Chrysidae*
- 6. 蟻科 *Formicidae*

圖九十六百第

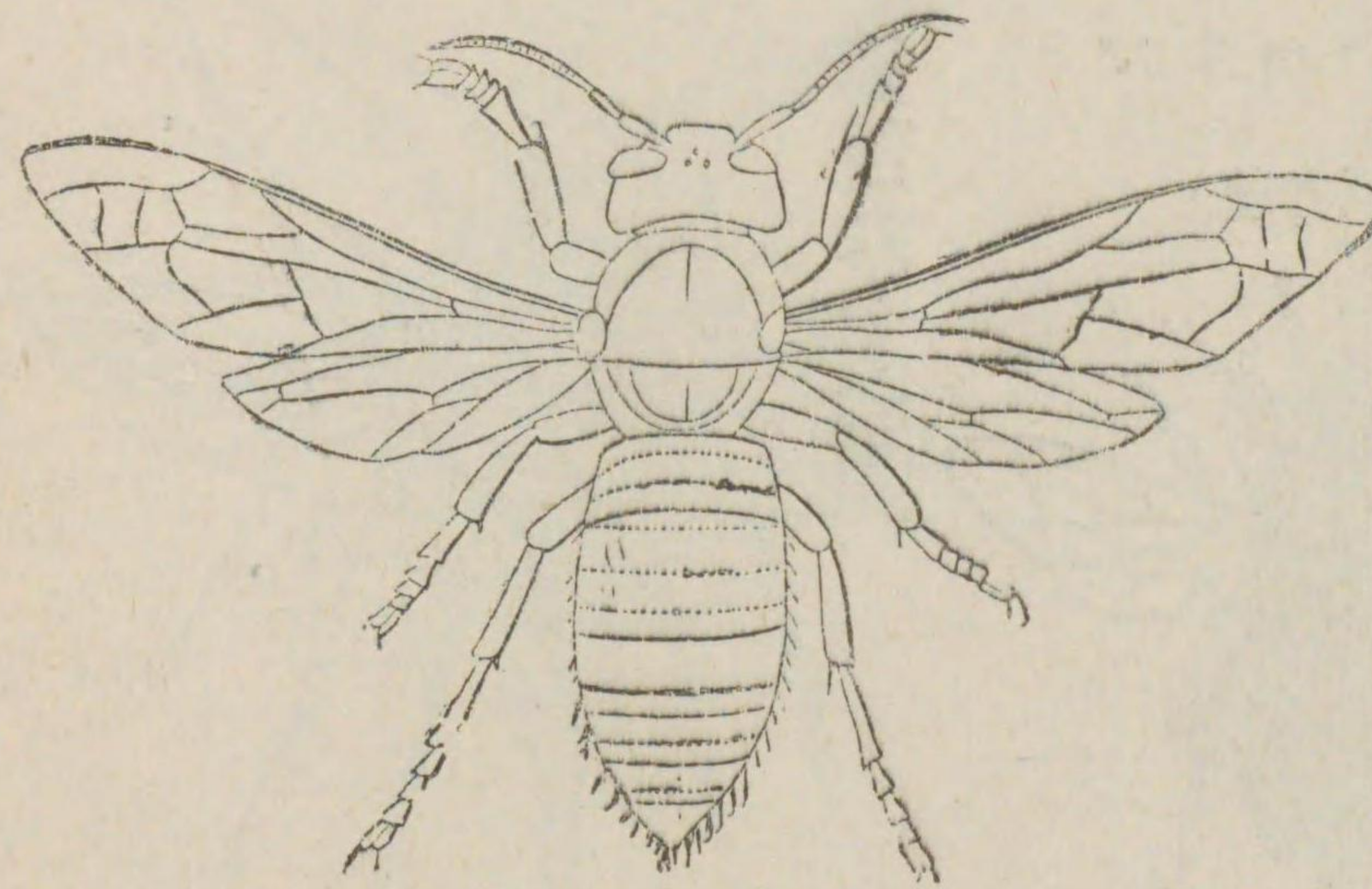
ウボイセ



Stilbum amethystinum F.

(圖原者著)

(著者原圖)



Vespa mandarina Sm.

第百六十八圖
スズメバチ

昭和八年十月十八日印
昭和八年十月二十日改版發行

定價金參圓

著者權所有

著作者

松村松年

發行者

福文之助

印刷者

增島啓之助

東京市麴町區飯田町一丁目十七番地

豐江堂

振替東京八九一三番
電話九段三八〇四番

不...

同...
...
...

...

...

...

...

...

...

650
80

